



X25 GeoLink® 高精度散布システム仕上げキット

シリアル番号 315000001 以降の Multi Pro® 1750 ターフスプレーヤ用

モデル番号 41631—シリアル番号 403400001 以上

取り付け要領

はじめに

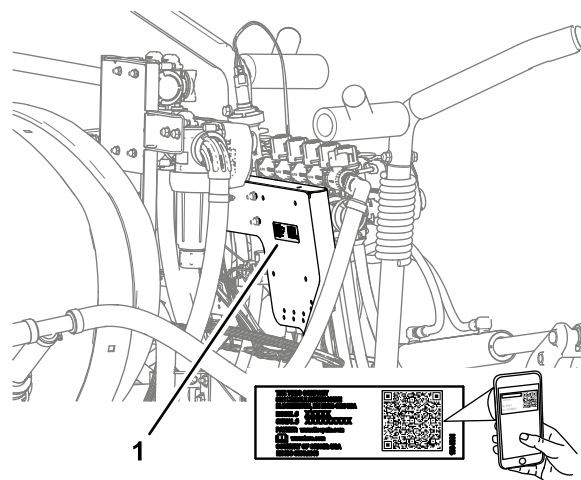
この GeoLink™ スプレーシステムキットは、芝生に液剤を散布する専用装置のための補助装置アタッチメントであり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、集約的で高度な管理を受けている公園やゴルフ場、スポーツフィールド、商用目的で使用される芝生に対して液剤を散布することを主たる目的として製造されております。この機械は本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険な場合があります。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からないまた適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

製品の安全や取り扱い講習、アクセサリなどに関する情報、代理店についての情報の入手、お買い上げ製品の登録などをネットで行っていただくことができます www.Toro.com

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1 にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

重要シリアル番号プレートに QR コードがついている場合は、スマートフォンやタブレットでスキャンすると、製品保証、パーツその他の製品情報にアクセスできます。



g281138

図 1

1. モデル番号とシリアル番号の表示場所

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号 図 2 を使用しております。これらは死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから、必ずお守りください。



図 2

g000502

1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**「重要」は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。



目次

はじめに	1	30 スプレーヤのモニタを取り付ける	71
安全について	3	31 スプレーポンプクラッチの配線を行 う	73
安全ラベルと指示ラベル	3	32 散布用の電装機器を取り付ける	73
組み立て	5	33 キットのワイヤハーネスをシートベースに 接続する	79
1 キット取り付けの準備	9	34 ナビゲーション関係のワイヤハーネスを取 り付ける	81
2 運転席とエンジンアクセスパネルを外 す	10	35 フードと左右の前フェンダを取り付け る	89
3 左右の前フェンダとフードを取り外 す	11	36 エンジンへのアクセスパネルと運転席を取 り付ける	91
4 フォームマーカークイットオプションの接続を 外す	13	37 マシンの設定プログラミングを行 う	92
5 ウルトラソニックブームレベリングキットオプ ションの接続を外す	17	38 ジオリンク機器への電源投入	95
6 カバー付きブームキットオプションのセ ンターセクションカバー 11ノズルを外 す	18	39 ソフトウェアのバージョンを確認す る	96
7 ダッシュボード用の水圧検知チューブを外 す	18	40 単位系を選択する	96
8 散布バルブのコネクタを取り外す	19	41 フィールドを作成する	96
9 散布レートスイッチを外す	20	42 新しい散布率の薬剤の登録	96
10 ブームを取り外す	21	43 ノズルバルブのバランス調整を行 う	96
11 センターブームエクステンションを取り付け る	26	44 散布作業の作成	97
12 取り付けブラケットとスプレーノズルをセン ターブームに取り付ける	28	45 散布システムを点検する	98
13 ブームバルブを取り外す	31	46 攪拌バイパスバルブのバランス調 整	99
14 フローメータのサポートクランプを取り付け る	34	47 フローメータのキャリブレーションを行 う	100
15 ワイヤハーネスを機体に接続す る	36	48 携帯電話通信の状態を確認する	100
16 フローメータのマニホールドを組み付け る	41	49 コンパスのキャリブレーションを行 う	101
17 バイパスホースをタンクに取り付け る	42	50 NVRAM のクリア操作	101
18 改造したセンターブームを取り付け る	43	51 コンパスのキャリブレーションを行 う	103
19 昇降シリンダマニホールドをシリンダマウント に取り付ける	44		
20 バルブマウントとスプレーバルブを取り付 ける	44		
21 ブーム昇降シリンダを取り付ける	51		
22 左右のブームを取り付ける	53		
23 散布ノズル用ホースを取り付け る	55		
24 キットのワイヤハーネスを車体後部に接続 する	60		
25 ダッシュボードの水圧計用の水圧検知 チューブを接続する	60		
26 オプションのフォームマーカークイットの接続 を行う	61		
27 オプションのウルトラソニックブームキットを 接続する	64		
28 オプションのブームカバーキットの取り付け を行う	65		
29 ナビゲーション受信機を取り付け る	68		

安全について

▲ 警告

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壌などに危険を及ぼす可能性があるため取り扱いには十分注意すること。

- 自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシートSDSなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守りましょう。たとえば、保護めがねゴーグル、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることで適切な保護対策を講じる。
- 散布する薬剤は種類とは限らないので、取り扱っているそれぞれの薬剤について注意事項を必ず確認する。
- 上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否してください。
- 散布装置の整備や修理をする時は、その前に必ず、その装置が薬剤メーカーの指示通りに3回のすすぎ洗いや必要な中和処理を実行済みであること、さらに、すべてのバルブにそれぞれ3回の開閉操作洗浄が実施されていることを確認する。
- 十分な量の水と石鹼を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流してください。

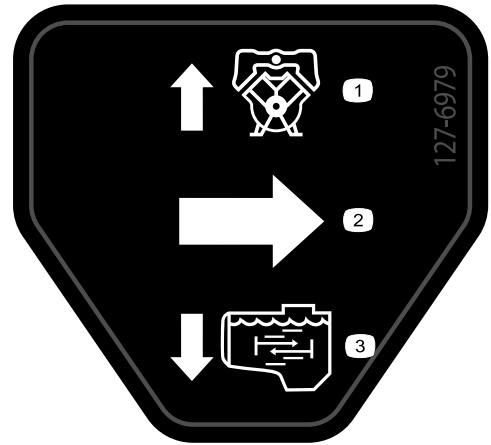
マシンを停止させたら、キー付きの機種ではキーを抜き取り、各部の動作が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れるようにしてください。調整、整備、清掃、格納などは、車両が十分に冷えてから行ってください。

間違った使い方や整備不良は負傷などの人身事故につながります。事故を防止するため、以下に示す安全上の注意や安全注意標識 ▲ のついている遵守事項は必ずお守りください。「注意」、「警告」、および「危険」の記号は、人身の安全に関わる注意事項を示しています。これらの注意を怠ると死亡事故などの重大な人身事故が発生する恐れがあります。

安全ラベルと指示ラベル



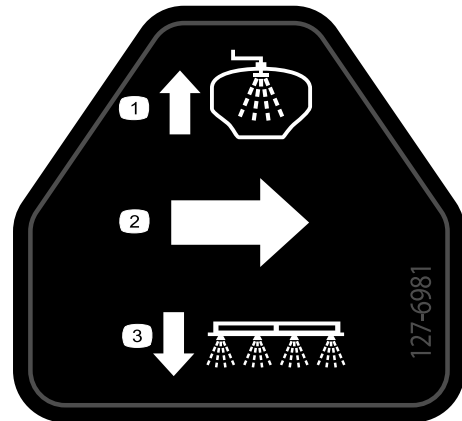
以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



127-6979

decal127-6979

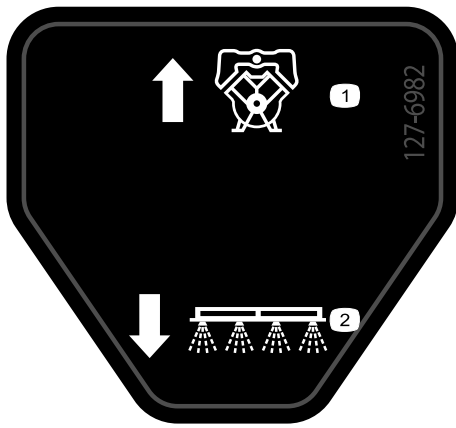
1. バイパス戻りフロー
2. フロー
3. 攪拌フロー



127-6981

decal127-6981

1. バイパス戻りフロー
2. 流量
3. ブームスプレー



decal127-6982

127-6982

1. バイパス戻りフロー 2. ブームスプレー
-



decal127-6976

127-6976

1. 下げる 2. 上げる
-

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	キット取り付けの準備。
2	必要なパーツはありません。	-	運転席とエンジンアクセスパネルを外します。
3	必要なパーツはありません。	-	左右の前フェンダとフードを取り外します。
4	チューブアセンブリToro P/N 114-9553 ケーブルタイ	2 8	フォームマーカークットオプションの接続を外します。
5	必要なパーツはありません。	-	ウルトラソニックブームレベリングキットオプションの接続を外します。
6	必要なパーツはありません。	-	カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外します。
7	必要なパーツはありません。	-	ダッシュボード用の水圧検知チューブを外します。
8	必要なパーツはありません。	-	散布バルブのコネクタを取り外します。
9	ケーブルタイ スイッチのプラグ	1 1	散布レートスイッチを外す。
10	必要なパーツはありません。	-	ブームを取り外します。
11	フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x 1" フランジロックナット $\frac{3}{8}$ " センターブームエクステンション シリンダマウントワイド タイプレートワイド キャリッジボルト $\frac{1}{2}$ x 1 $\frac{1}{4}$ " フランジロックナット $\frac{1}{2}$ "	2 2 1 1 1 4 4	センターブームエクステンションを取り付けます。
12	スプレーノズル ホースアセンブリスプレーバルブ5または6 フランジロックナット5/16"	2 2 2	取り付けブラケットとスプレーノズルをセンターブームに取り付けます。
13	キャップクイックカップラ リテーナ	3 3	ブームバルブを取り外します。
14	フローメータのマウント サポートクランプハーフ ボルト $\frac{1}{4}$ x 4 $\frac{1}{2}$ " フランジロックナット $\frac{1}{4}$ "	1 4 4 4	フローメータのサポートクランプを取り付けます。
15	後方ワイヤハーネス ケーブルタイ	1 7	後方ワイヤハーネスを車体に取り付けます。

手順	内容	数量	用途
16	ストレートパーブ (1 x 2")	1	フローメータにマニホールドを取り付けます。
	ホースクランプ $\frac{3}{4}$ -1 $\frac{1}{2}$ "	3	
	ホース1 x 5 $\frac{3}{4}$ " 15 cm	1	
	マニホールド	1	
	ホース1 x 16"	1	
17	バイパスホースアセンブリ 燃料バルブ	1 1	バイパスホースをタンクに取り付けます。
18	必要なパーツはありません。	-	改造したセンターブームを取り付けます。
19	必要なパーツはありません。	-	昇降シリンダマニホールドをシリンダマウントに取り付けます。
20	バルブマウントスプレーバルブアセンブリ	1	バルブマウントとスプレーバルブを取り付けます。
	ボルト4 x 10mm	3	
	ASC 10 スプレーヤコントローラ	1	
	フランジロックナット4mm	3	
	キャップクイックディスクコネクティング	2	
	フランジヘッドボルト5/16" x $\frac{3}{4}$ "	8	
	フランジロックナット5/16"	8	
	ホースクランプ	1	
	プッシュインファスナーケーブルタイ)	1	
プッシュインファスナーコネクタアンカー	3		
21	油圧ホース $\frac{1}{4}$ " x 24 $\frac{3}{4}$ "	4	ブーム昇降シリンダを取り付けます。
22	ナイロン製フランジブッシュ	4	左右のブームを取り付けます。
	ケーブルタイ	1	
	給液ホースアセンブリ188cm	1	
	給液ホースアセンブリ234cm	1	
23	給液ホース279cm	2	散布ノズル用ホースを取り付けます。
	給液ホース234cm	2	
	給液ホース188cm	4	
	給液ホース81cm	2	
24	必要なパーツはありません。	-	後方ワイヤハーネスを接続します。
25	必要なパーツはありません。	-	ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続します。
26	ケーブルタイ	6	オプションのフォームマーカークットの接続を行います。
27	必要なパーツはありません。	-	ウルトラソニックブームキットを接続します。

手順	内容	数量	用途
28	カバーエクステンションアセンブリ12ノズル用 Toro P/N 120-0621 ポップリベット Toro P/N 114439 サポートブラケットセンターブーム用カバー Toro P/N 13-3703-03 クリップナット Toro P/N 94-2413 フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ x $1\frac{1}{4}$ " Toro P/N 110-5050 フランジロックナット $\frac{3}{8}$ " Toro P/N 104-8301 カバーストラップ Toro P/N 120-0629 フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ " x $1\frac{1}{4}$ " Toro P/N 323-36	1 22 4 4 16 16 2 4	オプションのブームカバーキットの取り付けを行います。
29	受けプレート スペーサ $\frac{3}{8}$ " x 1" 受信機用マウント ボルト $\frac{3}{8}$ " x $3\frac{1}{4}$ " ロックワッシャ $\frac{3}{8}$ " ワッシャ $\frac{3}{8}$ " x $\frac{13}{16}$ " フランジロックナット $\frac{3}{8}$ " フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ " x $\frac{3}{4}$ " フランジロックナット $\frac{5}{16}$ " フランジヘッドボルト ($\frac{3}{8}$ " x $1\frac{1}{2}$ ") スペーサ $\frac{3}{8}$ " x $\frac{7}{16}$ " ナビゲーション受信機 X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAAS モデル 41630 六角ヘッドボルト 5 x 16mm ワッシャ 5mm バルクヘッドアダプタオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット 携帯電話アンテナオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット 同軸ケーブルオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 3 3 1 1 1	ナビゲーション受信機を取り付けます。
30	モニタマウント フランジヘッドボルト 6 x 12 mm ボルト $\frac{5}{16}$ " フランジロックナット $\frac{5}{16}$ " ボールマウント フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ " x $\frac{3}{4}$ " モニタ X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAAS モデル 41630 モニタアーム X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAAS モデル 41630	1 3 2 8 1 4 1 1	スプレーヤのモニタを取り付けます。
31	必要なパーツはありません。	-	スプレーポンプクラッチの配線を行います。

手順	内容	数量	用途
32	バッテリー用ブラケット	1	散布用の電装機器を取り付けます。
	ボルト5/16" x 1¾"	1	
	ワッシャ5/16"	1	
	バッテリー (540A)	1	
	バッテリーリテナー	1	
	フランジロックナット5/16"	1	
	オルタネータ用ブラケット	1	
	駆動プーリ279mm	1	
	ボルト¼" x 2¼"	4	
	ロックワッシャ¼"	4	
	オルタネータ60A	1	
	フランジヘッドボルト 8 x 25 mm	1	
	フランジヘッドボルト (¾" x 1½")	1	
V ベルト	1		
33	リレー	1	キットのワイヤハーネスをシートベースに接続します。
	プッシュインファスナー	1	
	ヒューズ (15 A)	1	
	ヒューズ (50 A)	1	
34	データ用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41630	1	ナビゲーション関係のワイヤハーネスを取り付けます。
	バッテリー用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41630	1	
	ケーブルタイ	8	
	クイックコネクタクランプ赤いハンドル	1	
	クイックコネクタクランプ黒いハンドル	1	
35	プッシュインファスナー	13	フードと左右の前フェンダを取り付けます。
36	必要なパーツはありません。	-	エンジンへのアクセスパネルと運転席を取り付けます。
37	必要なパーツはありません。	-	マシンの設定プログラミングを行います。
38	必要なパーツはありません。	-	ジオリンク機器に電源投入を行います。
39	必要なパーツはありません。	-	ソフトウェアのバージョンを確認します。
40	必要なパーツはありません。	-	単位系を選択します。
41	必要なパーツはありません。	-	フィールドを作成する。
42	必要なパーツはありません。	-	新しい薬剤の作成
43	必要なパーツはありません。	-	ノズルバルブのバランス調整を行うマルチプロ 1750
44	必要なパーツはありません。	-	一般散布作業を作成します。

手順	内容	数量	用途
45	必要なパーツはありません。	-	散布システムを点検します。
46	必要なパーツはありません。	-	攪拌バイパスバルブのバランス調整を行います。
47	必要なパーツはありません。	-	フローメータのキャリブレーションを行います。
48	必要なパーツはありません。	-	携帯電話通信の状態を確認します。
49	必要なパーツはありません。	-	コンパスのキャリブレーションを行う。
50	必要なパーツはありません。	-	不揮発 RAM の消去。
51	必要なパーツはありません。	-	コンパスのキャリブレーションを行う。

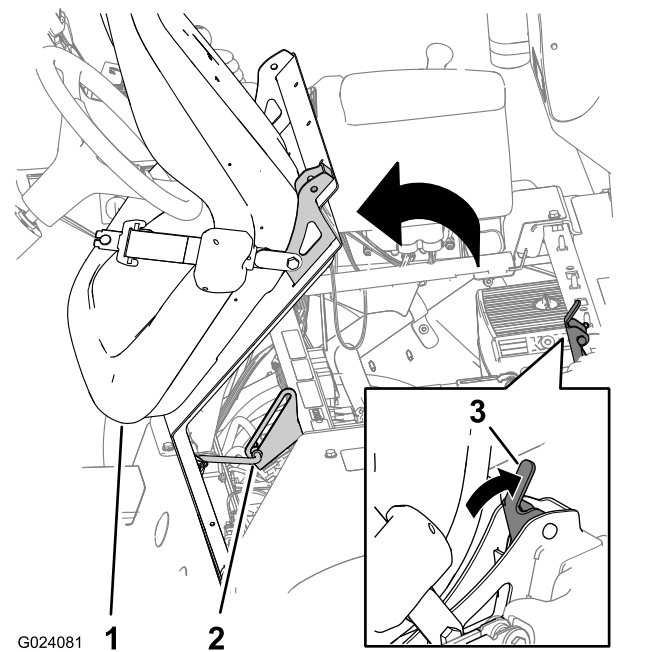
1

キット取り付けの準備

必要なパーツはありません。

液剤タンクとオプションのすすぎタンクの準備を行う

1. スプレーヤを洗浄するオペレーターズマニュアルの「スプレーヤの洗浄」を参照。
重要このキットの取り付けを行う前に、タンクを完全に空にしてください。
2. すすぎキットオプションを搭載している場合には、以下の作業を行う
 - A. すすぎタンクから液剤タンクへ水を移動させるすすぎキットの取り付け要領書の「すすぎキットの使用法」を参照。
 - B. 液剤タンクを空にする散布車のオペレーターズマニュアルの「スプレーヤの洗浄」を参照。
3. 左右のブームを散布位置に降下させる。
4. 平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止させてキーを抜き取るオペレーターズマニュアルを参照。
重要ジオリンクキットを取り付ける前に、平らな場所に移動する。



G024081

g024081

図 3

1. 運転席
 2. 支持棒
 3. 座席ラッチのハンドル
2. 座席と座席プレートを前に倒す。支持棒の端部がブラケットのロットの一番下までくるように、座席を完全に前に倒す 図 3。
 3. エンジンが完全に冷えるのを待つ。
 4. バッテリーのマイナスケーブルをバッテリーのマイナス端子に固定しているボルトとナットを外す。

バッテリーの接続を外す

1. 座席ラッチのハンドルを後ろに押し、座席のラッチを解除する 図 3。

⚠ 警告

バッテリーケーブルの接続手順が不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。
- ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

⚠ 警告

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属を接触させないように注意する。
 - バッテリーの端子と金属を接触させない。
5. バッテリーのプラスケーブルのカバーを外し、プラスケーブルをバッテリーのプラス端子に固定しているボルトとナットを外す 図 4。

注 外したケーブルの端子部分がバッテリー端子に触れないように十分注意してください。

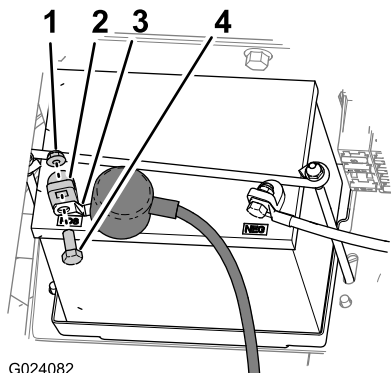


図 4

- | | |
|------------|---------------|
| 1. ナット | 3. 端子プラス+ケーブル |
| 2. バッテリー端子 | 4. ボルト |

2

運転席とエンジンアクセスパネルを外す

必要なパーツはありません。

運転席を取り外す

1. 座席スイッチのコネクタに接続されている機体本体用ハーネスから、2ソケットコネクタを外す 図 5。

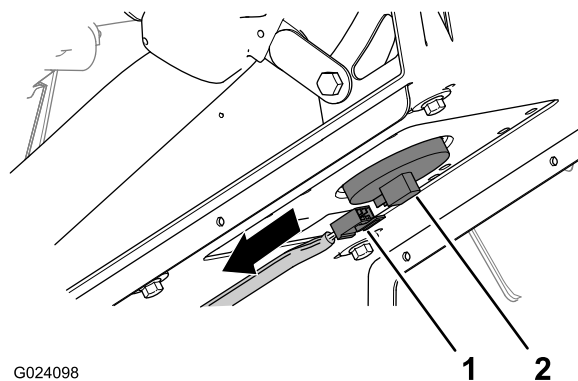


図 5

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 2ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス | 2. 座席スイッチ用コネクタ |
|------------------------|----------------|

2. 座席プレート下で、支え棒をブラケットに固定しているヘアピンを抜き取る 図 6。

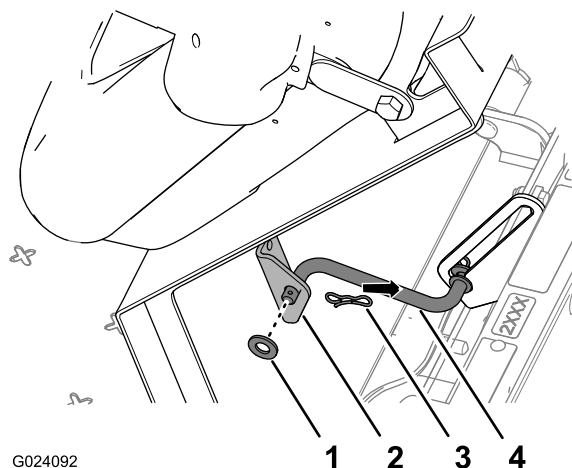
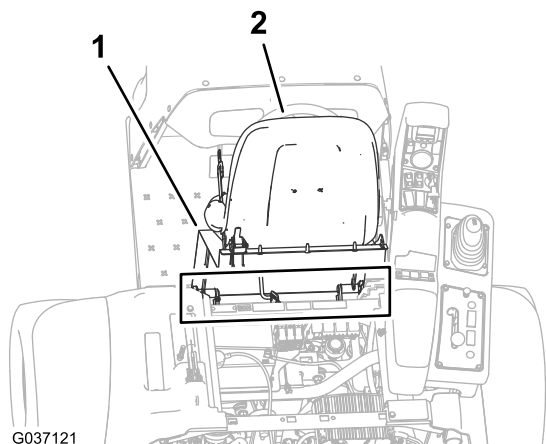


図 6

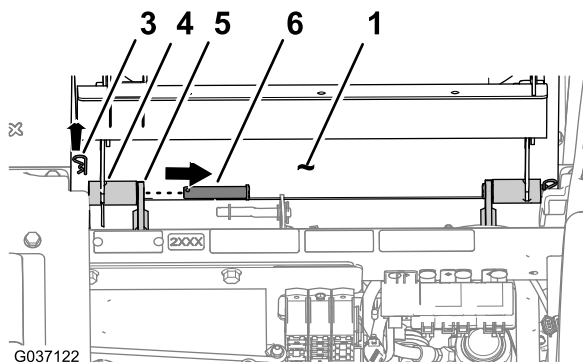
- | | |
|-------------|---------|
| 1. ワッシャ | 3. ヘアピン |
| 2. ブラケット座席用 | 4. 支え棒 |

3. 座席プレートのピボットフィッティングをシャーンブラケットに固定しているヘアピン2本を抜き取る 図 7。



G037121

g037121



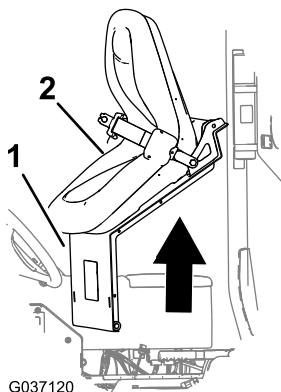
G037122

g037122

図 7

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1. 座席プレート | 4. ピボットフィッティング座席パン |
| 2. 運転席 | 5. シャーシブラケット |
| 3. ヘアピン | 6. ピボットピン |

- 座席と座席プレートをシャーシに固定しているヘアピン2本を抜き取る 図 7。
- 座席と座席プレートを持ち上げて車体から取り外す 図 8。



G037120

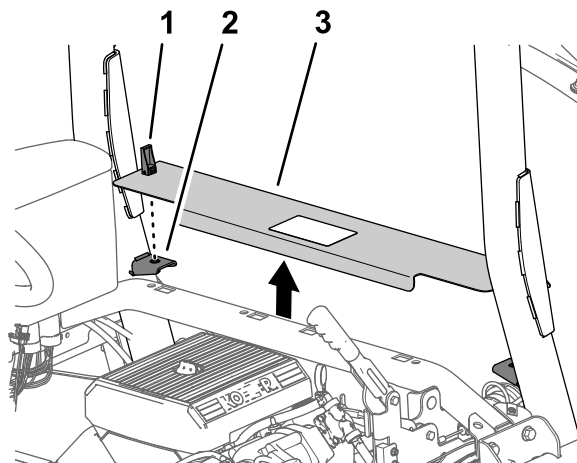
g037120

図 8

- | | |
|-----------|--------|
| 1. 座席プレート | 2. 運転席 |
|-----------|--------|

エンジンアクセスパネルを外す

- エンジンアクセスパネルのラッチのハンドルを上げる 図 9。



g202440

図 9

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. ラッチ | 3. エンジンアクセスパネル |
| 2. パネルのサポートブラケット | |

- エンジンアクセスパネルを持ち上げて機体から取り外す 図 9。

3

左右の前フェンダとフードを取り外す

必要なパーツはありません。

左右の前フェンダを取り外す

- 左前フェンダをROPSのチャンネル部に固定している押し込みファスナー2本を外す 図 10。

注 取り外した押し込みファスナーは廃棄する。

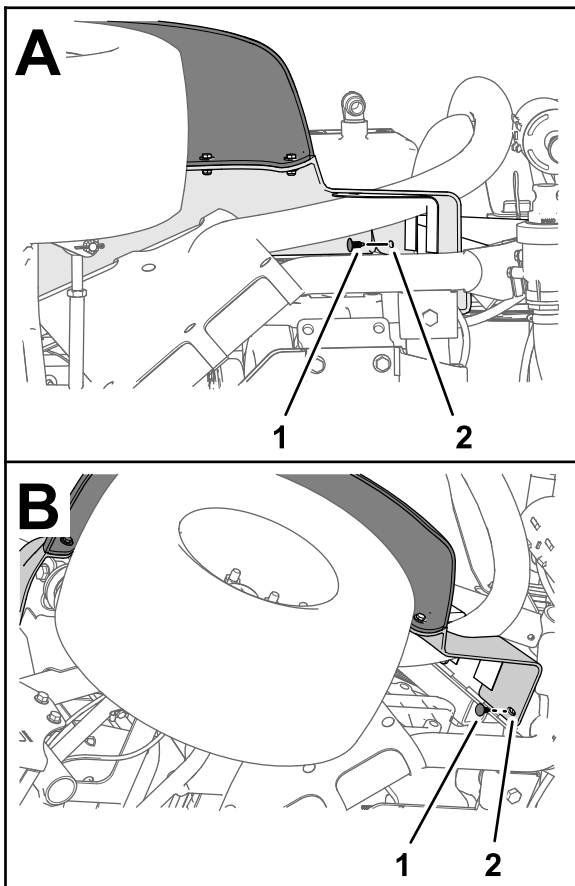
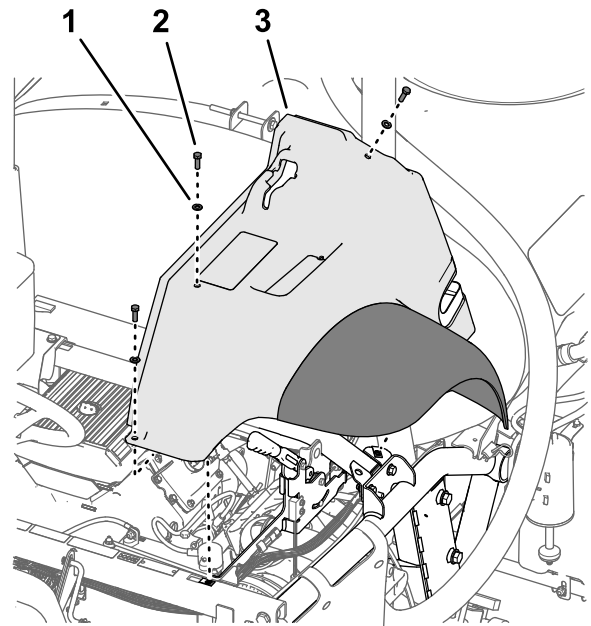


図 10

g264614

1. 押し込みファスナー
 2. 左前フェンダ
-
2. フェンダを車体フレーム5/16 x 1"3本とワッシャ5/16"3枚を取り外す 図 11。



g197152

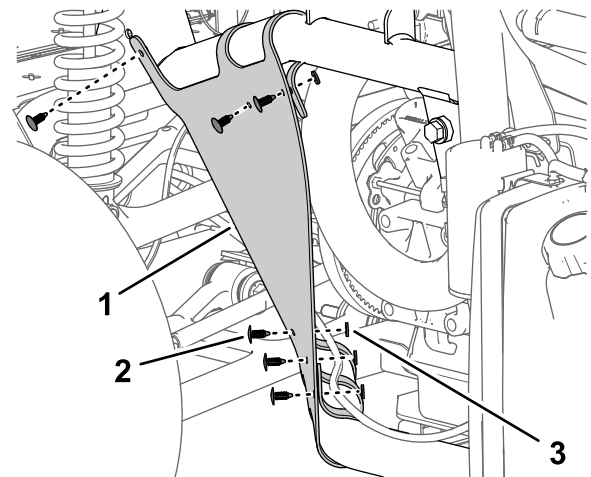
図 11

1. ワッシャ5/16"
2. ボルト5/16 x 1"
3. 左前フェンダ

3. 機体からフェンダを外す。

注 取り外した押し込みファスナーは廃棄する。外したフェンダ、ねじ、ワッシャは **左右の前フェンダ** を取り付ける (ページ 90) で使用します。

4. 内側フェンダのシュラウドを車体フレームに固定している押し込みファスナー 6 本とワッシャ9/16 x 1/2" 5 枚を取り外す 図 12。



g197150

図 12

1. 内側フェンダ用シュラウド
2. 押し込みファスナー
3. ワッシャ9/16 x 1/2"

5. 機体からフェンダを外す 図 13。

注 取り外した押し込みファスナーは廃棄する。

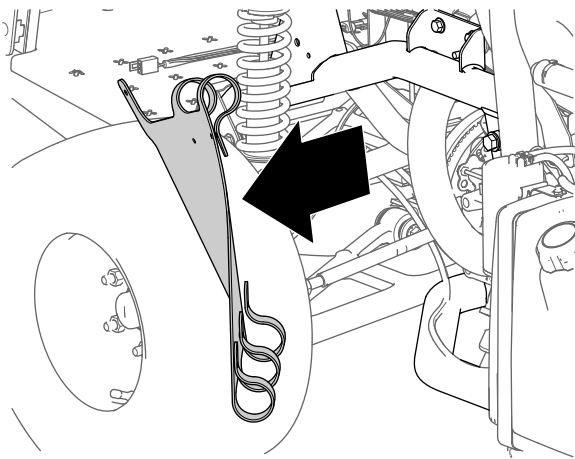


図 13

g197149

6. 機体の反対側のフェンダと内側フェンダ用シュラウドについても 1 から 5 の作業を行う。

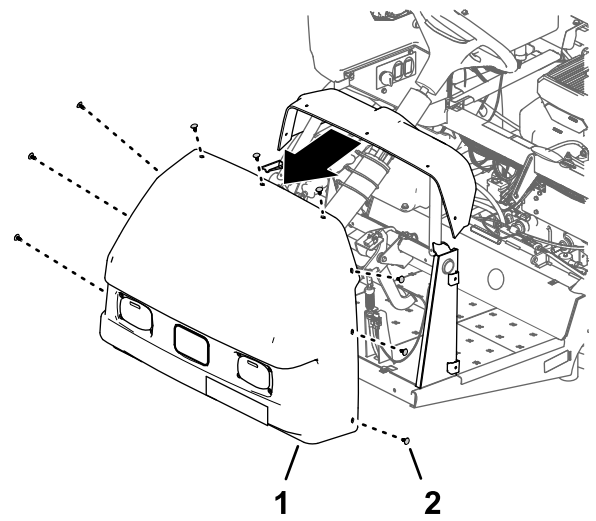


図 15

g197148

1. フード
2. 押し込みファスナー

3. 機体からフードを外す 図 15。

注 取り外した押し込みファスナーは廃棄する。

フードを外す

1. 左右のヘッドライトの 2 ピンコネクタから、車両用ワイヤハーネスの 2 個のコネクタ 2 ソケットを外す 図 14。

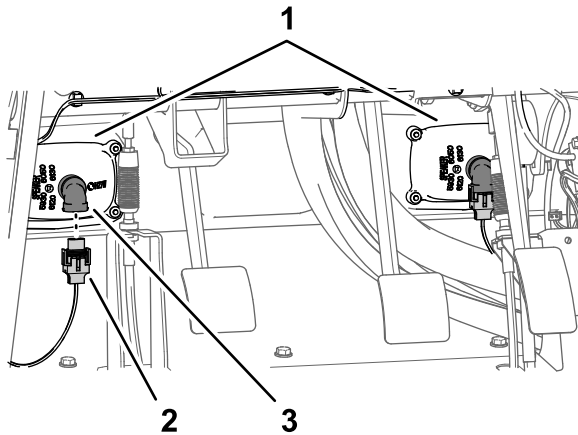


図 14

g197153

1. ヘッドライト
2. 2ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス
3. 2ピンコネクタヘッドライト

2. フードをダッシュボードと車体フレームに固定している押し込みファスナー 9 個を外す 図 15。

注 押し込みファスナーは フードを取り付ける (ページ 89) で使用するのので廃棄しないでください。

4

フォームマーカークイットオプションの接続を外す

この作業に必要なパーツ

2	チューブアセンブリ Toro P/N 114-9553
8	ケーブルタイ

コンプレッサから原液チューブと空気チューブを取り外す

フォームマーカークイット 2017 年度以降

1. フォームマーカークイット用の接続パネルで、右側ブーム用の透明チューブと青色チューブをケーブルタイで固定する 図 16。

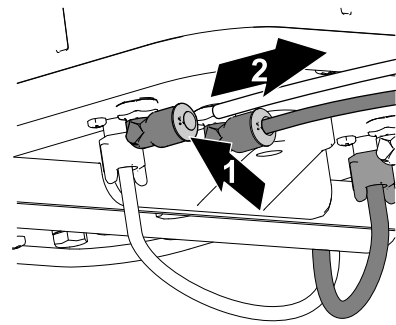
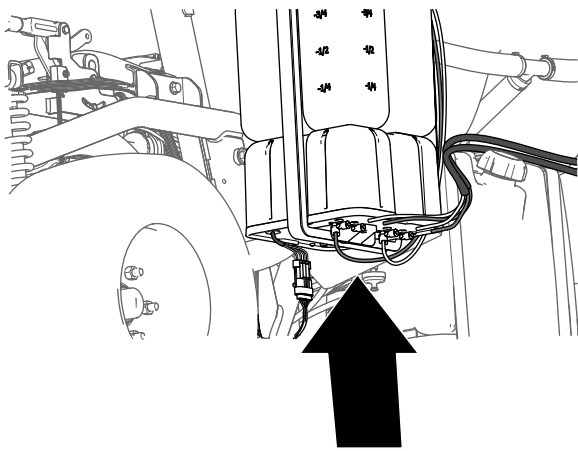


図 17

g197769

1. ロックカラーを押し込む
2. チューブを引き出す

g197746

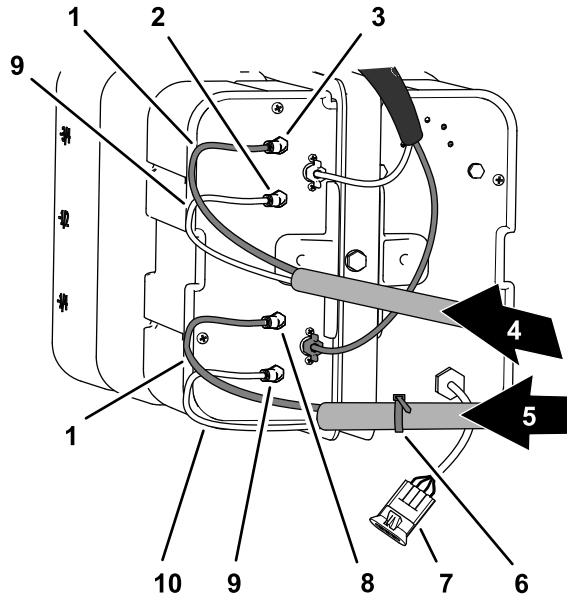


図 16

g266328

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 青色チューブ | 6. ケーブルタイ |
| 2. 空気用フィッティング左ブーム | 7. 電気コネクタ |
| 3. 原液用フィッティング左ブーム | 8. 原液用フィッティング右ブーム |
| 4. 泡用チューブ左ブーム | 9. 透明チューブ |
| 5. 泡用チューブ右ブーム | 10. 空気用フィッティング右ブーム |

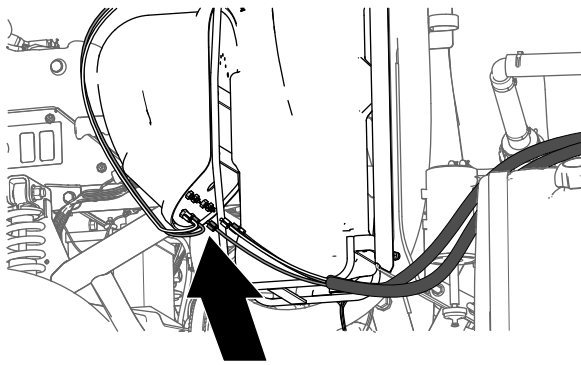
3. フィッティングからチューブを引き出す 図 17。
4. 他のチューブ 3 本についても、ステップ2-3の作業を行う。

コンプレッサから原液チューブと空気チューブを取り外す

フォームマーカークिट2016年度以前

1. フォームマーカークिट用の接続パネルで、右側ブーム用の透明チューブと青色チューブをケーブルタイで固定する 図 18。

2. ロッキングカラーを押し込む 図 17。



ブームから原液チューブと空気チューブを取り外す

1. 左ブーム用の泡液剤チューブと空気チューブ、および右ブーム用の液剤チューブと空気チューブを区別できるようにテープなどでマーキングする。
2. 左右のブームで、泡ノズルからチューブを外し、ブームの支点近くにある R クランプから抜き出す [図 19](#)。

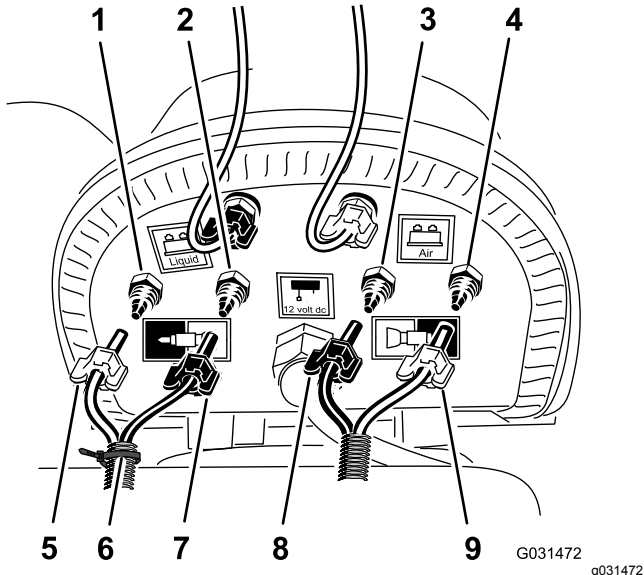


図 18

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 空気圧縮フィッティング右ブーム | 6. ケーブルタイ |
| 2. 原液圧縮フィッティング右ブーム | 7. 圧縮ナット水用右ブーム、透明チューブ |
| 3. 原液圧縮フィッティング左ブーム | 8. 圧縮ナット左ブーム、青チューブ |
| 4. 空気圧縮フィッティング左ブーム | 9. 圧縮ナット左ブーム、透明チューブ |
| 5. 圧縮ナット空気用右ブーム、青チューブ | |

2. 左および右ブーム部で、泡ノズル用の透明チューブ2本と青色チューブ2本の圧縮ナットをゆるめる [図 18](#)。
3. ブーム用の圧縮フィッティングからチューブ4本を外す [図 18](#)。

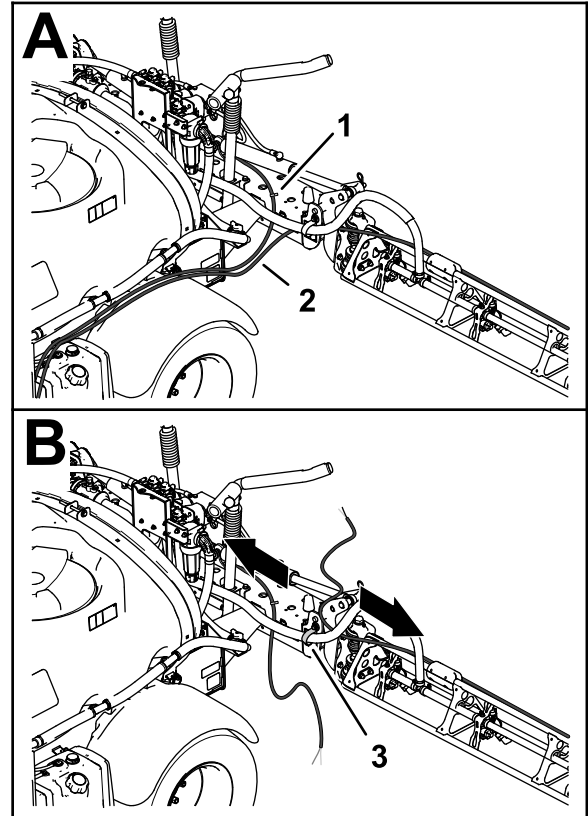


図 19

- | | |
|------------------------------|-----------|
| 1. チューブフォームマーカ
のノズル用左ブーム用 | 3. R クランプ |
| 2. チューブフォームマーカ
のノズル用右ブーム用 | |

3. **センターブーム延長キット** が装着されているマシンでは、外したチューブの端部を右または左ブームに仮止めし、以下の作業は行わない **フォームマーカ**のノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う (ページ 16) および **新しいチューブアセンブリ**を取りつける (ページ 17)。

フォームマーカのノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う

オプションのセンターブーム延長キットを搭載していない車両

1. フォームマーカの透明チューブと青色チューブを左右のブームに固定しているケーブルタイを外す [図 20](#)。

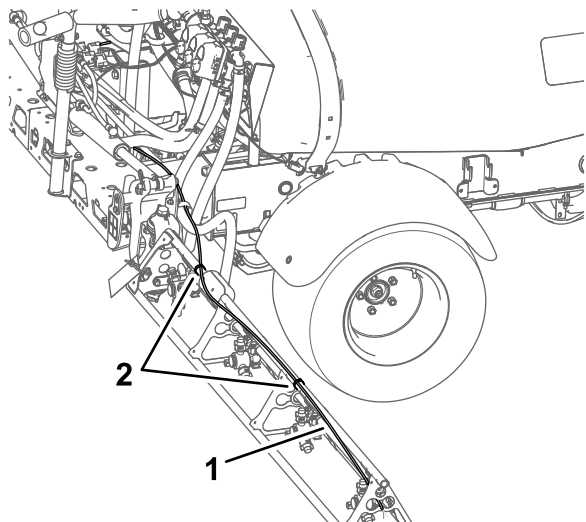
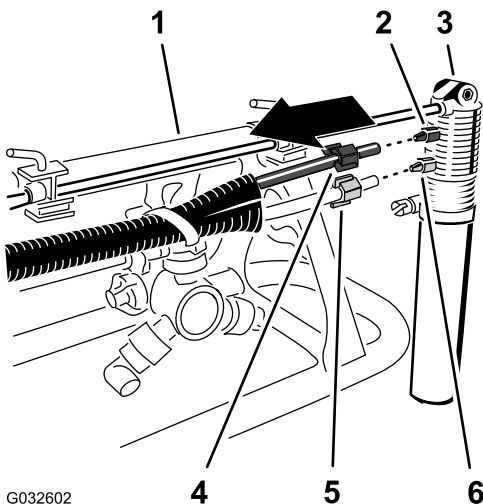


図 20

g197816

1. 原液チューブと空気チューブ
 2. ケーブルタイ
- 図は右ブーム

2. フォームマーカのノズル部で、ノズルの青色圧縮フィッティングに青色チューブ水を固定している圧縮ナットをゆるめる [図 21](#)。



G032602

g032602

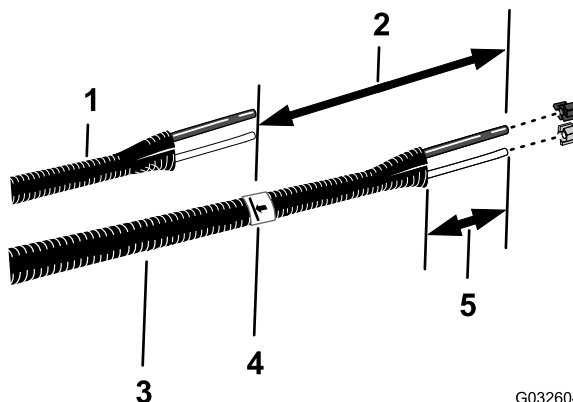
図 21

1. 外側左右のブーム
2. 圧縮フィッティング青
3. フォームマーカのノズル
4. 圧縮ナット青水用青色チューブ
5. 圧縮ナット白空気用透明チューブ
6. 圧縮フィッティング白

3. フォームマーカのノズルの白色圧縮フィッティングに透明チューブ空気を固定している圧縮ナットをゆるめる [図 21](#)。
4. 機体から原液チューブと空気チューブを取り外す。
5. チューブの両端にある圧縮ナットを取り外す [図 21](#)。

注 外した圧縮ナットは、ステップ 1 新しいチューブアセンブリを取りつける (ページ 17) で使用します。

6. 古い原液チューブと空気チューブ [図 22](#) を新しいチューブアセンブリ Toro P/N 114-9553 に合わせて並べる。



G032604

g032604

図 22

1. 古い原液チューブと空気チューブ
2. 26 cm
3. 新しいチューブアセンブリ Toro P/N 114-9553
4. テープとマーク
5. 77-102 mm

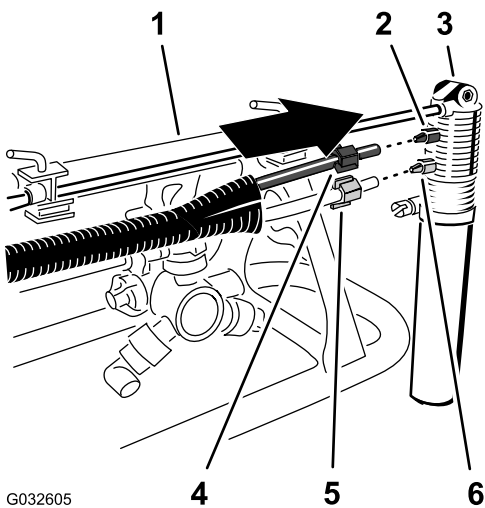
7. 古い原液チューブと空気チューブに合わせて新しいチューブアセンブリにテープで印をつける。
8. ステップ 7 で新しいチューブアセンブリに付けたマークから 26cm の所にマーキングを施し、この位置長さを増やした方のマークでチューブアセンブリを切断する [図 22](#)。
9. 古い原液チューブと空気チューブにケーブルタイでマーキングが施されている場合には、新しいチューブアセンブリにも同じようにマーキングするが、マーキングされていない場合には、ステップ 10 へ進む。

注 古い原液チューブと空気チューブは、これで不要になりました。

10. チューブアセンブリの各チューブの端部から、外被覆を 77-102 mm はぎ取る [図 22](#)。
11. 機体の反対側のチューブについても 1 から 10 の作業を行う。

新しいチューブアセンブリを取りつける オプションのセンターブーム延長キットを搭載し ていない車両

1. 青色チューブに青色圧縮ナットを取り付け、透明チューブに白色圧縮ナットを取り付ける (図 23)。



G032605

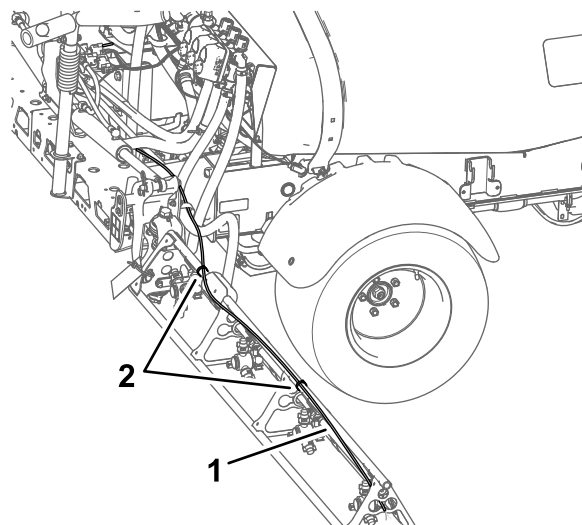
G032605

図 23

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. ブームの外側端部 | 4. 圧縮ナット青水用青色チューブ |
| 2. 圧縮フィッティング青 | 5. 圧縮ナット白空気用透明チューブ |
| 3. フォームマーカーのノズル | 6. 圧縮フィッティング白 |

2. フォームマーカーのノズルの白色圧縮フィッティングに透明チューブの白色圧縮ナットを嵌め、ナットを手締めする 図 23。
3. フォームマーカーのノズルの青色圧縮フィッティングに青色チューブの青色圧縮ナットを嵌め、ナットを手締めする 図 23。
4. 図 24に示すように、ブームの上側サポートポールの後ろ側に沿ってチューブアセンブリを配設する。

重要間違えてブームの上側サポートポールの前側に沿ってチューブアセンブリを配設してしまうと、ブームを折りたたんだ時にブームとクレードルとの間にチューブが挟まれてしまいます。

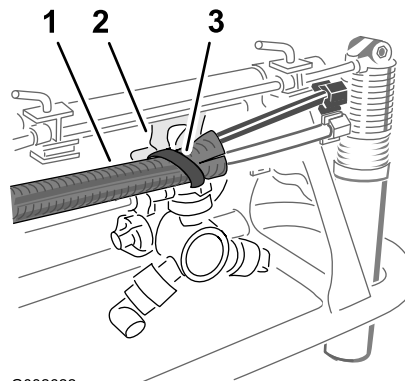


g197816

図 24

1. チューブアセンブリ図は右 2. ケーブルタイブーム

5. 図 25に示すように、ケーブルタイを使ってチューブアセンブリをノズルサポートの穴に固定する。



G032622

g032622

図 25

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. チューブアセンブリ | 3. ケーブルタイ |
| 2. ノズルサポート | |

6. 図 24に示すように、ケーブルタイを使ってチューブアセンブリをブームに固定する。
7. チューブアセンブリの自由端を、ブームに仮止めする。
8. マシンの反対側でも、ステップ 1-6 の作業を行う。

5

ウルトラソニックboomレベリングキットオプションの接続を外す

必要なパーツはありません。

手順

1. ウルトラソニックboomレベリングキットのワイヤハーネスの3ピンコネクタを、車両のワイヤハーネスの3ソケットコネクタから外す [図 26](#)。

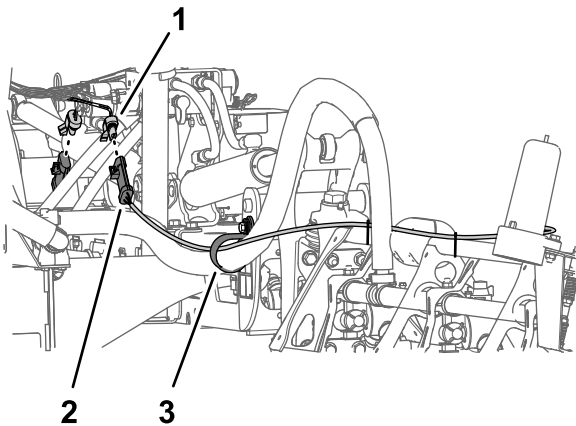


図 26

g198450

1. 3ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス
2. 3ピンコネクタウルトラソニックboomレベリングキットのワイヤハーネス
3. サポートクランプ

2. マシンの反対側のウルトラソニックboomのワイヤハーネスの3ピンコネクタにも、ステップ 1の作業を行う。

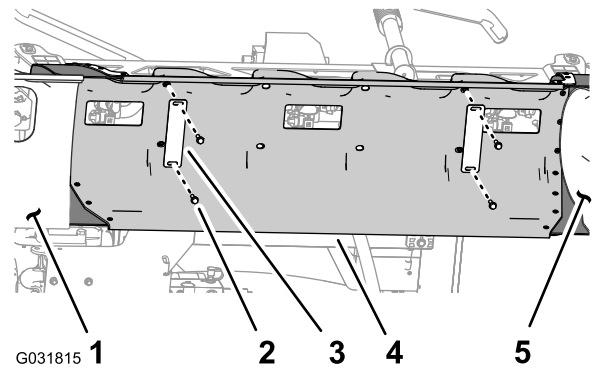
6

カバー付きboomキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. センターセクションカバー11ノズルを支えておいて、このカバーをカバーサポートブラケットに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 1¼"4本とカバーストラップ2本を外す [図 27](#)。



G031815 1

2

3

4

5

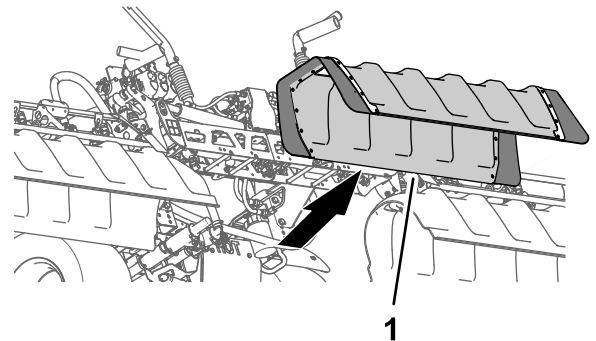
g031815

図 27

1. boomカバー左
2. フランジヘッドボルト 5/16 x 1¼"
3. カバーストラップ
4. センターセクションカバー
5. boomカバー右

2. 機体からセンターセクションカバーを外す [図 28](#)。

注 外したカバー、カバーストラップ、フランジヘッドボルトは、ステップ 1と2 **センターboom用カバー**を取り付ける (ページ 68)で使用します。



1

図 28

g197940

1. センターセクションカバー

7

ダッシュボード用の水圧検知チューブを外す

必要なパーツはありません。

ダッシュボード用の水圧検知チューブを外す

オプションのハンドスプレーキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両

注 スプレーガンキットオプションを搭載している車両では、**水圧検知チューブと散布ホースを外す** (ページ19)を参照してください。

1. 右側boom用バルブのエンドキャップのカップラにあるカラーを押し込む 図 29。

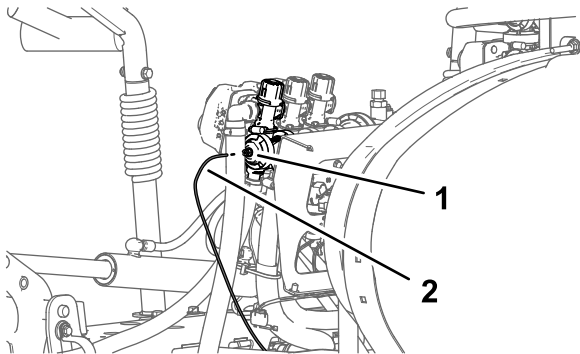


図 29

g197991

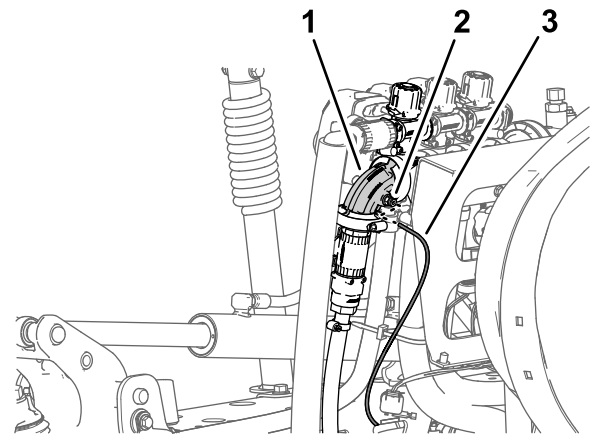
1. チューブカップラ右boom 2. 水圧検知チューブバルブのエンドキャップ

2. ダッシュボード用の水圧検知チューブを抜き出す 図 29。

水圧検知チューブと散布ホースを外す

オプションのハンドスプレーキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

1. 右側boom用バルブの90°エルボに、チューブカップラのカラーを押し込む 図 30。



g198002

図 30

1. 90°エルボ右boomバルブ 3. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
2. チューブカップラ

2. ダッシュボード用の水圧検知チューブを抜き出す 図 30。

注 散布ホース用のシャットオフバルブの90°エルボは右側boom用バルブのフランジから外さないでください。

8

散布バルブのコネクタを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

1. 3つの散布バルブアクチュエータのそれぞれについている3ピンコネクタから、車両用ワイヤハーネスの3ソケットコネクタそれぞれLEFT SPRAY VALVE、CENTER SPRAY VALVE、RIGHT SPRAY VALVEというラベルがついているを外す 図 31。

9

散布レートスイッチを外す

この作業に必要なパーツ

1	ケーブルタイ
1	スイッチのプラグ

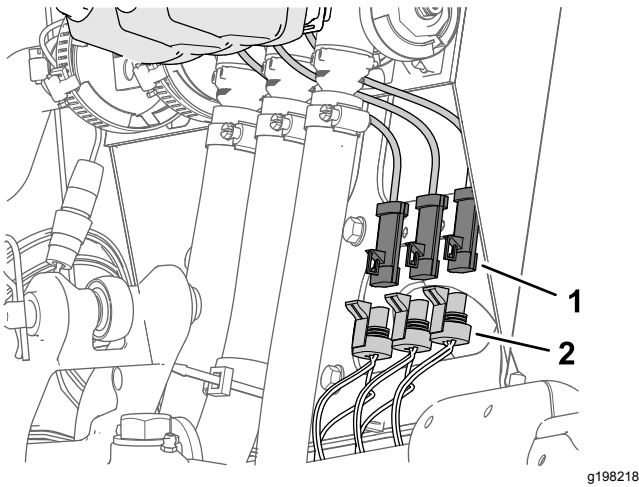


図 31

1. 3ピンコネクタ散布バルブのアクチュエータ
2. 3ソケットコネクタ車両のワイヤハーネスLEFT SPRAY VALVEは左ブーム用、CENTER SPRAY VALVEは中央ブーム用、RIGHT SPRAY VALVEは右用

2. 車両用ワイヤハーネスのうち、RATE VALVEというラベルのついた4ソケットコネクタを、レートバルブのアクチュエータの4ピンコネクタから外す 図 32。

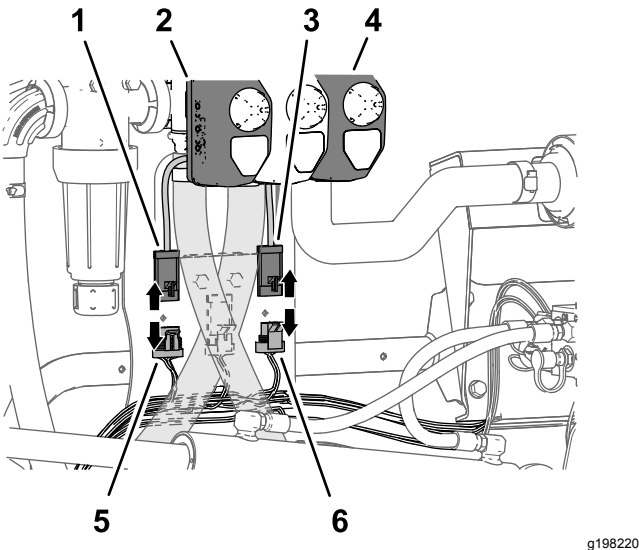


図 32

1. 4ピンコネクタレートバルブのアクチュエータ
2. アクチュエータレートバルブ
3. 3ピンコネクタマスター散布バルブのアクチュエータ
4. アクチュエータマスター散布バルブ
5. 4ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス、レートバルブ
6. 3ソケットコネク車両のワイヤハーネス、マスター散布バルブ

3. 車両用ワイヤハーネスのうち、MASTER SPRAY VALVEというラベルのついた3ソケットコネクタを、マスター散布バルブのアクチュエータの3ピンコネクタから外す 図 32。

手順

1. 3スイッチパネルを制御コンソールに固定しているフランジヘッドねじ $\frac{1}{4} \times \frac{1}{2}$ "4本を外す 図 33。

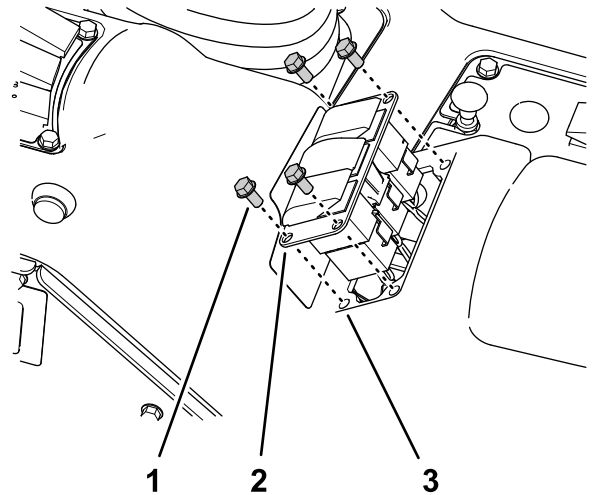


図 33

1. フランジヘッドねじ $\frac{1}{4} \times \frac{1}{2}$ "
2. 3スイッチパネル
3. 開口制御コンソール

2. レート制御スイッチのロックタブをつまんで、スイッチを3スイッチパネルから押し出す 図 34。

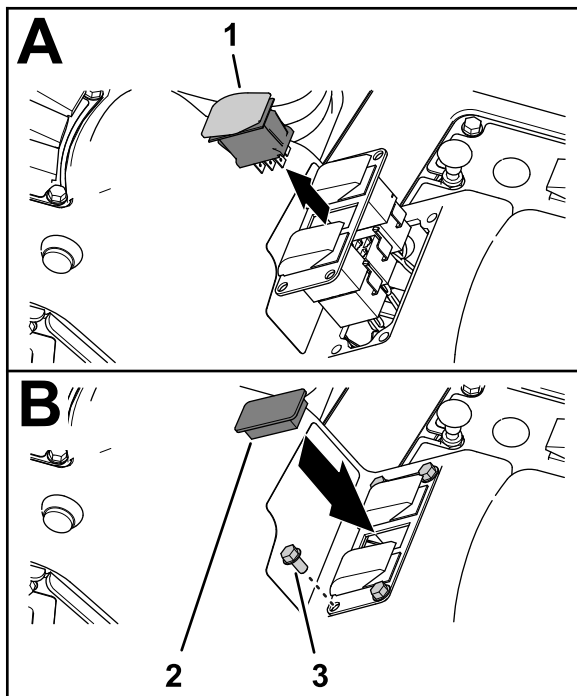


図 34

g198658

1. レート制御スイッチ
2. スイッチのプラグ
3. フランジヘッドねじ $\frac{1}{4} \times \frac{1}{2}$ "

3. 車両用ワイヤハーネスのうち、**Rate Switch**というラベルのついた 8 ソケットコネクタを、スイッチの 8 ピンコネクタから外す 図 33。

注 機体から外したレートスイッチは、もう使用しません。

4. 前ハーネスの、レートスイッチ用の枝線を、3 スイッチパネルの穴に通し、電気コードをケーブルタイで近くの電気コードに縛り付ける。
5. 3 スイッチパネルを制御コンソールに組み付ける 図 34 ステップ 1 で取り外したフランジヘッドねじ $\frac{1}{4} \times \frac{1}{2}$ " 4 本を使用する。
6. 3 スイッチパネルの穴に、スイッチプラグを合わせる 図 33。
7. 3 スイッチパネルにスイッチプラグを押し込む。プラグがパチンと音を立てて嵌るまで押し込む 図 33。

10

ブームを取り外す

必要なパーツはありません。

ブームホースを取り外す

1. 左右のブームで、給液ホースをバーブ付き T 字フィッティングに固定しているホースクランプを外す 図 35。

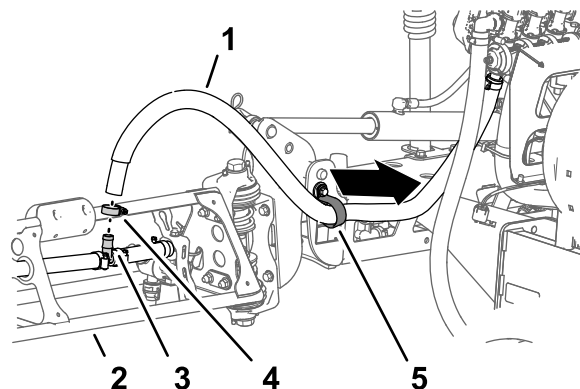


図 35

g198451

1. ブーム給液ホース左右ブーム
2. 外側右または左ブーム
3. バーブ付き字フィッティング
4. ホースクランプ
5. R クランプ

2. 字フィッティングからホースを取り外す 図 35。
3. ホース端部をRクランプから外す 図 35。
4. 機体の反対側のブームでも、ステップ 1-3 の作業を行う。
5. センターブームの下で、センターブームに給液しているホースをバーブ付き T 字フィッティングに固定しているクランプを外す 図 36。

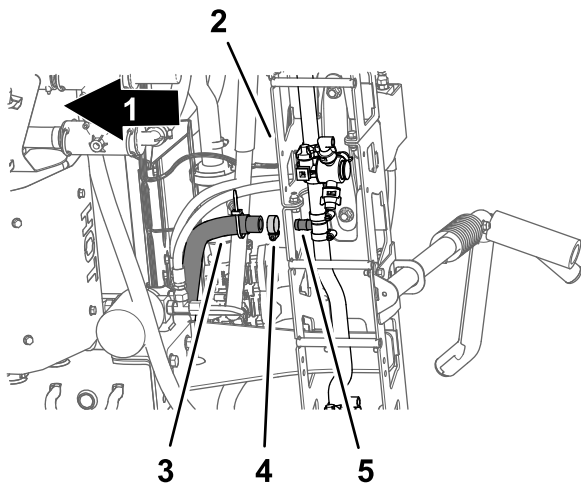


図 36

g198473

1. 車体前方
2. センターブーム
3. 給液ホースセンターブーム
4. ホースクランプ
5. パーブ付き字フィッティング

6. 左、中央、右ブームバルブでそれぞれクイックカップラ固定しているリテーナを外す 図 37。

注 リテーナは 各ホースをノズルバルブ7-10番に取り付ける。(ページ 58)で使用します。

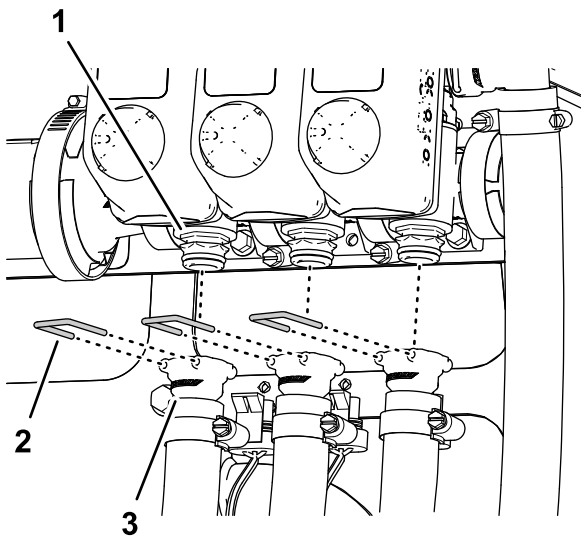


図 37

g198474

1. クイックカップラブームバルブ
2. リテーナ
3. クイックカップラソケット給液ホース

7. 各ブームバルブのクイックカップラから、左、中央、右の各ブーム給液ホースを外し、車両からホースを外す 図 37。

注 左、中央、右ブーム用の給液ホースは廃棄して構いません。

昇降シリンダから、伸長用ホースと引き込み用ホースを外す。

1. 左右の昇降シリンダの伸長ポートと引き込みポートからホースを外す 図 39。

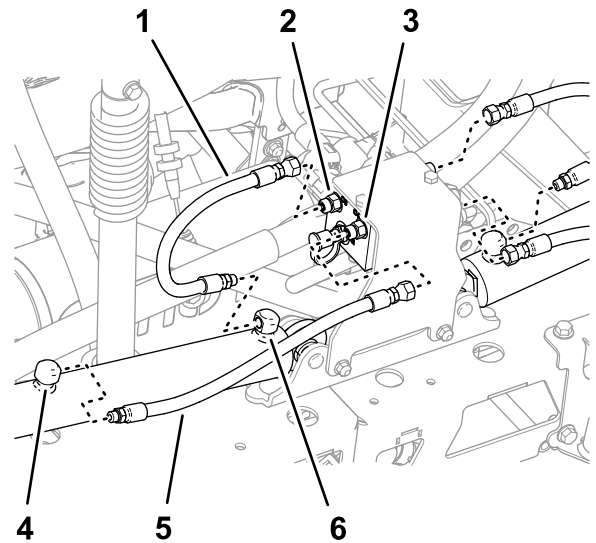


図 38

g198542

1. ホース伸長ポート
2. ポート C3昇降シリンダのマニホルド
3. ポート C4昇降シリンダのマニホルド
4. 引き込み用ポート昇降シリンダ
5. ホース引き込みポート
6. 伸長用ポート昇降シリンダマニホルド

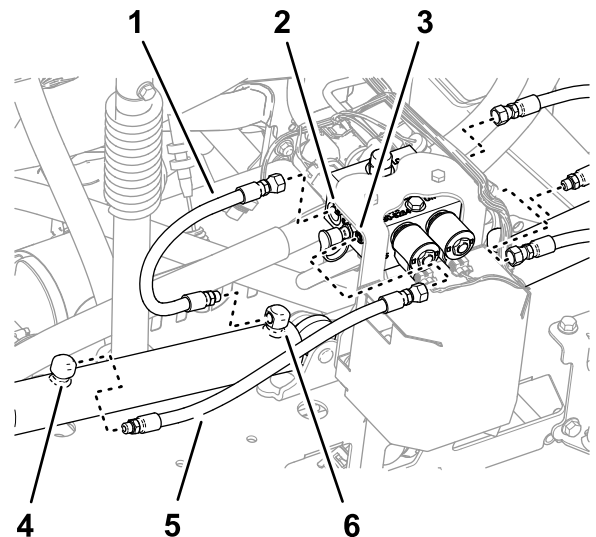


図 39

g198541

オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載している車両

1. ホース伸長ポート
2. ポート C3昇降シリンダのマニホルド
3. ポート C4昇降シリンダのマニホルド
4. 引き込み用ポート昇降シリンダ
5. ホース引き込みポート
6. 伸長用ポート昇降シリンダマニホルド

- 昇降シリンダマニホールドのC2ポートとC4ポートからホースを外す [図 39](#)。
- 左右の昇降シリンダの引き込みポートからホースを外す [図 39](#)。
- 昇降シリンダマニホールドのC1ポートとC3ポートからホースを外す [図 39](#)。

注 外したホースは不要です。

昇降シリンダを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

注 廃棄するように明記されていない限り、外したボルト・ナット類はすべて延長キットの取り付けに利用しますから捨てないでください。

- 所定の能力のあるホイストなどを使って、左または右のブームを支える。
- 昇降シリンダをピボットブラケットに固定しているヘアピンとクレビスピンを取り外す [図 40](#)。

注ヘアピンとクレビスピン [昇降シリンダを組み立てる \(ページ 51\)](#) で取り付けに使用します。

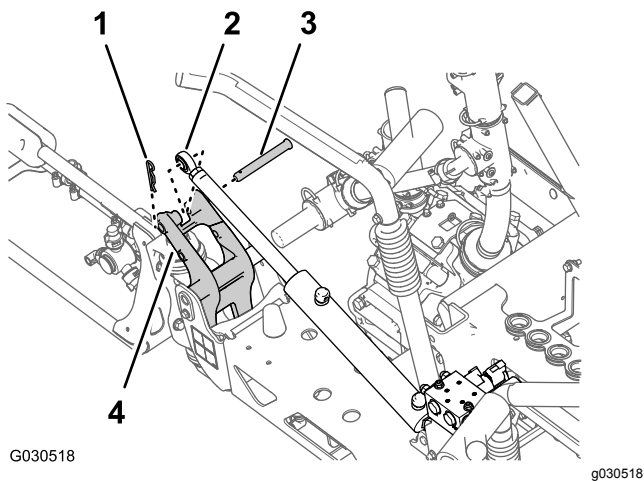


図 40

- ヘアピン
- ロッドのフィッティング昇降シリンダ
- クレビスピン
- ピボットブラケット

- ピボットピンをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16"とフランジヘッドボルト5/16 x 3/4"を取り外す [図 41](#)。

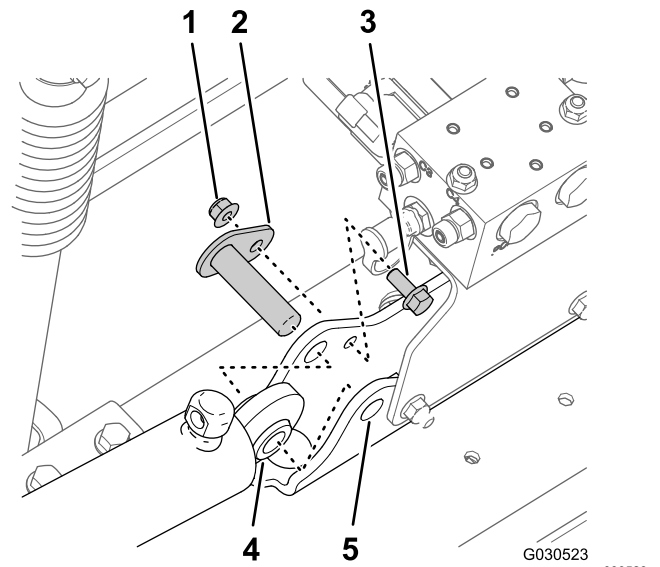


図 41

- フランジロックナット5/16"
- ピボットピン
- フランジヘッドボルト5/16 x 3/4"
- 昇降シリンダ
- シリンダマウント

- 機体から、ピボットピンと昇降シリンダを外す [図 41](#)。
- ステップ [左右のブームを取り外す \(ページ 24\)](#) の手順を行う。

左右のブームを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

注 飛散防止カバーを搭載している車両では、左右のブームから飛散防止カバーを取り外す必要はありません。

▲ 警告

重量物の吊り上げは危険を伴う作業であり、最悪の場合は死亡事故を招く。

重量のある装置やアタッチメントを吊り上げる持ち上げる場合には、必ずそれに適した装置を用い、チェーンなどで確実に吊ること。

注 廃棄するように明記されていない限り、外したボルト・ナット類はすべて延長キットの取り付けに利用しますから捨てないでください。

1. ピボットピンをピボットブラケットに固定しているフランジボルト5/16 x 1" とフランジロックナット5/16"を取り外す 図 42。

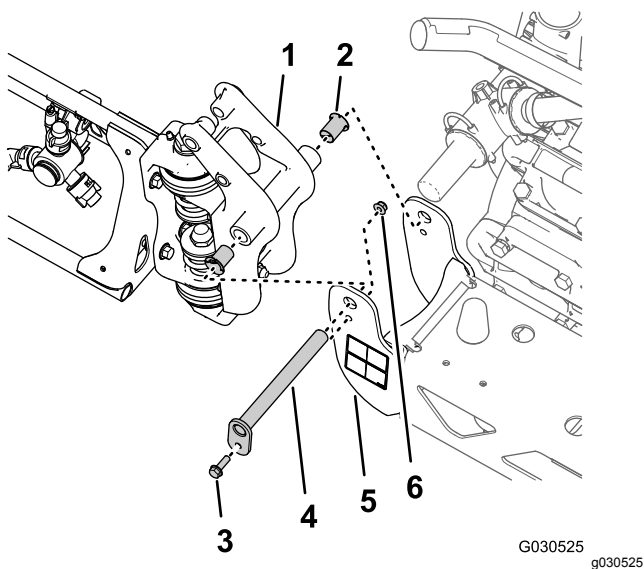


図 42

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. ピボットフィッティング左右ブーム | 4. ピボットピン |
| 2. ナイロン製フランジブッシュ | 5. ピボットブラケットセンターブーム |
| 3. フランジボルト5/16 x 1" | 6. フランジロックナット5/16" |

2. センターブーム用のピボットブラケット、および、左右ブーム用のピボットフィッティングからピボットピンを抜き取る 図 42。

注 フランジボルト、フランジナット、ピボットピンは 左右のブームを機体に取り付ける (ページ 53) で使用します。

3. センターブームから外側左または右ブームを切り離し、外側ブームを機体から外す 図 42。
4. 外側ブームのピボットフィッティングからナイロン製フランジブッシュ2個を外す 図 42。

注 ブッシュは廃棄してください。

5. マシンの反対側の外側左または右ブームにも、ステップ 1-3 昇降シリンダを取り外す (ページ 23) の作業を行う。
6. マシンの反対側の外側左または右ブームにも、この項のステップ 1-4の作業を行う。

センターブームからブーム昇降マニホールドを外す

1. 以下の手順で、シリンダマウントからブームマニホールドを取り外す

- オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載していない車両ブーム昇降マニホールド用サポートブラケットをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16"2個とフランジヘッドボルト5/16 x 1"2本を外して、マウントからマニホールドとブラケット外す 図 43。

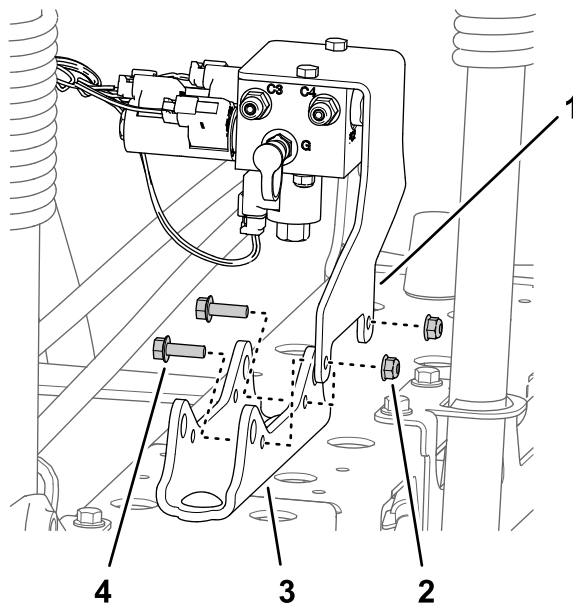


図 43

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. サポートブラケットブーム昇降マニホールド | 3. シリンダマウント |
| 2. フランジロックナット5/16" | 4. フランジヘッドボルト5/16 x 1" |

- オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載している車両ブーム昇降マニホールド用サポートブラケットとTECコントロール用ブラケットをシリンダマウントに固定しているフランジロックナット5/16"2個とフランジヘッドボルト5/16 x 1"2本を外して、マウントからマニホールドとブラケット外す 図 44。

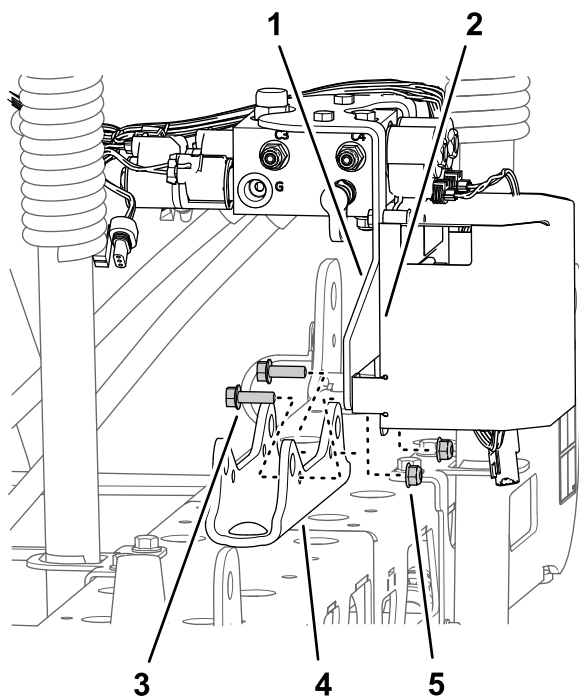


図 44

g198618

オプションのウルトラソニックboomレベリングキットを搭載している車両

1. サポートブラケットboom昇降マニホールド
2. TECコントローラ用ブラケット
3. フランジヘッドボルト5/16 x 1"
4. シリンダマウント
5. フランジロックナット5/16"

2. ロープを使って、boom昇降マニホールドを散布バルブマニホールドに縛り付けて固定する。

注 サポートブラケット、昇降マニホールド、ボルト、ナットは、ステップ19 昇降シリンダマニホールドをシリンダマウントに取り付ける (ページ 44) で使用します。

センターboomを取り外す

吊り上げ装置に必要な能力: 41kg

1. 飛散防止カバーを搭載している車両では、センターboomから飛散防止カバーを取り外してください。
2. 所定の能力のあるホイストなどを使って、センターboomを支える 図 45。

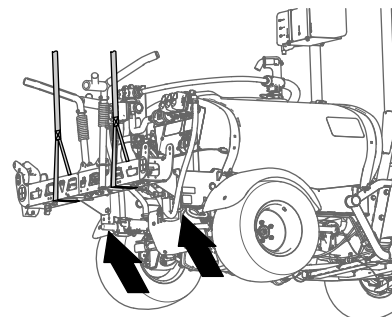


図 45

g198634

3. フランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x $1\frac{1}{4}$ "4本とフランジロックナット $\frac{1}{2}$ "4個でセンターboomのサポートブラケットを機体の取り付けプレートに固定している穴の位置を、テープなどでマーキングする 図 46。

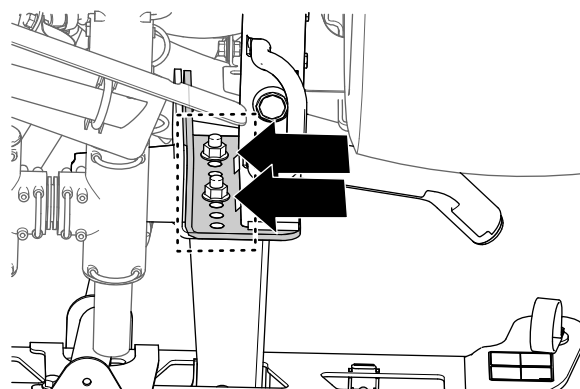


図 46

g198633

4. センターboom用サポートブラケットを機体フレームの取り付けプレートに固定しているフランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x $1\frac{1}{4}$ "とフランジロックナット $\frac{1}{2}$ "4個とを外して、センターboomを機体から外す 図 47。

注 ボルトとロックナットは、新しいセンターboomの取り付けに再使用します。

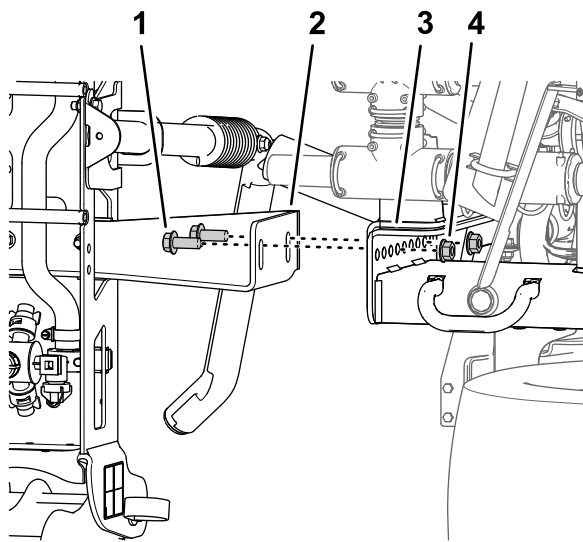


図 47

1. フランジヘッドボルト 1/2 x 1 1/4"
2. サポートブラケットセンターブーム
3. 取り付け用チャンネル部材スプレーヤのフレーム
4. フランジロックナット 1/2"

g198635

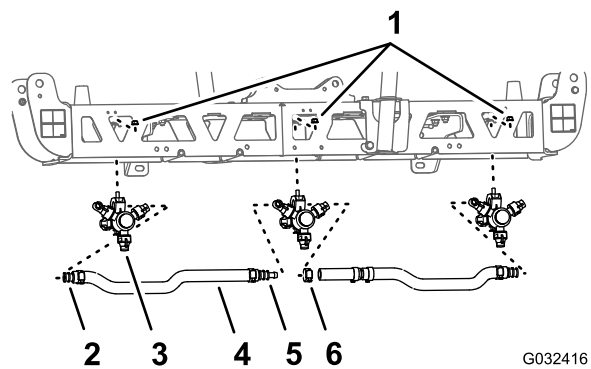


図 48

1. フランジロックナット 5/16"
2. 片側バープ付きホースシャック 3/4"
3. スプレーノズル
4. ホース内径 3/4"
5. 両側バープ付きホースシャック 3/4"
6. ホースクランプ

G032416
g032416

11

センターブームエクステンションを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	フランジヘッドボルト 3/8 x 1"
2	フランジロックナット 3/8"
1	センターブームエクステンション
1	シリンダマウントワイド
1	タイプレートワイド
4	キャリッジボルト 1/2 x 1 1/4"
4	フランジロックナット 1/2"

スプレーヤのノズルを取り外す

1. センターブーム部で、ノズルをノズルマウントに固定しているフランジロックナット外す 図 48 と 図 49。

注 外したロックナットは、ステップ 6 とノズルとホースをセンターブームに取り付ける (ページ 30) で使用します。

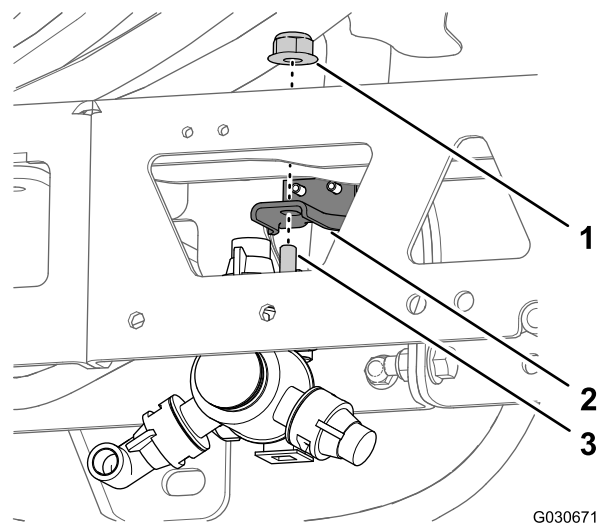


図 49

1. フランジロックナット 5/16"
2. ノズルマウント
3. 六角ヘッドボルト 5/16 x 3/4" スプレーノズル

G030671
g030671

2. 片側または両側バープ付きホースシャック 3/4" とそのクランプの上半分とをスプレーノズルのボディに固定しているステンレスねじ #12 x 1 1/4" を外してバープ付きホースシャックとホースをノズルから外す 図 50。

注 クランプを分離する時に上側クランプから外れてくる六角ヘッドボルト 5/16 x 3/4" — ステンレスは再利用しますから捨てないでください。

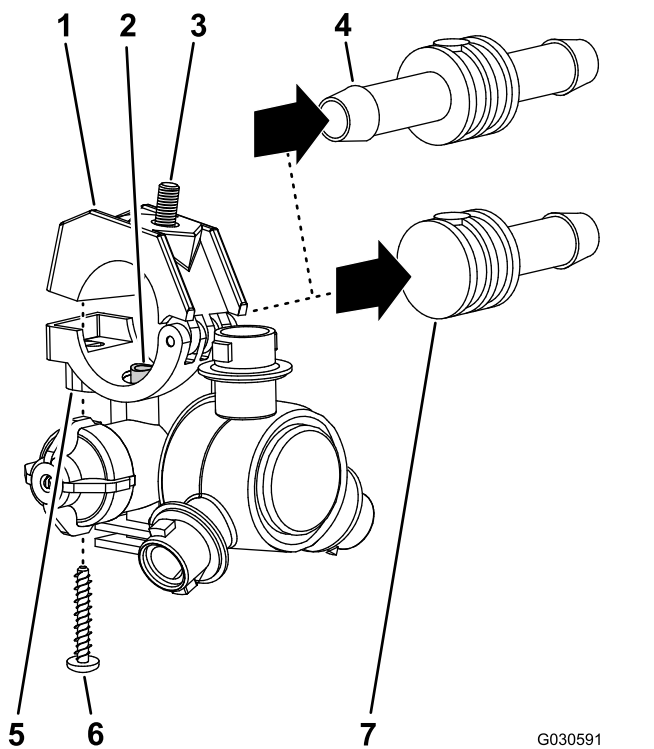


図 50

G030591
g030591

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. クランプの上半分 | 5. サドルスプレーノズルのボディ |
| 2. トランスファチューブ | 6. ステンレスねじ#12 x 1 1/4" |
| 3. 六角ヘッドボルト5/16 x 3/4"ステンレス | 7. 片側バーブ付きホースシャंक 3/4" |
| 4. 両側バーブ付きホースシャंक 3/4" | |

- センターブームからノズルを外す 図 48 と 図 49。
- 他の2個のノズルについても、上記の手順1と2を行う。

注 外したノズル、ステンレスねじ、六角ヘッドボルトは、ステップ 6と7 センターブーム用のノズルとホースを組み立てる (ページ 29) で使用します。

- センターブームから、ホース内径 3/4"、バーブ付きホースシャंक、クランプ、バーブ付き字フィッティングを外す 図 48。

注 ホース、ホースシャंक、クランプ、字フィッティングは、もう使用しません。

センターブームからサポートブラケットを外す

吊り上げ装置に必要な能力: 41kg

- 所定の能力のあるホイストなどを使って、センターブームを支える。
- サポートブラケットをセンターブームに固定しているフランジヘッドボルト 3/8 x 1" 2本とフランジロックナット 3/8" 2個を外して、ブラケットを取り外す 図 51。

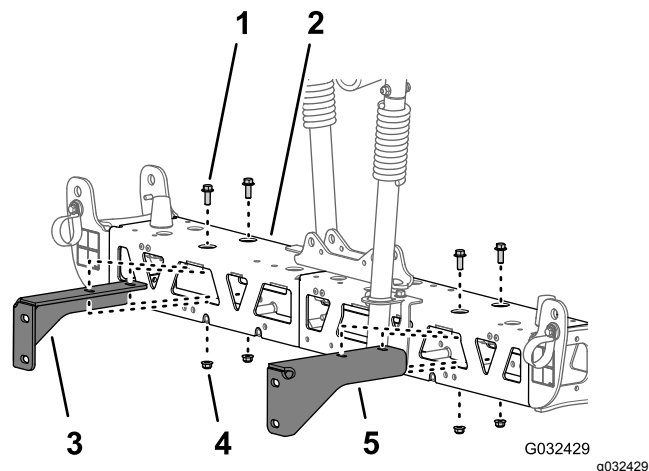


図 51

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. フランジヘッドボルト 3/8 x 1" | 4. フランジロックナット 3/8" |
| 2. センターブーム | 5. 左側サポートブラケットセンターブーム |
| 3. 右側サポートブラケットセンターブーム | |

- もうひとつのサポートブラケットをセンターブームに固定しているフランジヘッドボルト 3/8 x 1" 2本とフランジロックナット 3/8" 2個を外して、ブラケットを取り外す 図 51。

注 サポートブラケット、ボルト、ロックナットは、ステップ3と4 サポートブラケットをセンターブームに取り付ける (ページ 29) で使用します。

センターブームのトラスを取り外す

- 左右のトラスフレームの垂直フランジを固定しているフランジヘッドボルト 3/8 x 1" 2本とロックナット 3/8" 2個を取り外す 図 52。

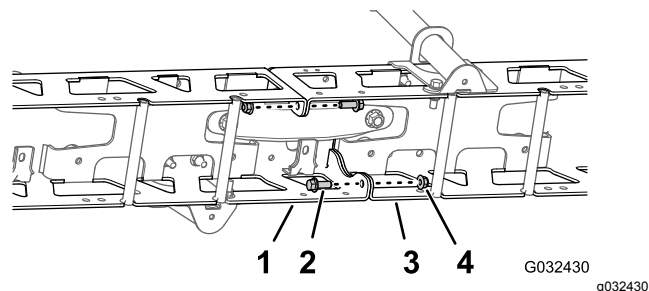


図 52

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 左側トラスフレーム | 3. 右側トラスフレーム |
| 2. フランジヘッドボルト 3/8 x 1" | 4. ロックナット 3/8" |

- 幅狭のシリンダマウント、左右のトラスフレーム、幅狭のタイプレートを固定しているキャリッジボルト 1/2 x 1 1/4" 2本とロックナット 1/2" 2個を取り外す 図 53。

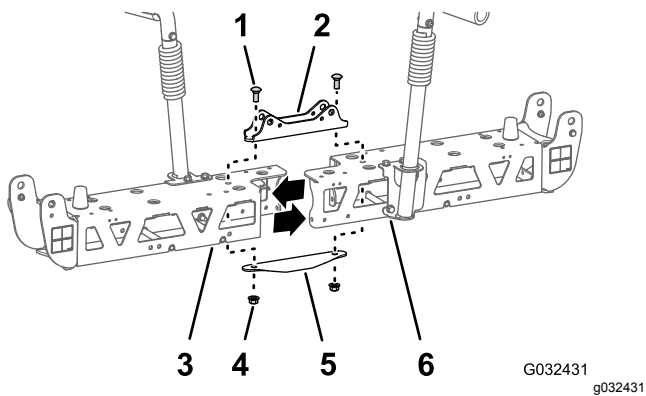


図 53

- | | |
|---|---------------------------|
| 1. キャリッジボルト $\frac{1}{2} \times 1\frac{1}{4}$ " | 4. ロックナット $\frac{1}{2}$ " |
| 2. シリンダマウント幅狭 | 5. タイプレート幅狭 |
| 3. 左側トラスフレーム | 6. 右側トラスフレーム |

注 フランジヘッドボルト、キャリッジボルト、ロックナットは、ステップ2と7 センターブームエクステンションを取り付ける (ページ 28) で使用します。幅狭シリンダマウントと幅狭のタイプレートは、もう使用しません。

3. 左右のトラスフレームを分離する。

センターブームエクステンションを取り付ける

1. センターブームエクステンションの垂直フランジについている穴を、トラスフレームの穴に合わせる 図 54。

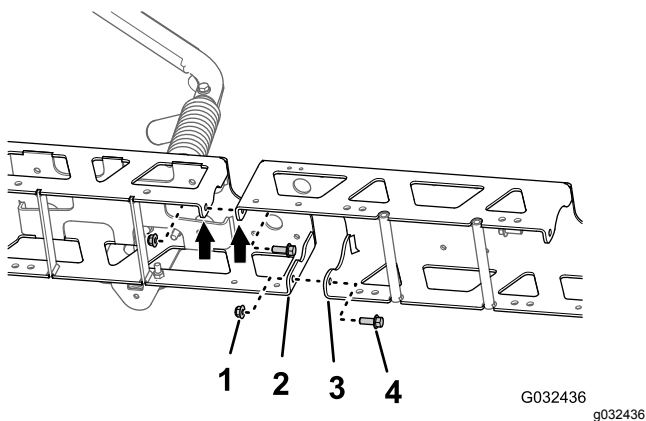


図 54

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. フランジロックナット $\frac{3}{8}$ " | 3. 垂直フランジセンターブームエクステンション |
| 2. 垂直フランジトラスフレーム | 4. フランジヘッドボルト $\frac{3}{8} \times 1$ " |

2. センターブームエクステンションをトラスフレームに仮組み付けする 図 54 ステップ 1 センターブームのトラスを取り外す (ページ 27) で取り外したフランジヘッドボルト ($\frac{3}{8} \times 1$ ") 2本とフランジロックナット $\frac{3}{8}$ " を使用する。

3. センターブームエクステンションの垂直フランジについている穴を、もうひとつのトラスフレームについている穴に合わせる 図 54。
4. センターブームエクステンションをこのトラスフレームに仮組み付けする 図 54 ジョイントプレキシステム仕上げキットに入っているフランジヘッドボルト $\frac{3}{8} \times 1$ " 2本とフランジロックナット $\frac{3}{8}$ " 2個を使用する 図 54。
5. シリンダマウントの穴を、トラスフレームのセンターラインの穴とセンターブームエクステンションの穴に合わせる 図 55。

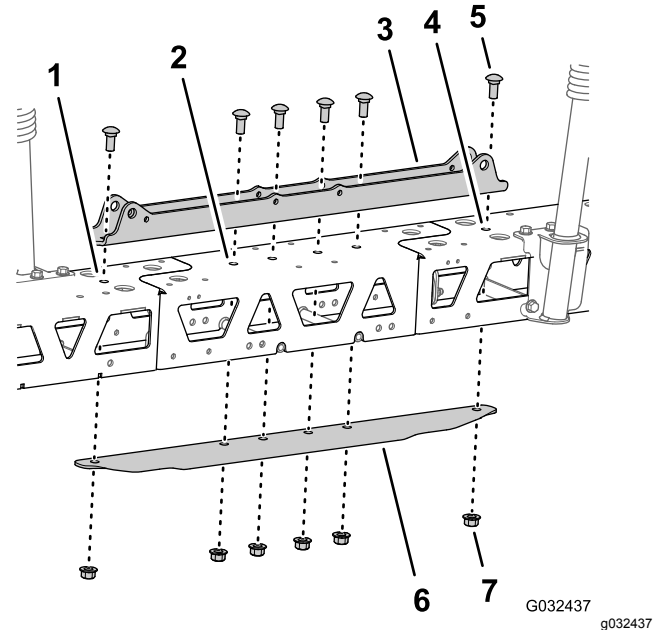


図 55

- | | |
|--------------------|---|
| 1. 左側トラスフレーム | 5. キャリッジボルト $\frac{1}{2} \times 1\frac{1}{4}$ " |
| 2. センターブームエクステンション | 6. タイプレート幅狭 |
| 3. シリンダマウント幅狭 | 7. フランジロックナット $\frac{1}{2}$ " |
| 4. 右側トラスフレーム | |

6. タイプレートを、トラスフレームとセンターブームエクステンションの中に入れ、タイプレートの穴を、トラスフレームのセンターラインの穴とセンターブームエクステンションの穴に合わせる 図 55。
7. シリンダマウント、トラス、センターブームエクステンション、タイプレートの組み付けを行うステップ2 センターブームのトラスを取り外す (ページ 27) で外したキャリッジボルト $\frac{1}{2} \times 1\frac{1}{4}$ " 2本とフランジロックナット $\frac{1}{2}$ " 2個と、ジョイントプレキシステム仕上げキットに入っているキャリッジボルト $\frac{1}{2} \times 1\frac{1}{4}$ " 4本とフランジロックナット ($\frac{1}{2}$ ") 4個を使用する 図 55。
8. フランジヘッドボルトとフランジロックナット $\frac{3}{8}$ " を 37-45 N·m 3.7-4.6 kg·m = 27-33 ft·lb にトルク締める。
9. フランジロックナット $\frac{1}{2}$ " を、91-113 N·m 9.3-11.5 kg·m = 67-83 ft·lb にトルク締める。

12

取り付けブラケットとスプレーノズルをセンターブームに取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	スプレーノズル
2	ホースアセンブリスプレーバルブ5または6
2	フランジロックナット5/16"

サポートブラケットをセンターブームに取り付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 55kg

1. 所定の能力のあるホイストなどを使って、センターブームを支える。
2. 図 56 に示すように、右サポートブラケットの穴を右トラスフレームの穴に合わせる。

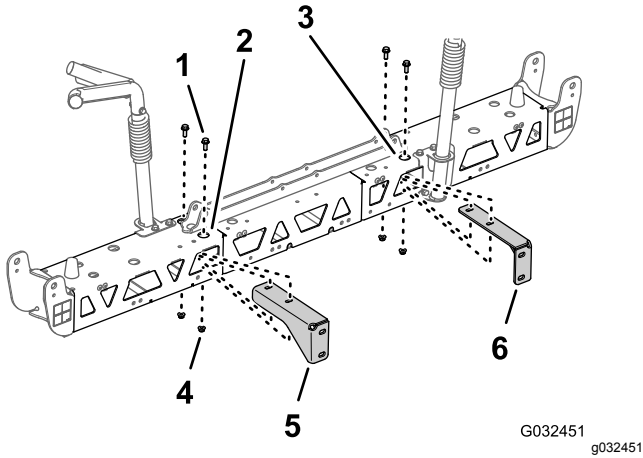


図 56

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. フランジヘッドボルト $\frac{5}{8}$ x 1" | 4. フランジロックナット $\frac{5}{8}$ " |
| 2. 右側トラスフレームセンターブーム | 5. 右側サポートブラケットセンターブーム |
| 3. 左側トラスフレームセンターブーム | 6. 左側サポートブラケットセンターブーム |

3. 右側サポートブラケットを右側トラスフレームに取り付ける 図 56 ステップ 2 と 3 センターブームからサポートブラケットを外す (ページ 27) で取り外したフランジヘッドボルト ($\frac{5}{8}$ x 1") 2本とフランジロックナット $\frac{5}{8}$ " 2個を使用する。
4. 左トラスフレームの左サポートブラケットにも、ステップ 2 と 3 の作業を行う 図 56。

5. フランジヘッドボルトとフランジロックナットを 37-45 N·m 3.7-4.6 kg·m = 27-33 ft·lb にトルク締めする。

センターブーム用のノズルとホースを組み立てる

1. 適当な吊り上げ装置を使って、新しいセンターブームを作業しやすい高さまで吊り上げる。
2. ジョイントスプレーシステム仕上げキットに入っているノズル本の、クランプの上半分をサドルに固定しているステンレスねじを外す 図 57。

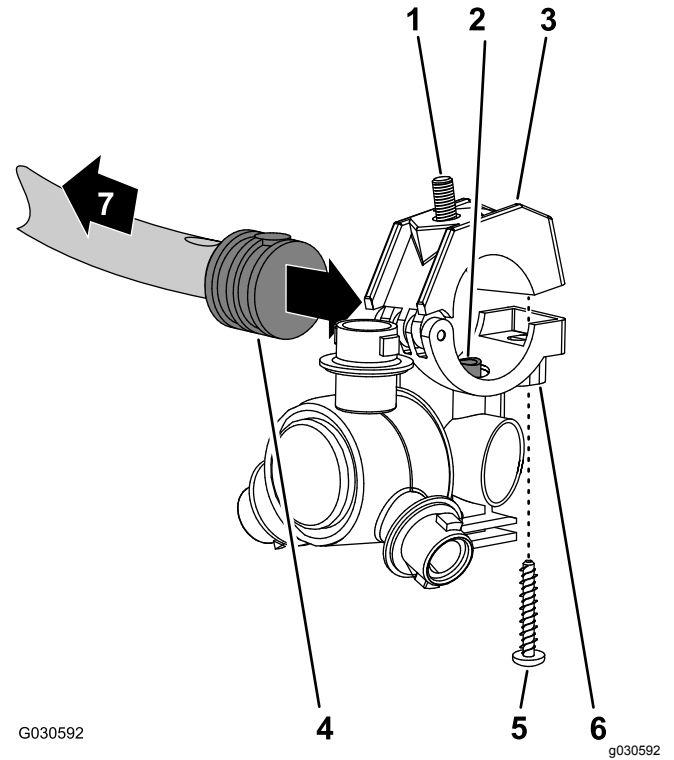


図 57

- | | |
|--|------------------------------------|
| 1. 六角ヘッドボルト 5/16 x $\frac{3}{4}$ " ステンレス | 5. ステンレスねじ #12 x 1 $\frac{1}{4}$ " |
| 2. トランスファチューブ | 6. スプレーノズルのボディ |
| 3. クランプの上半分 | 7. ブームへ |
| 4. 片側バーブ付きホースシャック $\frac{1}{2}$ " | |

3. センターブームスプレーバルブ5または6用のホースアセンブリ 25cm の端部についている片側バーブ付きホースシャックの側面にある穴を探し出す 図 57 と 図 58。

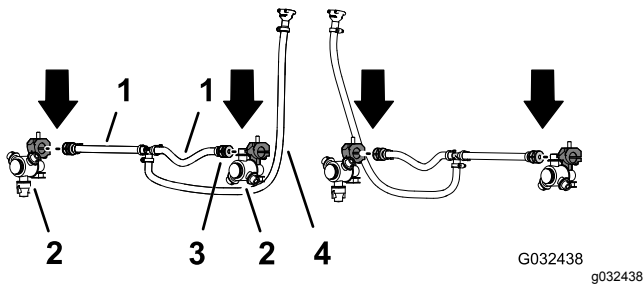


図 58

1. ホース 13 x 250mm スプレーバルブ5または6
2. スプレーノズル
3. 片側バーブ付きホースシャック 13 mm $\frac{1}{2}$ "
4. ホースとバーブ付きカップラ 13 x 810 mm $\frac{1}{2}$ x 32" スプレーバルブ5または6

4. ノズルのサドルに付いているトランスファチューブ 図 57 を、片側バーブ付きホースシャック $\frac{1}{2}$ "の穴に合わせる。
5. バーブ付きホースシャックにホースクランプの上半分をセットし、クランプとノズルボディ 図 57 を、ステンレスねじ#12 x 1 $\frac{1}{4}$ "で固定し、14-18 N·m 0.25-0.3 kg·m = 20-25 in·lb にトルク締めする。

重要 ステンレスねじは、ステップ 5 に示されている以上の力で締め付けしないでください。

注 クランプの上半分のくぼみに六角ヘッドボルト 5/16 x $\frac{3}{4}$ " がきちんとはまっていることを確認してください。

6. ステップ 1 と 2 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 26) で外したノズル、六角ボルト、ステンレスねじを使って、ステップ 3-5 を、もう一方のホース 25 cm の片側バーブ付きホースシャック 図 57 と 図 58 に対しても行う。
7. ステップ 4 スプレーヤのノズルを取り外す (ページ 26) で外した2つのノズルについて、もう一方のホースアセンブリスプレーバルブ5または6の片側バーブ付きホースシャックに対してステップ 3-5 を、行う 図 57 と 図 58 。

ノズルとホースをセンターブームに取り付ける

1. ホース 13 mm 長さ 25cm とノズルのアセンブリを、外側トラスのブレースの間に通す 図 59 。

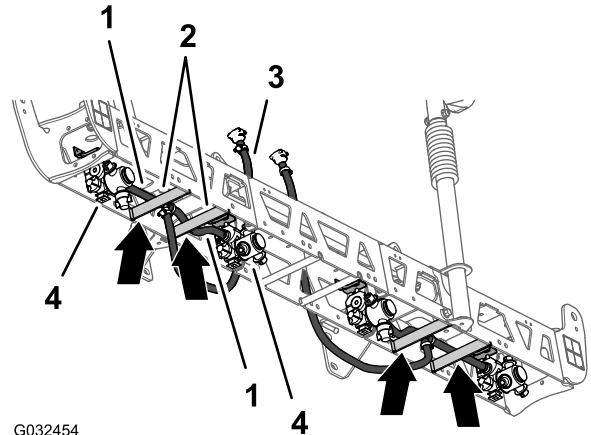


図 59

1. ホース 13 x 250 mm $\frac{1}{2}$ x 10"
2. トラスのブレース左トラス
3. ホースとバーブ付きカップラ 13 x 810 mm $\frac{1}{2}$ x 32"
4. スプレーノズル

2. ホースとノズルをトラスのブレースの上側に沿って、ブーム先端側のノズルマウントへ導く 図 59 。
3. ノズルの六角ヘッドボルト 5/16 x $\frac{3}{4}$ " をノズルマウントの穴に通してノズルをマウントに仮止めする ジオリンクスプレーシステム仕上げキットにあるフランジロックナット 5/16" を使用する 図 60 。

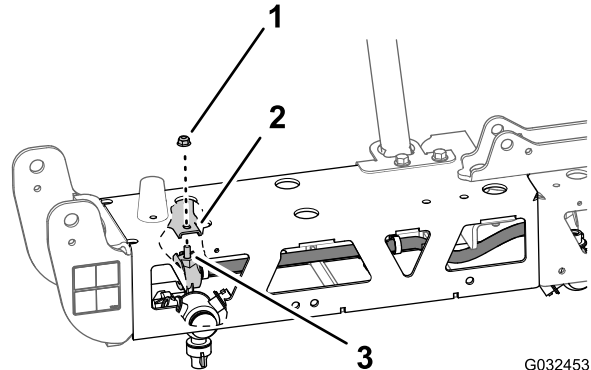


図 60

1. フランジロックナット 5/16"
2. ノズルマウント外側
3. 六角ヘッドボルト 5/16 x $\frac{3}{4}$ " ステンレス

4. もう一方のホース 13 mm 長さ 25cm とノズルのアセンブリを、外側トラスのブレースの間に通す 図 59 。
5. ホースとノズルをトラスのブレースの上側に沿って、ブーム根元側のノズルマウントへ導く 図 59 。
6. ノズルの六角ヘッドボルト 5/16 x $\frac{3}{4}$ " をノズルマウント 図 60 の穴に通してノズルをマウントに仮止めする ステップ 1 と 4 スプレーヤのノズルを取

リ外す (ページ 26) で外したフランジロックナット
5/16"を使用する。

7. フランジロックナットを、19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg·m = 175-225 in·lb にトルク締めする。
8. ホースとバーブ付きカップラ 13 x 810 mm ½ x 32" を、センターブームの左右のサポートブラケットのある側へ導く [図 59](#)。
9. もう一方の外側トラスのホースノズルアセンブリについても、ステップ 1-8 の作業を行う [図 59](#) と [図 60](#)。

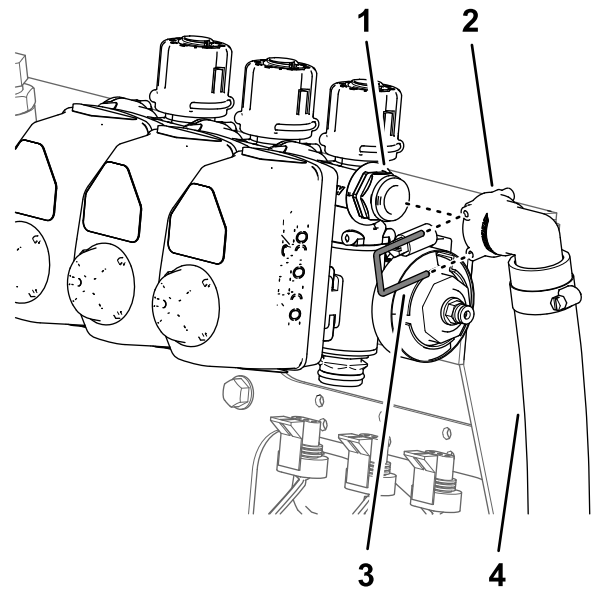


図 61

g198705

1. クイックディスコネクティング右ブームバイパスバルブ
2. クイックコネクティング 90° ソケットバイパスホース
3. リテーナ小
4. バイパスホース

13

ブームバルブを取り外す

この作業に必要なパーツ

3	キャップクイックカップラ
3	リテーナ

ブームバイパスホースを取り外す

1. 以下の手順で、バイパスホースの上端部を外す
 - オプションのスペーススティックキットや電動ホースリールを搭載していない車両バイパスホースのクイックディスコネクティングを右ブーム用バイパスバルブのクイックディスコネクティングに固定している小さいリテーナを外す [図 61](#)。

- オプションのスペーススティックキットや電動ホースリールを搭載している車両では、以下の作業を行う
 - A. シャットオフバルブのクイックコネクティングを右ブーム用バイパスバルブのクイックディスコネクティングに固定しているリテーナを外して、ソケットからバルブを取り出す [図 62](#)。

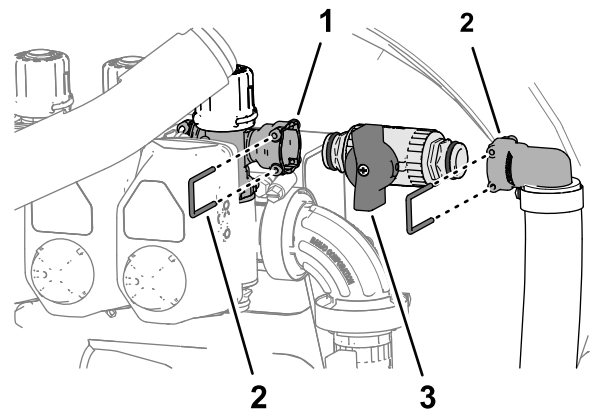


図 62

g263988

1. クイックディスコネクティング右ブームバイパスバルブ
2. クイックディスコネクティングリングバーブ付き 90° フィッティング
3. リテーナ
4. クイックコネクティングシャットオフバルブ

- B. シャットオフバルブのクイックコネクティングをバーブ付き 90° フィッティングをバーブ付き 90° フィッティングのクイックディスコネクソケットに固定しているリテーナを外して、ソケットからバルブを取り出す 図 62。

注 シャットオフバルブとリテーナは **シャットオフバルブをバイパスホースに取り付ける (ページ 42) で再取り付けするので廃棄しない** ください。

2. バイパスホースの下端にあるバーブ付き 90° フィッティングを液剤タンクのバルクヘッドフィッティングに固定している大きいリテーナを取り外す 図 63。

注 大きいリテーナは **バイパスホースをタンクに組み付ける (ページ 42) で使用** します。

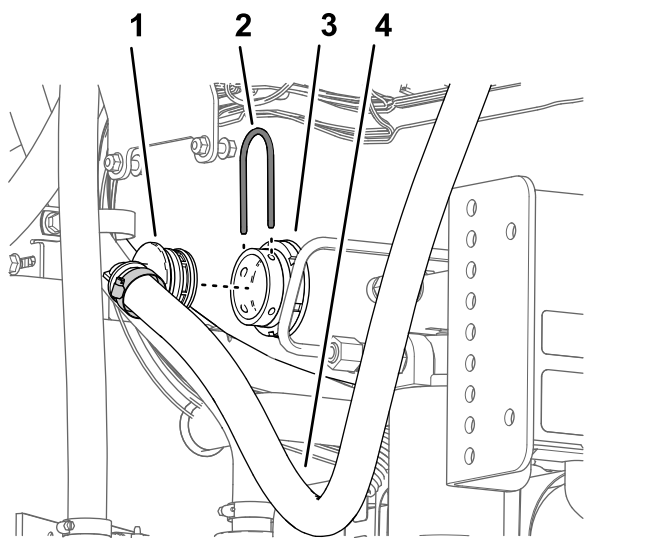


図 63

1. バーブ付き 90° フィッティング
2. リテーナ(大)
3. バルクヘッドフィッティング
4. バイパスホース

3. 機体からバイパスホースを取り外す。

注 バイパスホースと小さいリテーナは廃棄して構いません。

バイパスバルブの位置替えをするオプションのスペーススティックキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両

1. 左ブームバルブ、中央ブームバルブ、右ブームバルブにある全部で 3 つのバルブアクチュエータを固定しているリテーナ 3 個を外す 図 64。

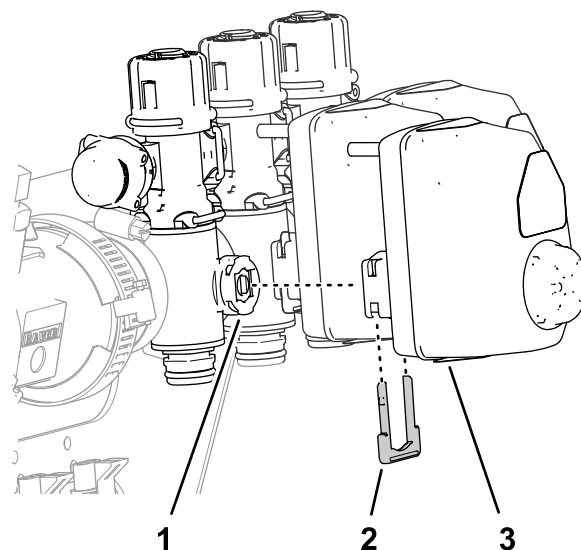


図 64

1. ブームバルブ
2. リテーナ
3. バルブアクチュエータ

2. 左ブームバルブ、中央ブームバルブ、右ブームバルブから、バルブアクチュエータを外す 図 64。
3. バイスマニホルドのクイックディスコネクティングにキャップを固定しているリテーナを外してキャップを外す 図 65。

注 キャップは不要です。

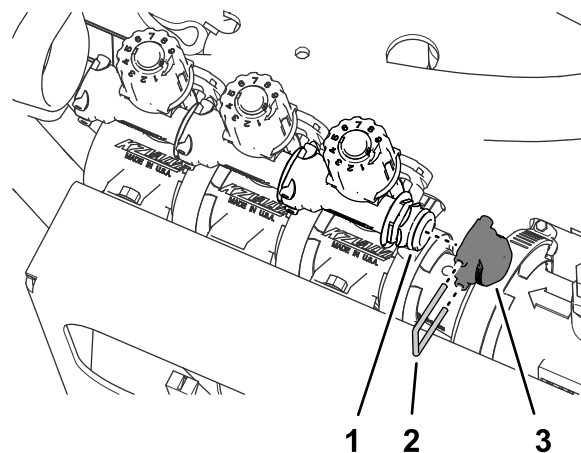


図 65

1. クイックディスコネクティングバイパスバルブ
2. リテーナ
3. キャップ

4. 左ブームバルブ、中央ブームバルブ、右ブームバルブにある全部で 3 つのバイパスバルブを固定しているリテーナ 3 個を外す 図 66。

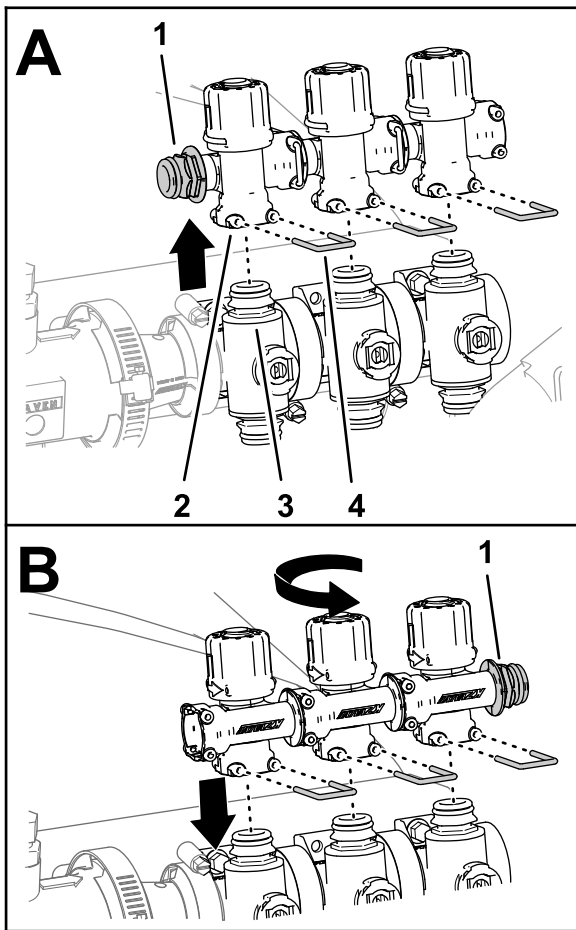


図 66

g200486

1. クイックディスコネクットのフィッティング
 2. クイックコネクティングソケットバイパスバルブ
 3. クイックコネクティングブームバルブ
 4. リテーナ
5. 各ブームバルブからバイパスバルブを一旦外し [図 66](#)、
 6. バイパスバルブを180°回転させてブームバルブのクイックディスコネクティングに組み付ける [図 66](#)。
 7. ステップ 4 [図 66](#) で外したリテーナ3個を使用して、バイパスバルブ3個をそれぞれのブームバルブに固定する。
 8. バイパスバルブのクイックコネクティングソケットに、プラグを組み付ける [図 67](#)。

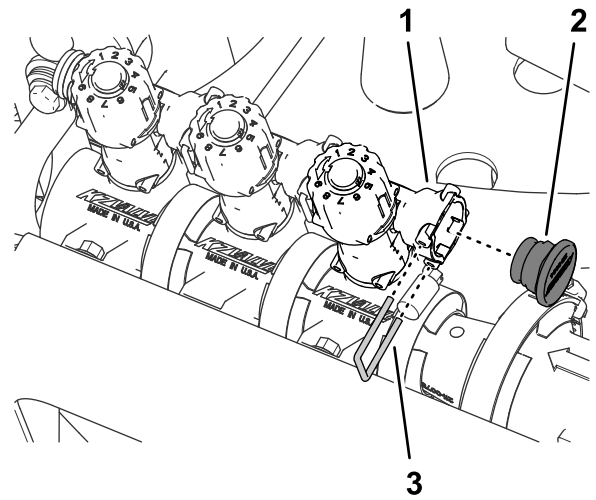


図 67

g200481

1. クイックコネクティングソケットバイパスバルブ
2. プラグ
3. リテーナ

9. ステップ 3 [図 67](#) で外したリテーナを使用して、プラグをクイックコネクティングソケットに固定する。
10. 左ブーム、中央ブーム、右ブームのそれぞれのバルブに、バルブアクチュエータ全部で3個を取り付ける ([図 64](#))ステップ 1で外したリテーナを使用する。

マニホールドマウントからブームバルブを外す

注 取り外したブームバルブは、**ブームバルブ3個をバルブマウントに取り付ける (ページ 47)**でジョーリンクの10バルブシステムに取り付けます。

1. 左側ブームバルブをマニホールドマウントに固定しているフランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " 2本とロックナット $\frac{1}{4}$ "2個を取り外す [図 68](#)。

注 外したフランジヘッドボルト2本とロックナットは不要です。

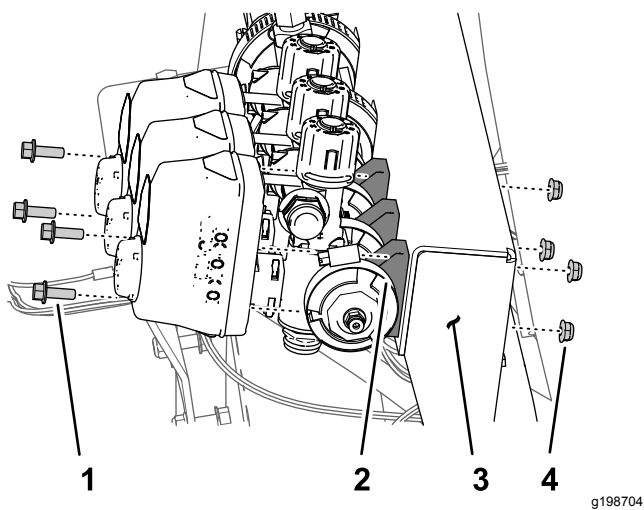


図 68

g198704

1. フランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ "
2. ブームバルブ
3. マニホールドマウント
4. ロックナット $\frac{1}{4}$ "

2. 右側ブームバルブをマニホールドマウントに固定しているフランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " 2本とロックナット $\frac{1}{4}$ " 2個を取り外す 図 68。

3. 左側ブームバルブのフランジ部をアダプタに固定しているフランジクランプ 40-64 mmとガスケット 25 x 35 mmを取り外す 図 68。

注 外したフランジヘッドボルト2本、ロックナット2個、フランジクランプとガスケットは **ブームバルブ 3 個**をバルブマウントに取り付ける (ページ 47)で使用します。

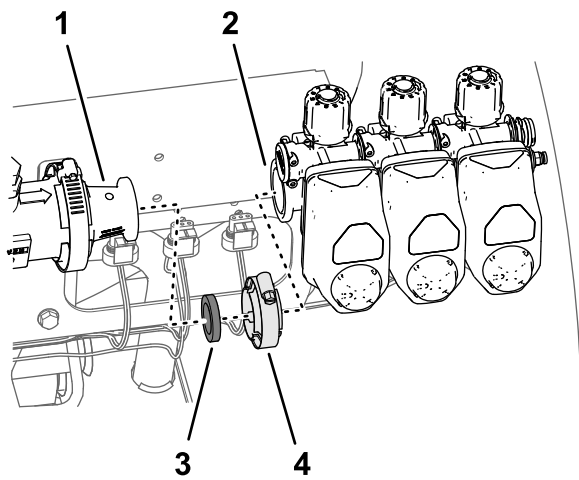


図 69

g198706

1. アダプタ
2. フランジ 左ブームバルブ
3. ガスケット 25 x 35 mm
4. フランジクランプ 40-64 mm

4. 機体からブームバルブ3個を外す 図 69。
5. 各ブームバルブ3個についているデカルを取り外す 図 70。

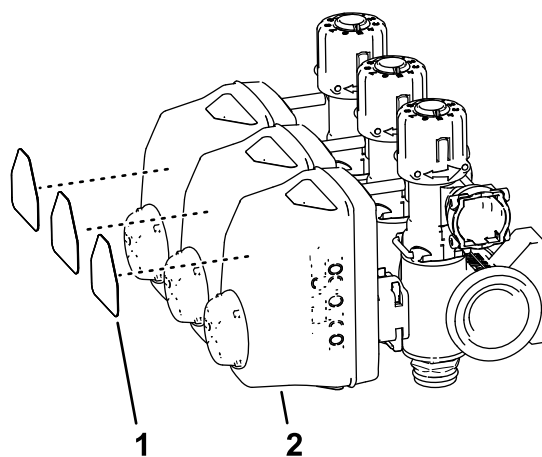


図 70

g201434

1. 個別ブームバルブのデカル
2. アクチュエータ個別ブームバルブ

6. アダプタのフランジ部をフローメータのフランジに固定しているフランジクランプ 51mmとガスケット 38mmを取り外す 図 71。

注 外したフランジクランプとガスケットは **マニホールドをフローメータに取り付ける (ページ 42)**で取り付けに使用します。

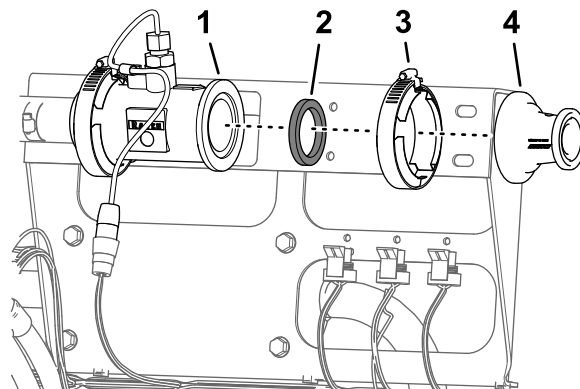


図 71

g198707

1. フランジフローメータ
2. ガスケット
3. フランジクランプ 51 mm
4. アダプタ

14

フローメータのサポートクランプを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	フローメータのマウント
4	サポートクランプハーフ
4	ボルト $\frac{1}{4}$ x $4\frac{1}{2}$ "
4	フランジロックナット $\frac{1}{4}$ "

ブームバルブブラケットを取り外す

1. フローメータの3ピンコネクタから、車両用ワイヤハーネスの中のFLOW METERというラベルのついた3ソケットコネクタを外す [図 72](#)。

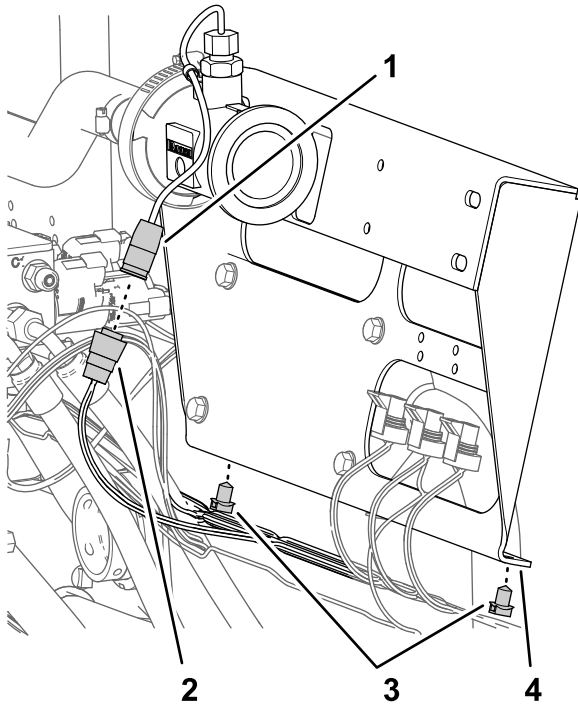


図 72

g198719

1. 3ピンコネクタフローメータ
2. 3ソケットコネクタ車両のワイヤハーネスラベルはFLOW METER
3. 押し込みファスナー
4. ブームバルブ用ブラケット

2. ブームバルブ用ブラケットの下側フランジから、車両用ワイヤハーネス固定している押し込みファスナー2個を外す [図 72](#)。
3. ブームバルブブラケットをバルブマウントに固定しているフランジヘッドねじ $\frac{5}{16}$ x $\frac{3}{4}$ " 4本を取り外して、バルブブラケットを外す [図 73](#)。

注 外したフランジヘッドねじはステップ フローメータのマウントとクランプを取り付ける (ページ 35) で使用しますが、バルブブラケットは廃棄して構いません。

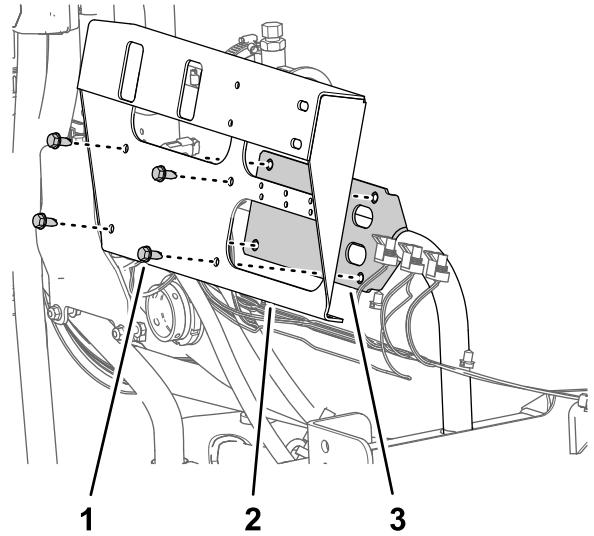


図 73

g198720

1. フランジヘッドねじ $\frac{5}{16}$ x $\frac{3}{4}$ "
2. ブームバルブ用ブラケット
3. バルブマウント

フローメータのマウントとクランプを取り付ける

1. フローメータのブラケットについている穴を、バルブマウントに合わせる [図 74](#)。

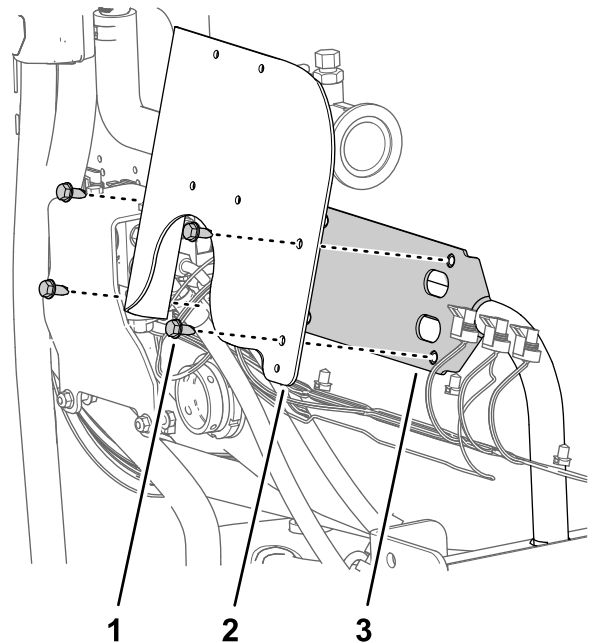


図 74

g198737

1. フランジヘッドねじ $\frac{5}{16}$ x $\frac{3}{4}$ "
2. フローメータのブラケット
3. バルブマウント

2. バルブマウントにフローメータのブラケットを取り付けるステップ 3 **ブームバルブブラケットを取り外す (ページ 35)** で取り外したフランジヘッドボルト 4本を使用し、19.78-25.42 N·m2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lbにトルク締めする。
3. フローメータとフローメータブラケットとの間にサポートクランプ2個を入れ、ブラケットの穴に合わせる **図 75**。

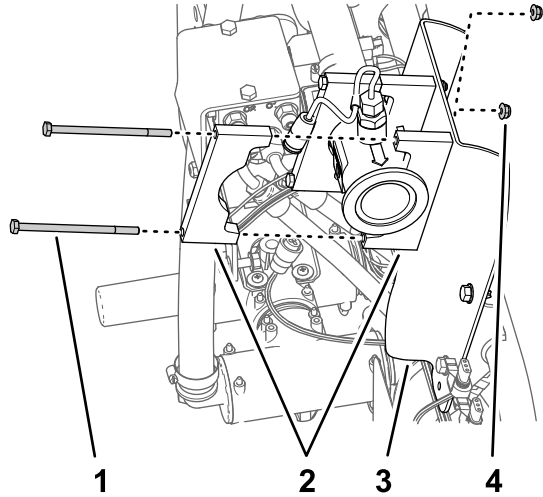


図 75

g198736

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. ボルト ¼ x 1½" | 3. フローメータのブラケット |
| 2. サポートクランプハーフ | 4. フランジロックナット 6.35 mm |

4. フローメータの裏側部分で、サポートクランプハーフを、ステップ3 **図 75** で組み付けたクランプハーフに合わせる。
5. クランプハーフ2個で1組をフローメータのブラケットに固定する **図 75** ボルト ¼ x 4½" 2本とフランジロックナット ¼" 2個を使用する。
6. ステップ4-5 を、もう1個のハーフステップ3で組み付けたものに対しても行う。
7. ボルトとナットを10.17-12.43 N·m2.0-2.6 kg.m = 90-110 in-lbにトルク締めする。

15

ワイヤハーネスを機体に接続する

この作業に必要なパーツ

1	後方ワイヤハーネス
7	ケーブルタイ

キットのワイヤハーネスを配設する

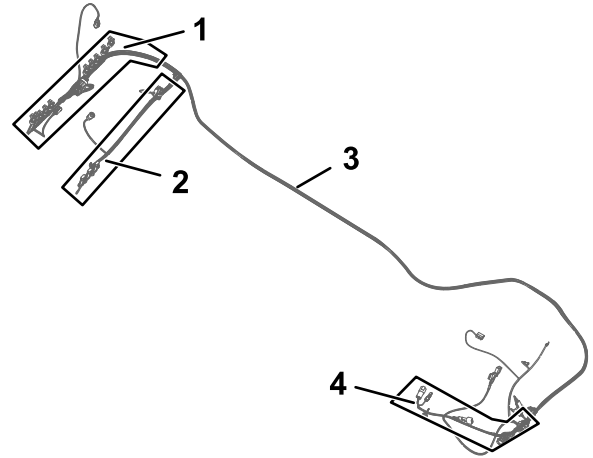


図 76

g198815

- | | |
|---|-------------------------|
| 1. 102 cm のハーネス枝線—ASC 10とノズルバルブ 1-10 | 3. キットのワイヤハーネス 457cm |
| 2. 89 cm のハーネス枝線—レートバルブ、マスターバルブ、フローメータ、左散布、センター散布、右散布 | 4. 84cm のハーネス枝線 ポンプクラッチ |

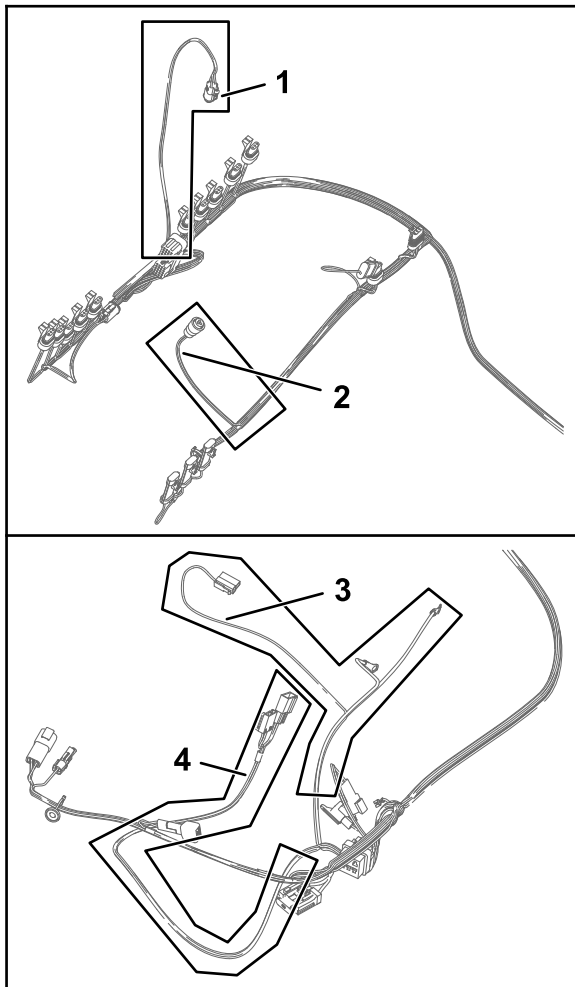


図 77

g198814

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 61cm のハーネス枝線 水圧トランスデューサの緑色のクサビ | 3. 60cm の枝線バッテリーのプラス端子、バッテリーのマイナス端子、オルタネータ |
| 2. 23cm のハーネス枝線 フローメータ | 4. 66cm のハーネス枝線ASC 10 動作リレー、50A ヒューズ、ダイオード、GEN 2 トポコン用スイッチ付き電源、ASC 10 電源と X25 からの CAN |

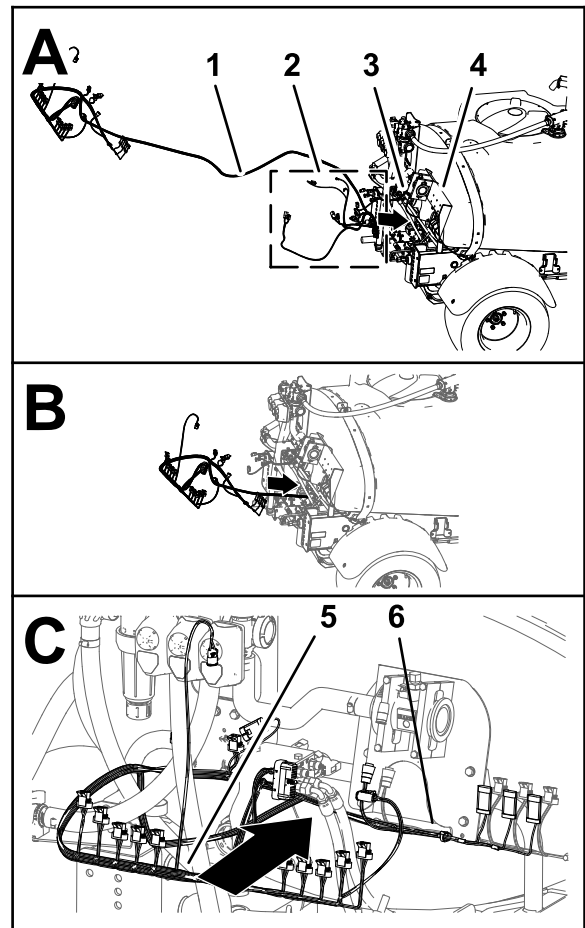


図 78

g198861

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| 1. キットのワイヤハーネス 457cm | 4. マニホルドマウント |
| 2. 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線。 | 5. 102cm の枝線 |
| 3. 車両のワイヤハーネス | 6. 89cm の枝線 |

1. キットのワイヤハーネスから 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を探し出す 図 76 と 図 77。
2. 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を、車両左側にある車両用ワイヤハーネスに沿って配設する 図 78 と 図 79。

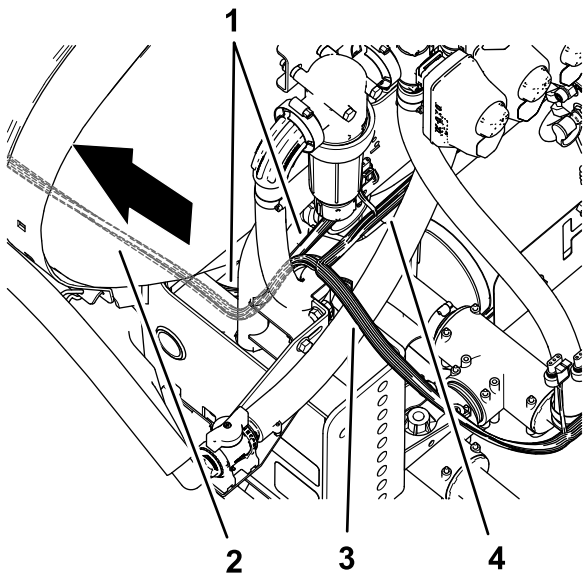


図 79

g199037

1. 車両のワイヤハーネス
2. キットのワイヤハーネス 457cm
3. 102 cm のハーネス枝線—ASC 10とノズルバルブ 1-10
4. 89 cm のハーネス枝線—レートバルブ、マスターバルブ、フローメータ、左散布、センター散布、右散布

3. 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を、車両左側のチャンネル部材に沿って車両前方に導く図 81と図 82。

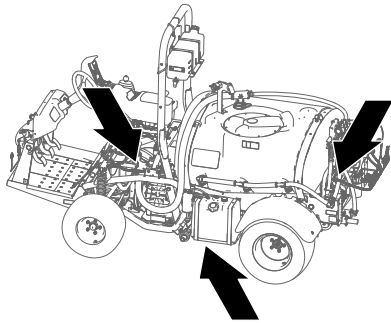


図 80

g199043

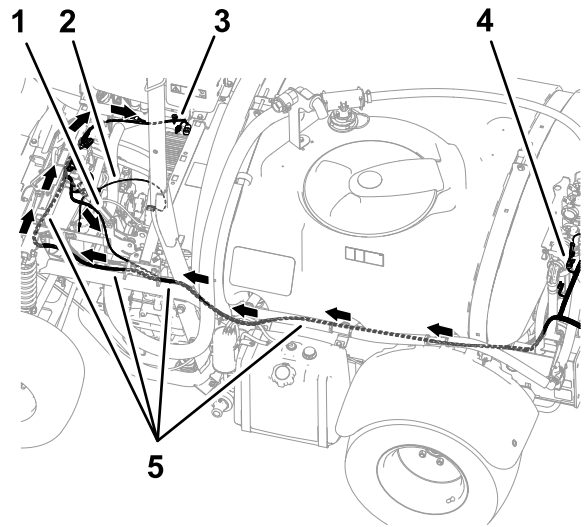


図 81

g199038

1. 84cm の枝線ポンプクラッチ
2. 60cm の枝線バッテリーのプラス端子、バッテリーのマイナス端子、オルタネータへ
3. 66cm のハーネス枝線ASC 10 動作リレー、50A ヒューズ、ダイオード、GEN 2 トプコン用スイッチ付き電源、ASC 10 電源と X25 からの CAN
4. 102 cm のハーネス枝線—ASC 10とノズルバルブ 1-10
5. キットのワイヤハーネス 457cm

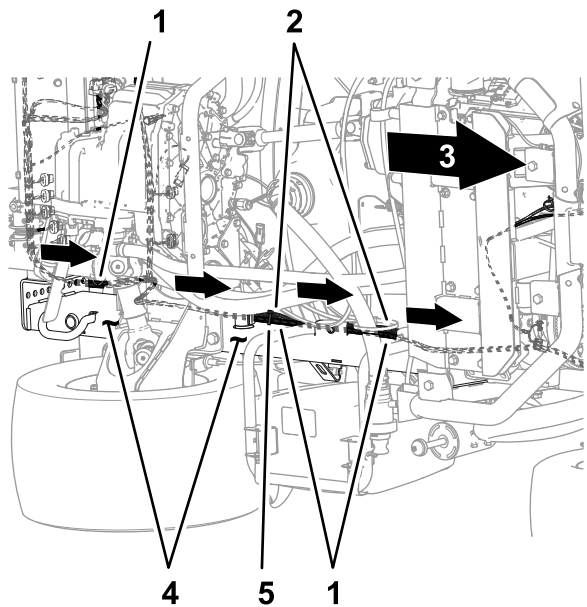


図 82

機体底部

g199039

1. キットのワイヤハーネス 457cm
2. 車両のワイヤハーネス
3. 車体前方
4. 左側フレームチャンネル
5. ケーブルタイ

4. 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を、車両用ワイヤハーネスに沿って車体外方、駐車ブレーキの外側へ導く [図 83](#)。

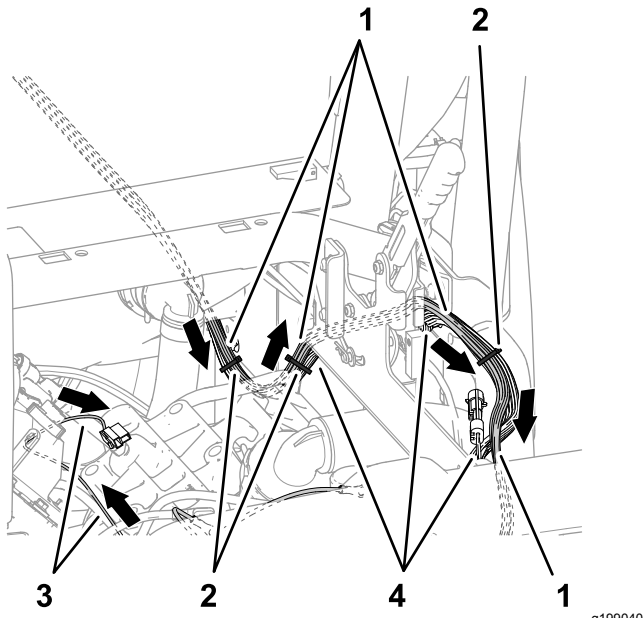


図 83

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. キットのワイヤハーネス
457cm | 3. 60cm の枝線バッテリーの
プラス端子、バッテリーの
マイナス端子、オルタネー
タへ |
| 2. ケーブルタイ | 4. 車両のワイヤハーネス |

5. 84cm の枝線、60cm の枝線、66cm の枝線を、[図 84](#)に示すように、ショックサポートチューブに交差させる。

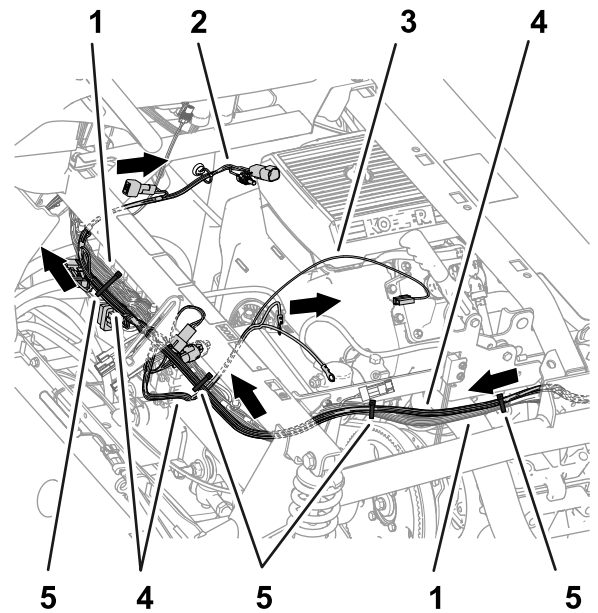


図 84

- | | |
|--|-------------------------|
| 1. 車両のワイヤハーネス | 4. キットのワイヤハーネス
457cm |
| 2. 66cm のハーネス枝線ASC
10 動作リレー、50A ヒュー
ズ、ダイオード、GEN 2
トプコン用スイッチ付き電
源、ASC 10 電源と X25
からの CAN | 5. ケーブルタイ |
| 3. 60cm の枝線バッテリーの
プラス端子、バッテリーの
マイナス端子、オルタネー
タへ | |

6. [図 82](#)、[図 83](#)、[図 84](#)のように、キットのワイヤハーネスを車両に固定する。
7. 車両後部で、89cm の枝線を、[図 85](#)に示すように昇降マニホールドの前方かつフローメータの右側に配設する。

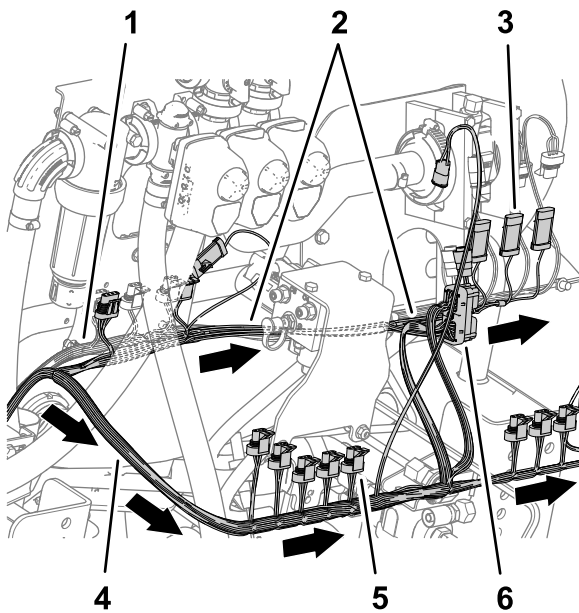


図 85

g199042

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1. 車両のワイヤハーネス | 4. 3ソケットコネクタノズルバルブ 5 |
| 2. 89cm のハーネス枝線—レートをバルブ、マスターバルブ、フローメータ、左散布、センター散布、右散布 | 5. 102 cm のハーネス枝線—ASC 10とノズルバルブ 1-10 |
| 3. 3ピンコネクタセンタースプレー | 6. 40ソケットコネクタASC 10 |

8. 102cm の枝線を、[図 85](#)に示すように昇降マニホールドの後方かつ右側に配設する。

左、中央、右の散布バルブのコネクタを接続する

1. 89cm の枝線についている 3 ピンコネクタLEFT SPRAYというラベルがついているものを車両のワイヤハーネスのLEFT SPRAY VALVEというラベルがついている 3 ソケットコネクタに接続する [図 86](#)。

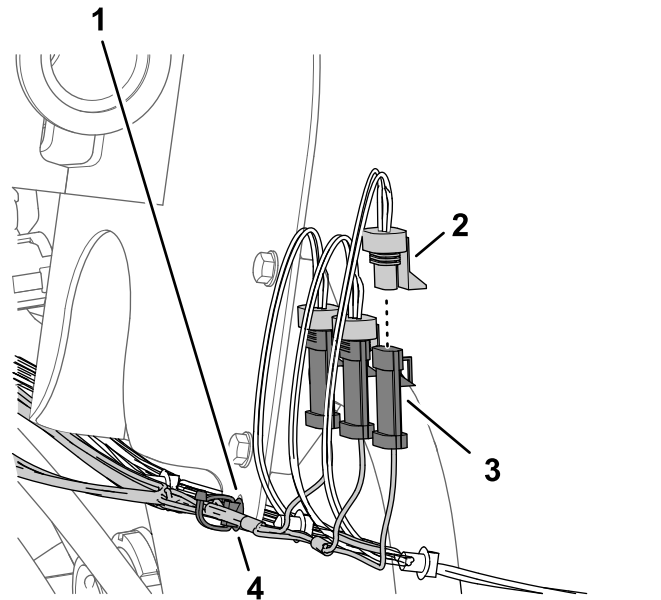


図 86

g199072

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. フローメータのブラケット | 3. 3ピンコネクタ車両のワイヤハーネスラベルはRIGHT SPRAY VALVE |
| 2. 3ソケットコネクタキットのハーネスの 89cm 枝線 | 4. プッシュインファスナー |

2. キットの枝線についている 3 ピンコネクタCENTER SPRAYというラベルがついているものを車両のワイヤハーネスのCENTER SPRAY VALVEというラベルがついている 3 ソケットコネクタに接続する [図 86](#)。
3. キットの枝線についている 3 ピンコネクタRIGHT SPRAYというラベルがついているものを車両のワイヤハーネスのRIGHT SPRAY VALVEというラベルがついている 3 ソケットコネクタに接続する [図 86](#)。
4. キットの枝線の押し込み型ファスナを、フローメータのブラケットのフランジについている穴に差し込む [図 86](#)。

フローメータ、マスターブームバルブ、レートバルブ用の各コネクタを接続する

1. 89cm の枝線の 3 ソケットコネクタFLOW METERというラベルのついたものをフローメータの 3 ピンコネクタに接続する [図 87](#)。

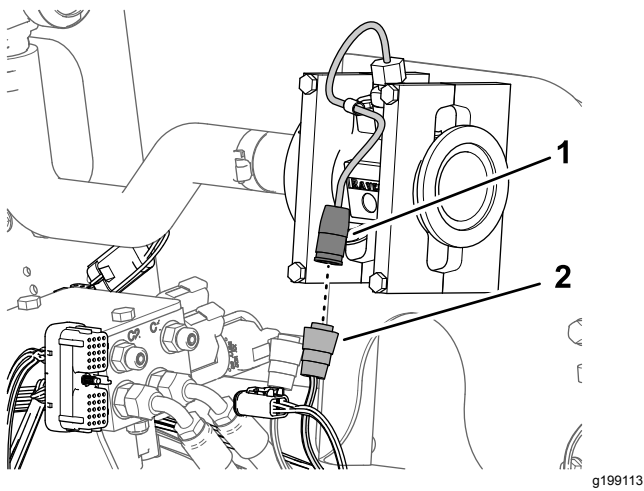


図 87

g199113

1. 3ピンコネクタフローメータ
2. 3ソケットコネクタキットのハーネスの89cm 枝線 FLOW METER

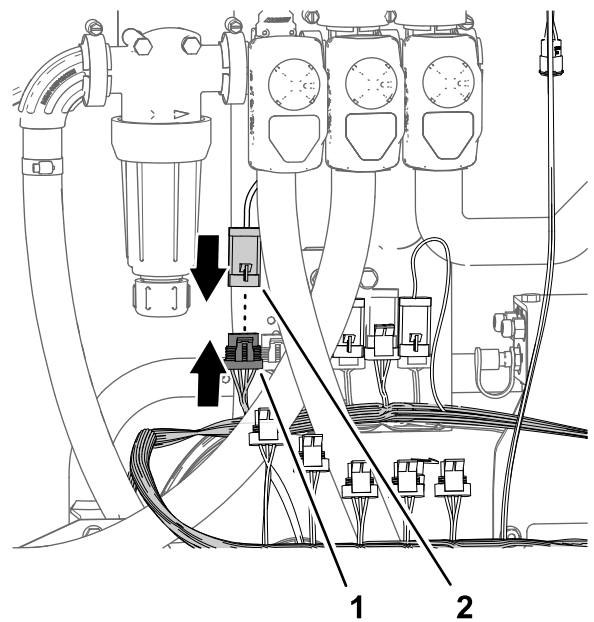


図 89

g199114

1. 4ソケットコネクタキットのハーネスの89cm 枝線 RATE VALVE
2. 4ピンコネクタアクチュエータレートバルブ

2. 89cm の枝線についている3ピンコネクタMASTER VALVEというラベルがついているものを車両のワイヤハーネスのMASTER SPRAY VALVEというラベルがついている3ソケットコネクタに接続する図 88。

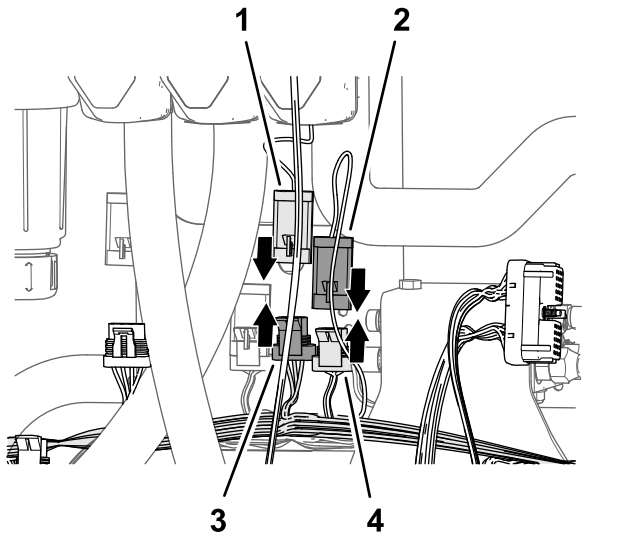


図 88

g199115

1. 3ピンコネクタアクチュエータマスタ散布バルブ
2. 3ピンコネクタキットのハーネスの89cm 枝線MASTER VALVE
3. 3ピンコネクタキットのハーネスの89cm 枝線MASTER VALVE
4. 3ソケットコネクタ車両のワイヤハーネスラベルはMASTER SPRAY VALVE

3. マスタ散布バルブ用アクチュエータの3ピンコネクタを、89cm の枝線のMASTER VALVEというラベルの付いた3ソケットコネクタに接続する図 88。
4. レートバルブ用アクチュエータの4ピンコネクタを、89cm の枝線のRATE VALVEというラベルの付いた4ソケットコネクタに接続する図 89。

16

フローメータのマニホルドを組み付ける

この作業に必要なパーツ

1	ストレートバーブ (1 x 2")
3	ホースクランプ $\frac{3}{4}$ -1 $\frac{1}{2}$ "
1	ホース 1 x 5 $\frac{3}{4}$ " 15 cm
1	マニホルド
1	ホース 1 x 16"

マニホルドバルブを組み付ける

1. ホース 1 x 5 $\frac{3}{4}$ " = 15 cm を、ストレートバーブ (1 x 2") に組み付け、ホースクランプ $\frac{3}{4}$ -1 $\frac{1}{2}$ " を取り付け、手締めする図 90。

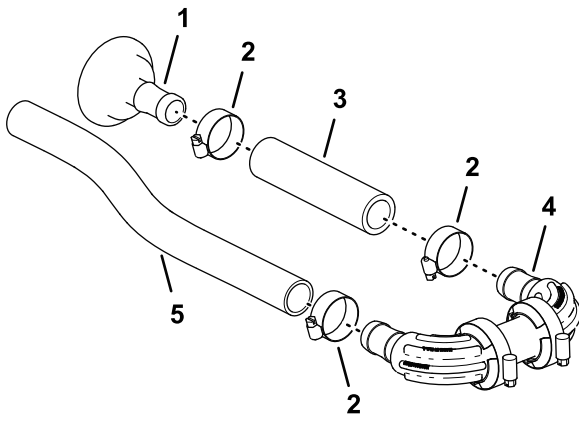


図 90

g281439

1. ストレートパイプ (1 x 2")
2. ホースクランプ ¾-1½"
3. ホース 1 x 5¾" 15 cm
4. マニホールド
5. ホース 1 x 16"

2. ホース 1 x 5¾" = 15 cm のもう一方の端部を、マニホールドのバルブ付きフィッティングに組み付け、ホースクランプを手締めする 図 90。
3. ホース 1 x 16" = 40 cm を、マニホールドのもう一方のバルブ付きフィッティングに組み付け、クランプを手締めする 図 90。

マニホールドをフローメータに取り付ける

1. ストレートパイプ 1 x 2" を、フローメータのフランジに取り付けるステップ 6 マニホールドマウントからブームバルブを外す (ページ 33) で取り外したガスケット 38 mm とフランジクランプ 51 mm を使用する。

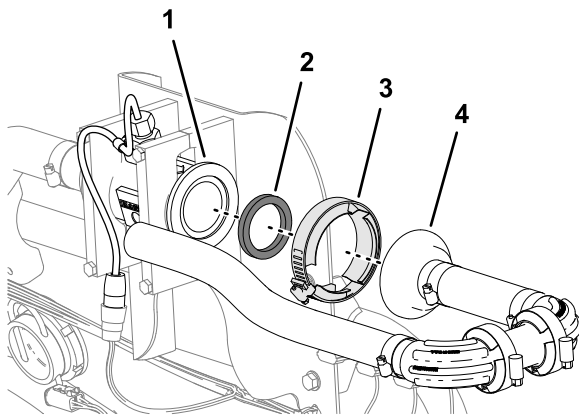


図 91

g281440

1. フランジフローメータ
2. ガスケット 38 mm
3. フランジクランプ 51 mm²
4. ストレートパイプ (1 x 2")

2. フランジクランプを手締めする 図 91。

17

バイパスホースをタンクに取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バイパスホースアセンブリ
1	燃料バルブ

シャットオフバルブをバイパスホースに取り付ける

オプションのハンドスプレーキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

1. 図 92 に示すように、90° クイックコネクTFITTING からリテーナを外す。

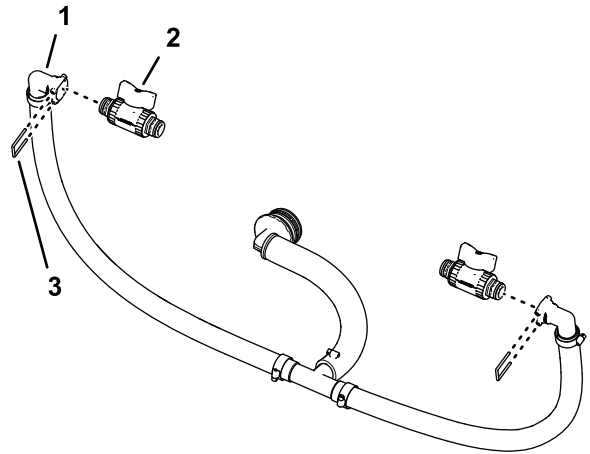


図 92

g263926

1. クイックディスコネクTCAP リングパイプ付き 90° FITTING
2. 燃料バルブ
3. リテーナ

2. クイックディスコネクTFITTING のソケットに、シャットオフバルブを取り付ける 図 92。
3. ステップ 1 で取り外したリテーナを使って、バルブを FITTING に固定する。
4. シャットオフバルブとリテーナ 1、ブームバイパスホースを取り外す (ページ 31) で外したものを、もう一方のクイックディスコネクTFITTING ソケットに取り付ける 図 92。

バイパスホースをタンクに組み付ける

1. バイパスホースアセンブリを液剤タンクにセットする 図 93。

18

改造したセンターブームを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

吊り上げ装置に必要な能力: 55kg

1. 所定の能力のある吊り上げ装置を使ってセンターブームを吊り上げ、サポートブラケットについているブーム用の穴(図 94)を、車両のフレームの取り付けプレート(ステップ 3)センターブームを取り外す(ページ 25)で探しておいたものに合わせる。

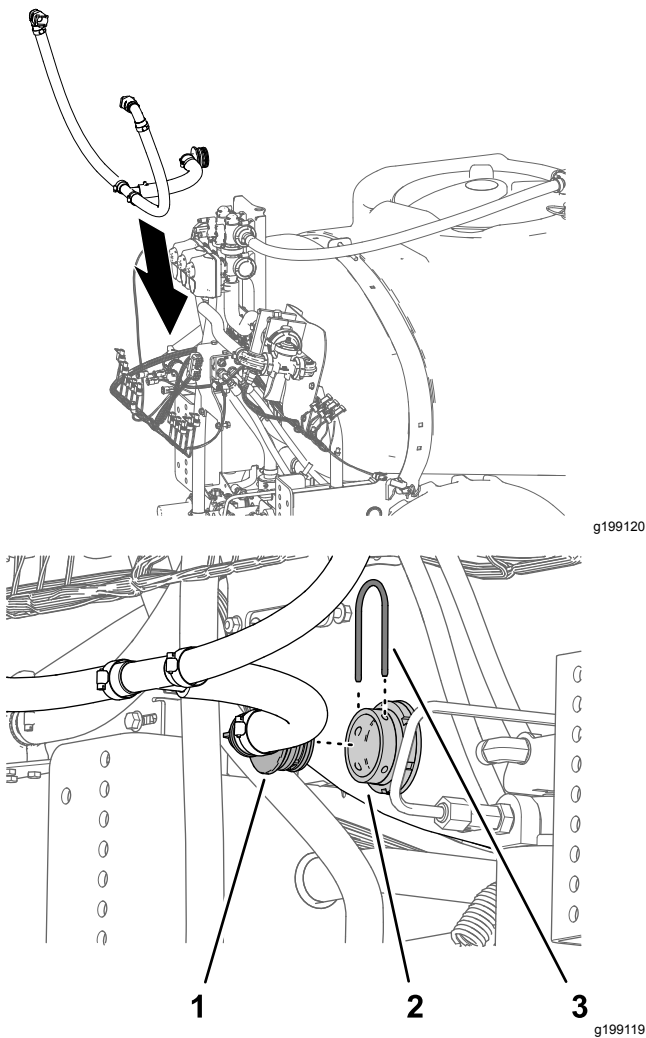


図 93

1. バーブ付き 90°フィッティングバイパスホースアセンブリ
 2. バルクヘッドフィッティングタンク
 3. リターナ
2. バーブ付き90°フィッティングを、液剤タンクのバルクヘッドフィッティングに取り付け、ステップ 2 ブームバイパスホースを取り外す(ページ 31)で取り外したリターナで固定する。

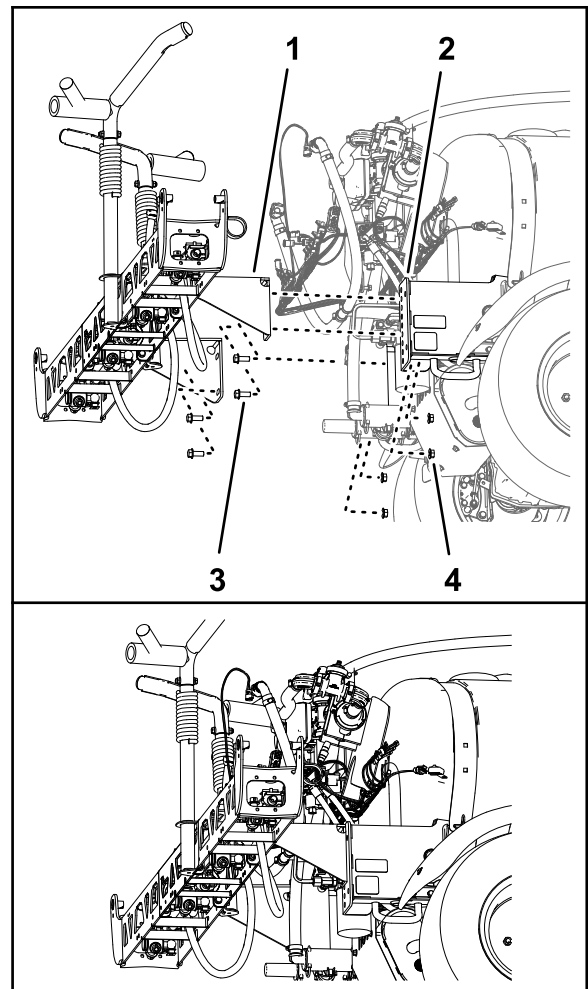


図 94

1. サポートブラケット10バルブシステム用のセンターブーム
2. フランジヘッドボルト 1/2 x 1 1/4"
3. 取り付けチャンネル車両のフレーム
4. フランジロックナット 1/2"

- センターブームを取り付け用チャンネル部材に組み付ける [図 94](#) ステップ 4 センターブームを取り外す (ページ 25) で取り外したフランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ " x $1\frac{1}{4}$ " 4本とフランジロックナット $\frac{1}{2}$ " 4個を使用する。
- ボルトとナットを 91-113 N·m 9.3-11.5 kg·m = 67-83 ft·lb にトルク締めする。

24) で取り外したフランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ " x 1" 2本とフランジロックナット $\frac{5}{16}$ " を使用する。

- オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載している車両
 - サポートブラケットにあるブーム昇降マニホルド用とTECコントローラブラケット用の穴を、シリンダマウントの穴に合わせる。

19

昇降シリンダマニホルドをシリンダマウントに取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

- バルブ取り付けブラケットから昇降マニホルドを外す。
- 以下の手順で、ブームマニホルドをシリンダマウントに取り付ける
 - オプションのウルトラソニックブームレベリングキットを搭載していない車両
 - サポートブラケットにあるブーム昇降マニホルド用の穴を、シリンダマウントの穴に合わせる [図 95](#)。

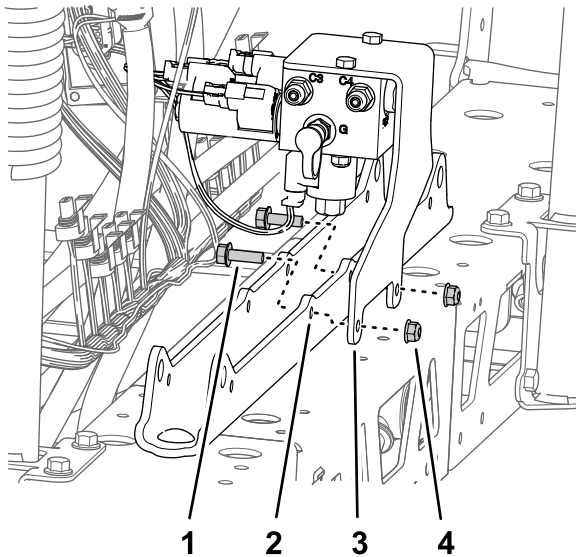


図 95

- フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ " x 1"
- シリンダマウント
- サポートブラケットブーム昇降マニホルド
- フランジロックナット $\frac{5}{16}$ "

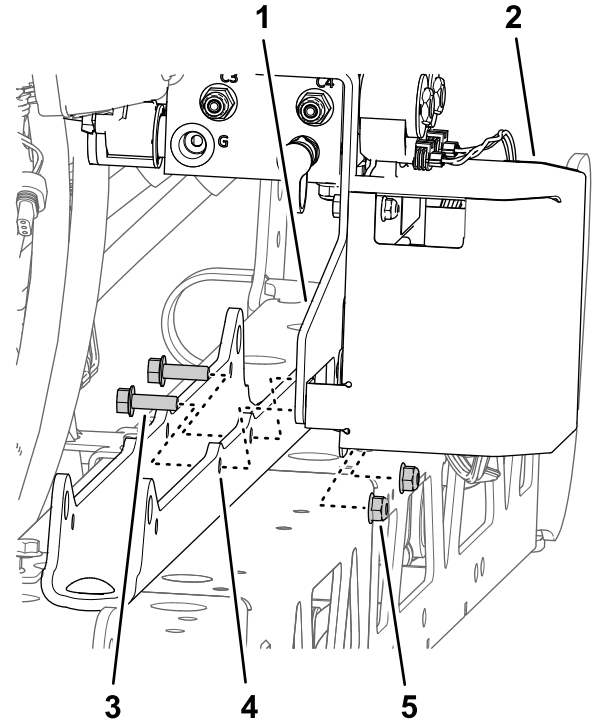


図 96

- サポートブラケットブーム昇降マニホルド
- TECコントローラ用ブラケット
- フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ " x 1"
- シリンダマウント
- フランジロックナット $\frac{5}{16}$ "

- サポートブラケットとTECブラケットをシリンダマウントに取り付ける [図 96](#) ステップ 1 センターブームからブーム昇降マニホルドを外す (ページ 24) で取り外したフランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ " x 1" 2本とフランジロックナット $\frac{5}{16}$ " を使用する。
- ボルトとナットを 19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg·m = 175-225 in·lb にトルク締めする。

- サポートブラケットをシリンダマウントに取り付ける [図 95](#) ステップ 1 センターブームからブーム昇降マニホルドを外す (ページ

20

バルブマウントとスプレーバルブを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バルブマウントスプレーバルブアセンブリ
3	ボルト4 x 10mm
1	ASC 10 スプレーヤコントローラ
3	フランジロックナット4mm
2	キャップクイックディスクコネクティング
8	フランジヘッドボルト5/16" x 3/4"
8	フランジロックナット5/16"
1	ホースクランプ
1	プッシュインファスナーケーブルタイ)
3	プッシュインファスナーコネクタアンカー

散布コントローラをバルブマウントに取り付ける

1. ASC 10 スプレーヤコントローラを、バルブマウントの前側に合わせる。4ピンコネクタが外側を向くようにすること [図 97](#)。

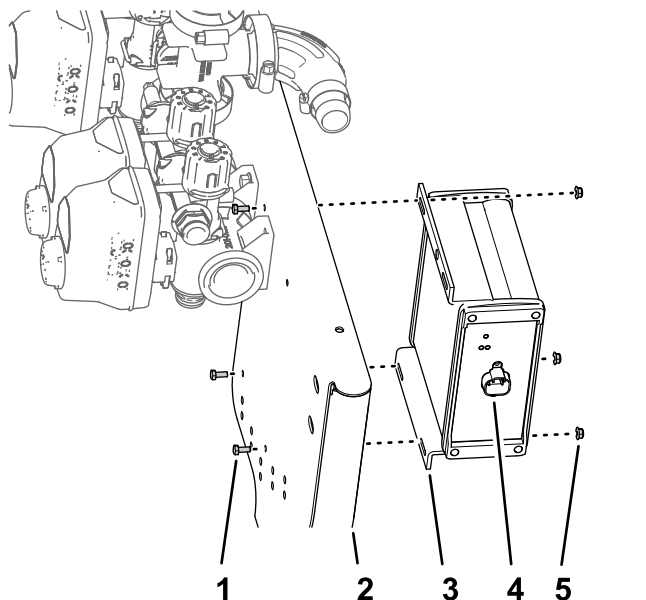


図 97

g199152

1. ボルト4 x 10mm
2. バルブ10本用マウント
3. ASC 10 スプレーヤコントローラ
4. 4ピンコネクタ
5. フランジロックナット4mm

2. 散布コントローラをバルブマウントに取り付ける [図 97](#); ボルト3 x 10mm3本とフランジロックナット4mm4個を使用する。

注 ASC 10 スプレーヤコントローラの上外側の穴を使用しないでください。

3. ボルトとナットを 234-286 N·cm0.24-0.29 kg.m = 21-25 in-lbにトルク締めする。

バイパスバルブの位置替えをするオプションのスプレースティックキットや電動ホースリールキットを搭載している車両

1. ノズルバルブ 1-7 用のバルブアクチュエータを固定しているリテーナを外す [図 98](#)。

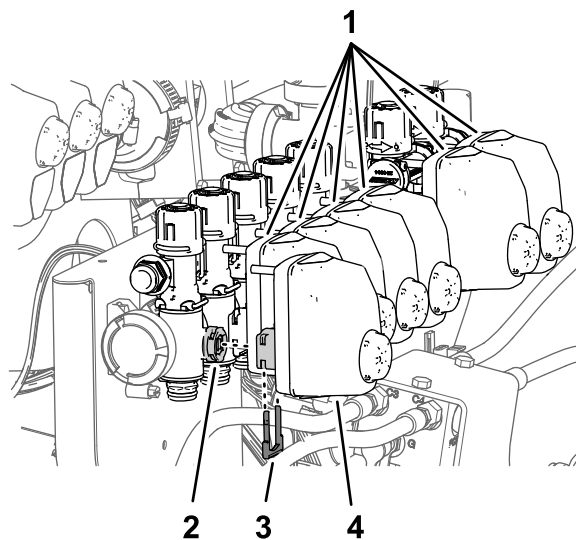


図 98

g201572

1. バルブアクチュエータをノズルバルブ 2~7
2. バルブシステムノズルバルブ 1番
3. リテーナ
4. バルブアクチュエータノズルバルブ 1番)

2. ノズルバルブ 1-7 からバルブアクチュエータを外す [図 98](#)。
3. ノズルバルブ 5 番と 6 番のところのクイックディスクコネクティングのソケットにプラグを固定しているリテーナを外して、プラグを外す [図 99](#)。

注 プラグは廃棄します。リテーナは **ブームバイパスホース**を取り付けるオプションのスプレースティックキットまたは**電動ホースリールキット**を搭載している車両 (ページ 49)で使用します。

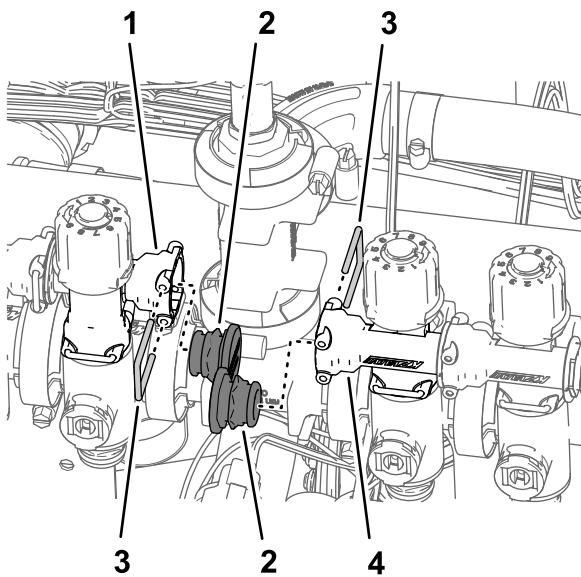


図 99

g201570

1. クイックコネクティングソケットノズルバルブ 5 番のバイパスバルブ
 2. キャップクイックディスコネクティング
 3. リテーナ
 4. クイックコネクティングソケットノズルバルブ 6 番のバイパスバルブ
-
4. ノズルバルブ 1-7 にバイパスバルブを固定しているリテーナを外す 図 100。

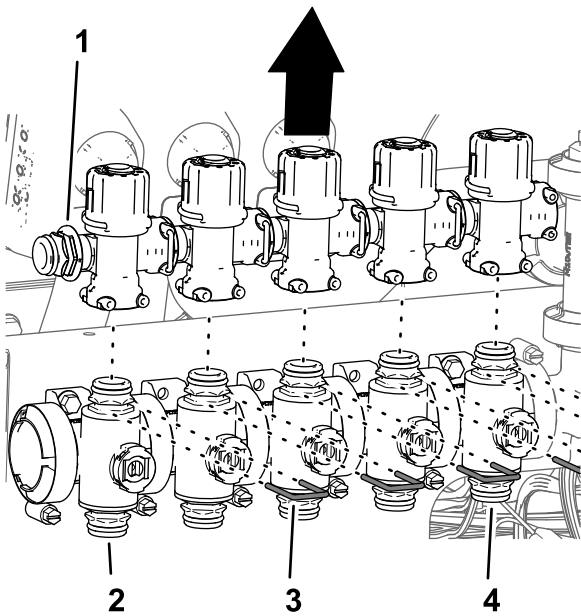


図 100

g201568

1. クイックディスコネクティングプラグ
 2. ノズルバルブ 1 番
 3. リテーナ
 4. ノズルバルブ 5 番
-
5. ノズルバルブ 1-5 からのバイパスバルブを一旦外し 図 100、

6. バイパスバルブを180°回転させてboomバルブのクイックディスコネクティングに組み付ける 図 101。

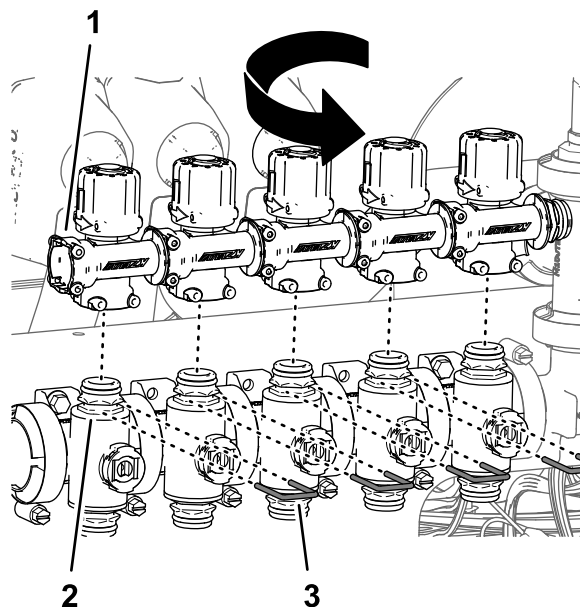


図 101

g201573

1. クイックコネクティングソケット外側に向けて配置
2. ノズルバルブ 1 番
3. リテーナ

7. バイパスバルブをそれぞれのboomバルブに固定するリテーナ 図 101 ステップ 4 で外したものを使用
8. ノズルバルブ 6 番と 7 番のバイパスバルブについてもステップ 5-7 の作業を行う 図 102。

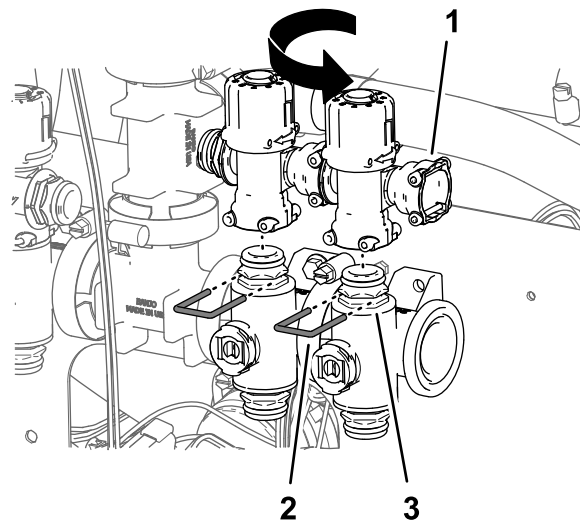


図 102

g201625

1. クイックコネクティングソケット外側に向けて配置
2. リテーナ
3. ノズルバルブ 7 番

9. ノズルバルブ 6 番と 7 番のバイパスバルブのクイックディスコネクトフィッティングにキャップを取り付けるキャップに付属しているリテーナを使用する [図 101](#)。

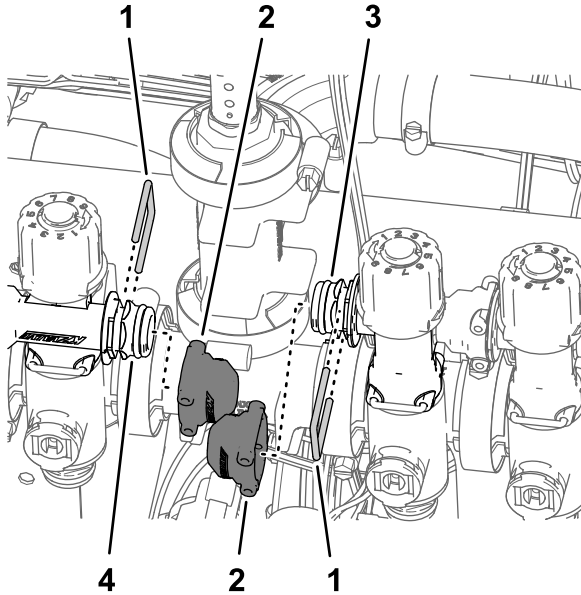


図 103

g201567

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. リテーナ | 3. クイックコネクトフィッティングプラグノズルバルブ 5 番のバイパスバルブ |
| 2. キャップクイックディスコネクトフィッティング | 4. クイックコネクトフィッティングプラグノズルバルブ 6 番のバイパスバルブ |

10. ノズルバルブ 1-7 にバルブアクチュエータを取り付ける ([図 98](#))ステップ 1 で外したリテーナを使用する。

ブームバルブ 3 個をバルブマウントに取り付ける

1. ブームバルブ 3 個 [図 104](#) ステップ S8 マニホルドマウントからブームバルブを外す (ページ 33) で外したものを、バルブ 7 番のフランジに取り付けるステップ 4 マニホルドマウントからブームバルブを外す (ページ 33) で取り外したフランジクランプとガスケットを使用する。

重要 ジオリンク散布システムの左ブーム、センターブーム、右ブームは以下のように識別されま
す左ブームのバルブ ノズルバルブ 8 番センター
ブームのバルブ ノズルバルブ 9 番右ブームの
バルブ ノズルバルブ 10 番。

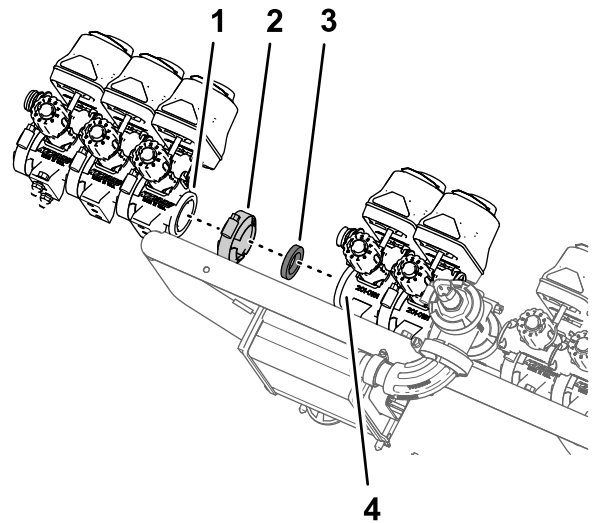


図 104

g199387

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1. フランジブームバルブ左
ブームノズルバルブ 8 番 | 3. ガスケット |
| 2. フランジクランプ | 4. フランジノズルバルブ 7 番
ジオリンクスプレーヤバル
ブアセンブリ) |

2. ノズルバルブ 8 番のクイックディスコネクトカップリングのソケットを、ノズルバルブ 7 番のバイパスバルブのクイックディスコネクトカップリングに固定するステップ 8 マニホルドマウントからブームバルブを外す (ページ 33) で外したリテーナを使う。

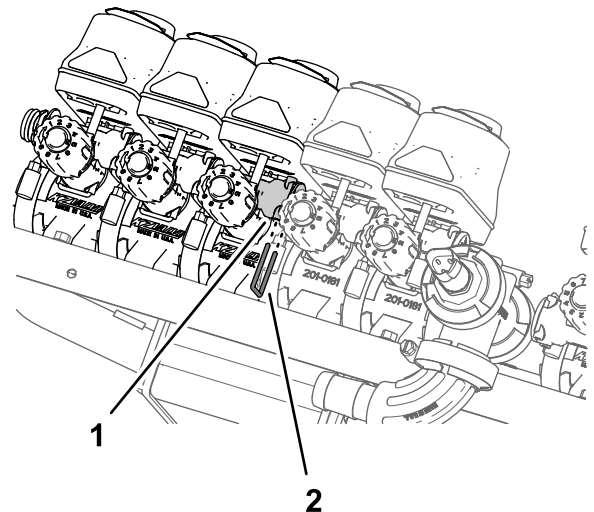


図 105

g199386

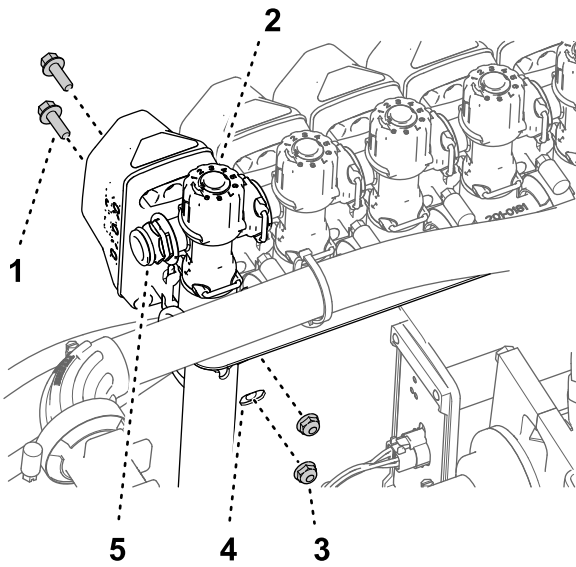
- | | |
|--|---------|
| 1. クイックディスコネクトカ
プリングソケットバイパスバ
ルブ | 2. リテーナ |
|--|---------|

3. ノズルバルブ 10 番をバルブマウントに取り付ける [図 106](#) または [図 107](#) ステップ 2 マニホルドマウントからブームバルブを外す (ページ 33) で取り外したフランジヘッドボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " 2 本とロックナット $\frac{1}{4}$ " 2 個を使用する。

バルブマウントスプレーバルブアセンブリを機体に組み付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 23kg

1. 所定の能力のある昇降装置を使ってバルブマウントスプレーバルブアセンブリを吊り上げ、センターブームに合わせる [図 108](#)。

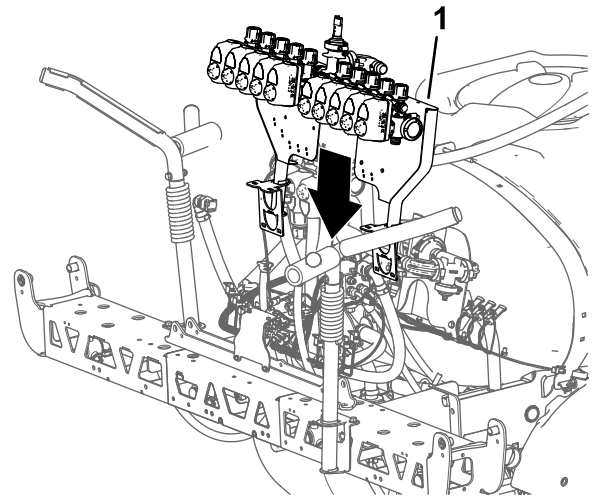


g201492

図 106

ハンドプレーキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両

- | | |
|---|---------------------------|
| 1. フランジヘッドボルト $\frac{1}{4}$ " x $\frac{3}{4}$ " | 4. バルブマウント |
| 2. ノズルバルブ 10番 | 5. クイックディスコネクトのフィッティングプラグ |
| 3. ロックナット $\frac{1}{4}$ " | |

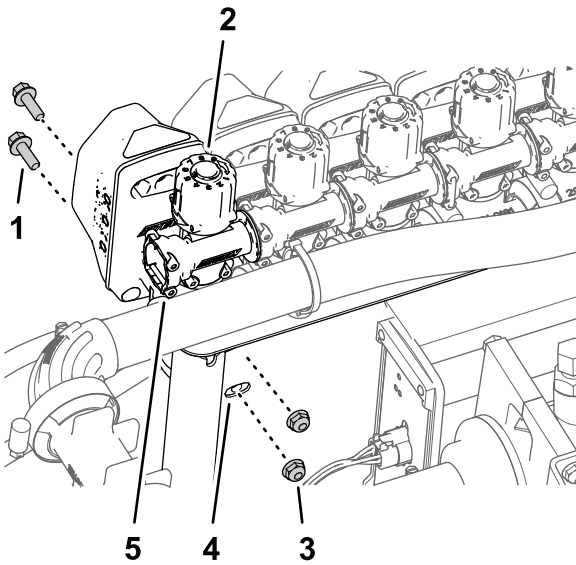


g199385

図 108

1. バルブマウントスプレーバルブアセンブリ

2. バルブマウントの取り付けブラケットの穴を、センターブームのトラスフレームの穴に合わせる [図 109](#)。

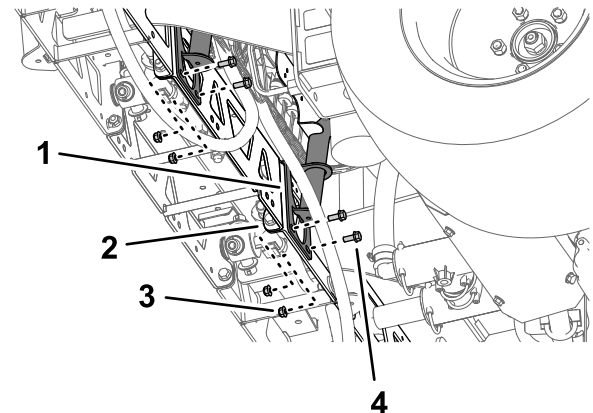


g201569

図 107

ハンドプレーキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

- | | |
|---|----------------------------|
| 1. フランジヘッドボルト $\frac{1}{4}$ " x $\frac{3}{4}$ " | 4. バルブマウント |
| 2. ノズルバルブ 10番 | 5. クイックディスコネクトのフィッティングソケット |
| 3. ロックナット $\frac{1}{4}$ " | |



g199540

図 109

- | | |
|-------------------|--|
| 1. ブラケットバルブマウント | 3. フランジロックナット $\frac{5}{16}$ " |
| 2. トラスフレームセンターブーム | 4. フランジヘッドボルト $\frac{5}{16}$ " x $\frac{3}{4}$ " |

3. バルブマウントをトラスフレームに固定する [図 109](#) と [図 110](#) ボルト $\frac{5}{16}$ " x $\frac{3}{4}$ " 4本とフランジロックナット $\frac{5}{16}$ " 4個を使用する。

4. フランジヘッドボルトとロックナットを 10.17-12.43 N·m 1.0-1.4 kg·m = 90-120 in-lb にトルク締めする。

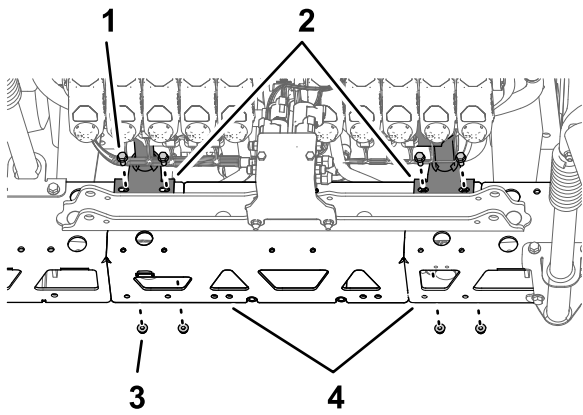


図 110

g199541

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. フランジヘッドボルト5/16" x 3/4" | 3. フランジロックナット5/16" |
| 2. ブラケットバルブマウント | 4. トラスフレームセンターブーム) |

- もう一方のトラスフレームの取り付けブラケットにも、ステップ 2-3 の作業を行う。
- フランジヘッドボルトとフランジロックナットを 1978-2542 N·cm 2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lb にトルク締める。

ホースをスプレーバルブマニホールドに組み付ける

- 図 111 に示すように、ホース 1 x 16" = 40 cm を 90 度フランジフィッティングに組み付ける。

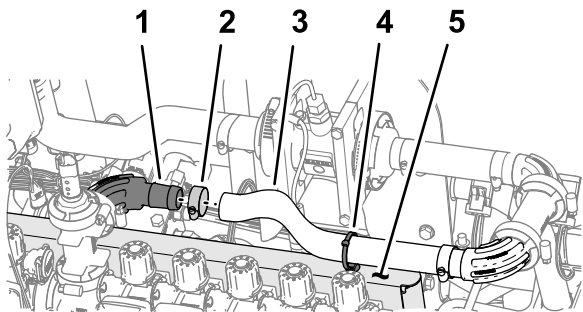


図 111

g281672

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 90度フランジフィッティング 1" | 4. 押し込み型ファスナーケーブルタイ |
| 2. ホースクランプ | 5. バルブマウント |

- ホースクランプを使ってホースをフランジフィッティングに固定する 図 111。
- 図 111 に示すように、ケーブルタイ押し込みファスナーをバルブマウント上部の穴に取り付ける。
- ケーブルタイ押し込みファスナー 図 111 をホース 1" x 16" = 40 cm に巻き付ける。

ブームバイパスホースを取り付けるオプションのスペーススティックキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両

- クイックコネクティングのソケットからリテーナを外す。
- バイパスホースのクイックコネクティングを、ノズルバルブ 10 番のところにあるバイパスバルブにあるクイックディスコネクティングに取り付ける 図 112。

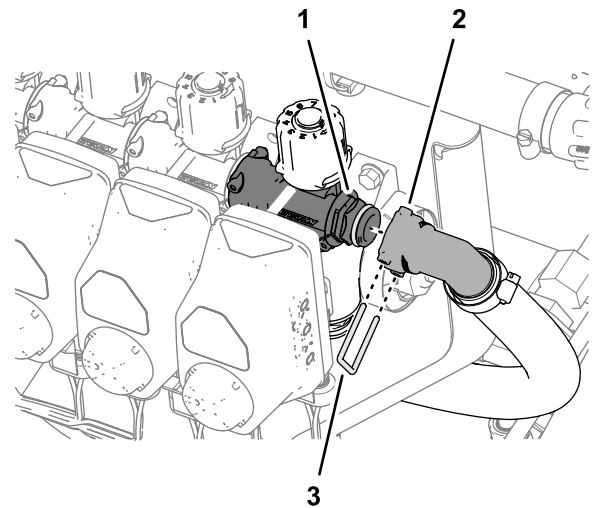


図 112

g281441

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1. クイックディスコネクティングバイパスバルブ | 3. リテーナ |
| 2. ソケットクイックコネクティング | |
- バイパスホースおよびバイパスバルブ用のクイックディスコネクティングを、リテーナで固定する 図 112。
 - ノズルバルブ 1 番のクイックディスコネクティングについてもステップ 1-3 の作業を行う。

ブームバイパスホースを取り付けるオプションのスペーススティックキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

- バイパスシャットオフバルブのクイックディスコネクティングを、バイパスバルブのクイックディスコネクティングに取り付ける 図 113。

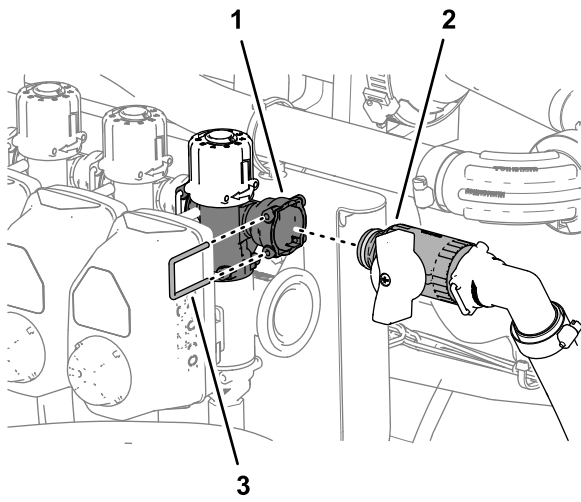


図 113

g281442

1. クイックコネクティングソケットノズルバルブ 10番
2. シャットオフバルブハンドスプレースティックまたは電動ホースリールキット
3. リテーナ

2. バイパスシャットオフバルブおよびバイパスバルブ用のクイックディスコネクティングを、リテーナで固定する(図 113ステップ 3) バイパスバルブの位置替えをするオプションのスプレースティックキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両 (ページ 32) で外したリテーナを使用する。
3. 車体の反対側のバイパスシャットオフバルブおよびバイパスバルブにも、ステップ 1-2の作業を行う。

ノズルバルブのコネクタの接続を行う

1. コネクタアンカー用押し込みファスナーをバルブマウント穴に取り付ける(図 114)。

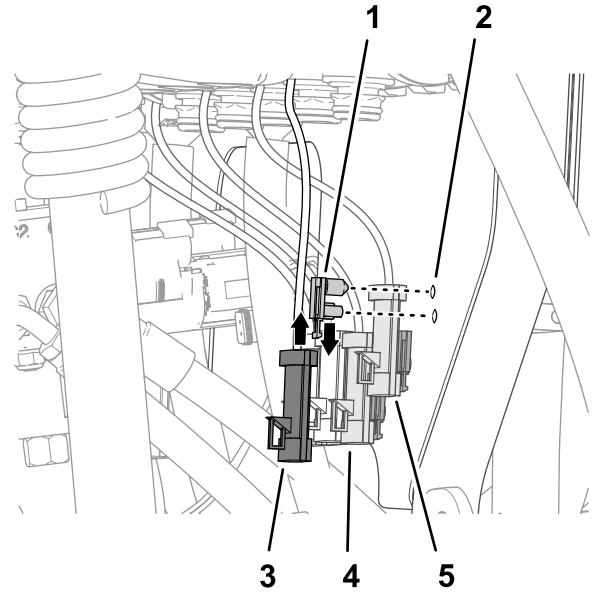


図 114

g199981

1. 押し込み型ファスナーコネクタアンカー
2. バルブマウント
3. 3ピンコネクタ (バルブアクチュエーター ポジション 10)
4. 3ピンコネクタ (バルブアクチュエーター ポジション 8)
5. 3ピンコネクタ (バルブアクチュエーター ポジション 9)

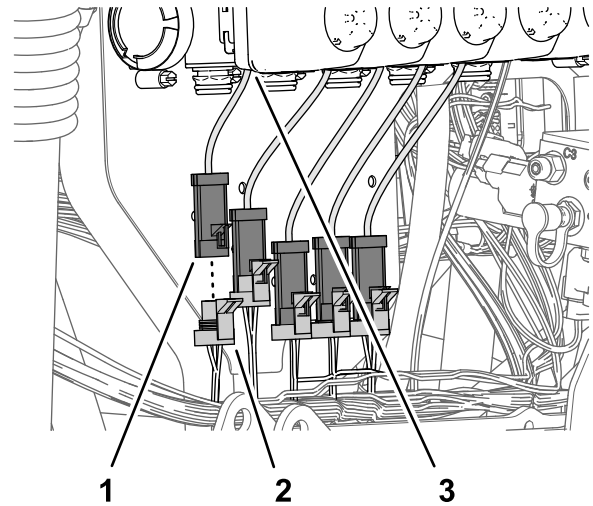


図 115

g199980

1. 3ピンコネクタ (バルブアクチュエーター ポジション 1)
2. 3ソケットコネクタキットのハーネスの 89cm 枝線 NOZZLE VALVE 1
3. バルブアクチュエーターポジション 1

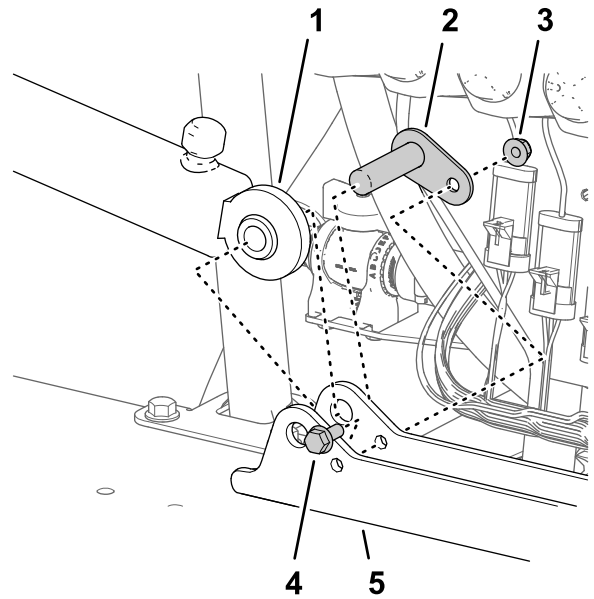
2. キットのワイヤハーネスの 89cm の枝線についている 3ピンコネクタ(図 115) NOZZLE VALVE 1というラ

ベルがついているものを一番左のバルブアクチュエータポジション 1の 3ピンコネクタに接続する。

注 バルブアクチュエータのポジション 1-10 は、車両の後ろから見たときに左から右へ順に数えた位置です。

3. キットのワイヤハーネスの 89cm の枝線についている 3ピンコネクタ [図 115](#) NOZZLE VALVE 2 というラベルがついているものをバルブアクチュエータポジション 2の 3ピンコネクタに接続する。
4. キットのワイヤハーネスの 89cm の枝線に残っている 3ソケットコネクタを、バルブアクチュエータの 3ピンコネクタに接続する [図 115](#)。

注 各 3ソケットコネクタとバルブアクチュエータが正しく対応していることを確認してください。



g200002

図 116

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 昇降シリンダ固定側 | 4. フランジヘッドボルト5/16" x 3/4" |
| 2. ピボットピン | 5. シリンダマウント |
| 3. フランジロックナット5/16" | |

2. シリンダをマウントに組み付けるピボットピン、フランジヘッドボルト、フランジナットを使用する [図 116](#)。
3. ボルトとナットを 1978-2542 N·cm(2.0-2.6 kg·m = 175-225 in·lb)にトルク締めする。
4. 機体の反対側の昇降シリンダについても 1-3 の作業を行う。

21

ブーム昇降シリンダを取り付ける

この作業に必要なパーツ

4	油圧ホース 1/4" x 24 3/4"
---	----------------------

昇降シリンダを組み立てる

1. ステップ 3 昇降シリンダを取り外す (ページ 23) で取り外した昇降シリンダの固定側端部を、シリンダマウントの 16mm の穴にセットする [図 116](#)。

注 延びる側のポートと縮む側のポートを間違えないように整列させてください。

昇降シリンダホースを取り付ける

1. 左側ブーム昇降シリンダの延長動作用ポートとブーム昇降マニホールドのポート C3 との間に、新しい油圧ホース $\frac{1}{4} \times 24\frac{3}{4}$ " を仮止めする [図 117](#)。

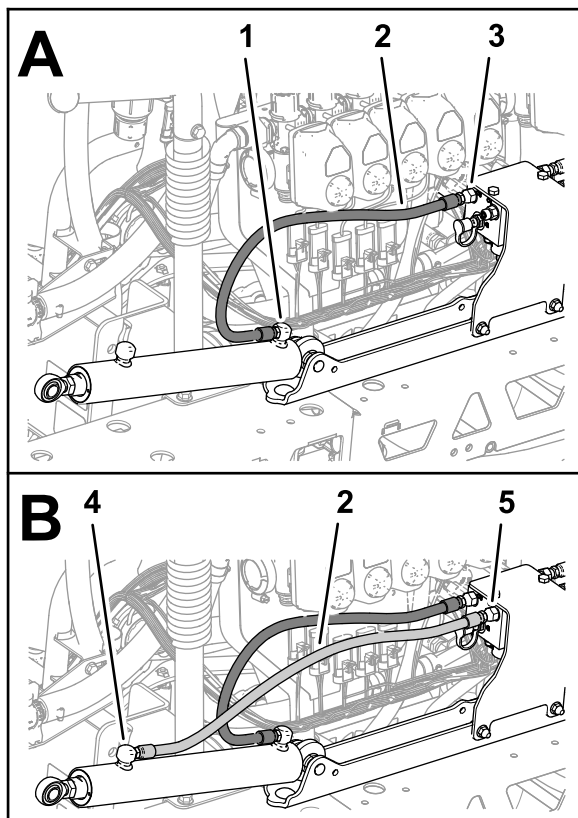


図 117

g200075

1. 延長動作用ポート左側ブーム昇降シリンダ
 2. 油圧ホース $\frac{1}{4} \times 24\frac{3}{4}$ "
 3. ポート C3ブーム昇降マニホールド
 4. 引き込み側ポート左側ブーム昇降シリンダ
 5. ポート C4ブーム昇降マニホールド
2. 左側ブーム昇降シリンダの収縮動作用ポートとブーム昇降マニホールドのポート C4 との間に、新しい油圧ホース $\frac{1}{4} \times 24\frac{3}{4}$ " を仮止めする [図 117](#)。
 3. 右側ブーム昇降シリンダの延長動作用ポートとブーム昇降マニホールドのポート C1 との間に、新しい油圧ホース $\frac{1}{4} \times 24\frac{3}{4}$ " を仮止めする ([図 118](#)。

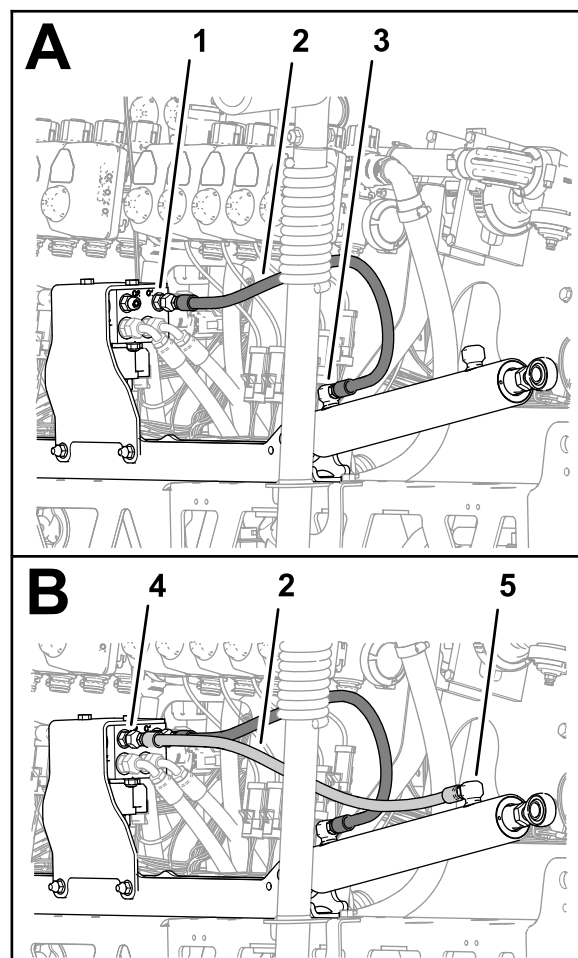


図 118

g200076

1. ポート C1ブーム昇降マニホールド
 2. 油圧ホース $\frac{1}{4} \times 24\frac{3}{4}$ "
 3. 延長動作用ポート右側ブーム昇降シリンダ
 4. ポート C2ブーム昇降マニホールド
 5. 収縮動作用ポート右側ブーム昇降シリンダ
4. 右側ブーム昇降シリンダの収縮動作用ポートとブーム昇降マニホールドのポート C2 との間に、新しい油圧ホース $\frac{1}{4} \times 24\frac{3}{4}$ " を仮止めする [図 118](#)。
 5. 昇降シリンダの延長動作用および収縮動作用のポートのホースフィッティング [図 117](#) と [図 118](#) を 21-26 N·m 2.1-2.6 kg·m = 15-19 ft·lb にトルク締めする。
 6. 昇降マニホールドのホースのスイベルナット [図 117](#) と [図 118](#) を 24-30 N·m 2.4-3.0 kg·m = 17-22 ft·lb にトルク締めする。

22

左右のブームを取り付ける

この作業に必要なパーツ

4	ナイロン製フランジブッシュ
1	ケーブルタイ
1	給液ホースアセンブリ188cm
1	給液ホースアセンブリ234cm
1	給液ホースアセンブリ279cm

左右のブームからスプレーノズルを外す

- ふたつのノズルの間でホースを切断する 119。

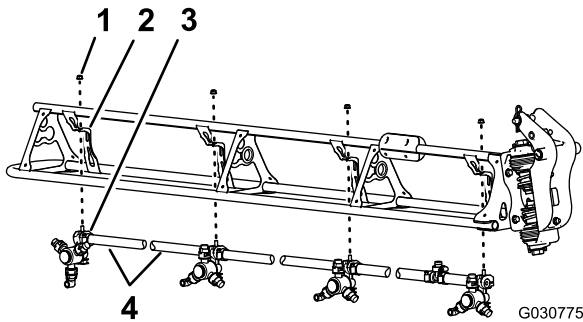


図 119

- フランジロックナット5/16" 3. スプレーノズル
- ノズルサポート 4. ホース内径 3/4"

- ノズルをノズルサポートに固定しているフランジロックナット5/16"を外す 119。
- 他の3個のノズルについても、上記の手順2と1を行う。

注 外したフランジロックナットとノズルは **左右のブームの散布ノズルを取り付ける (ページ 59)** で使用しますので捨てないでください。

注 機体から外したホース、クランプ、T字フィッティングは廃棄してください。

- 反対側のブームについても、2-3の作業を行う。
- ステップ1で取り外した8個のノズル全部について片側または両側バープ付きホースシャンク3/4"とそのクランプの上半分とを各ノズルのボディに固定しているステンレスねじ#12 x 1/4"を外してバープ付きホースシャンクをから外す 120。

注 クランプを分離する時に上側クランプから外れてくる六角ヘッドボルト5/16" x 3/4"—ステンレスは再利用しますから捨てないでください。

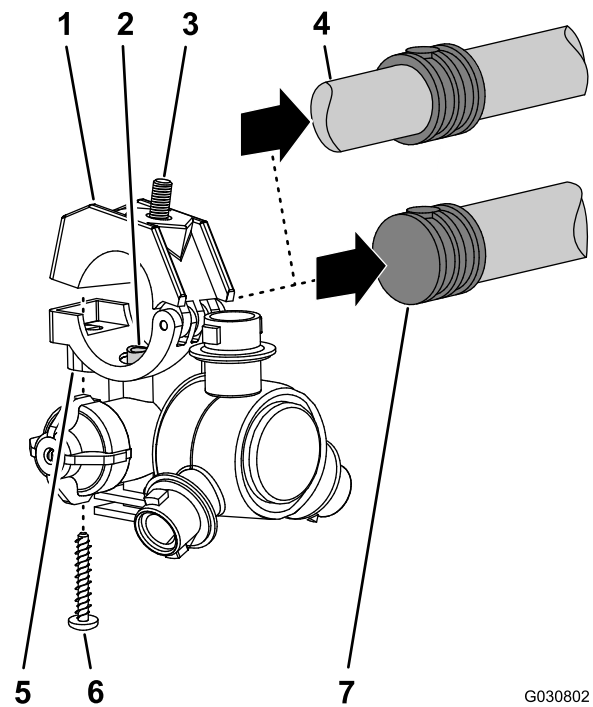


図 120

- クランプの上半分
- トランスファチューブ
- 六角ヘッドボルト5/16" x 3/4"ステンレス
- 両側バープ付きホースシャンク3/4" ホース
- スプレーノズルのボディ
- ステンレスねじ#12 x 1/4"
- 片側バープ付きホースシャンク3/4" ホース

左右のブームを機体に取り付ける

吊り上げ装置に必要な能力: 91kg

- 所定の能力のあるホイストなどを使って、左または右のブームを吊り上げる。
- ピボットフィッティングの両側にある31.8mmの穴に、ナイロン製のフランジブッシュを入れる 121。

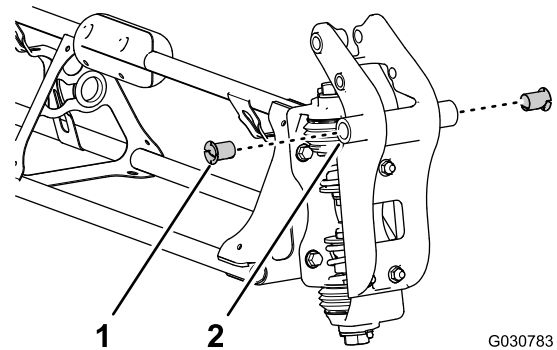


図 121

- ナイロン製フランジブッシュ
- ピボットフィッティング左右ブーム

3. ピボットフィッティングのブッシュを、センターブームの端部にあるピボットブラケットのフランジについている穴に合わせる [図 122](#)。

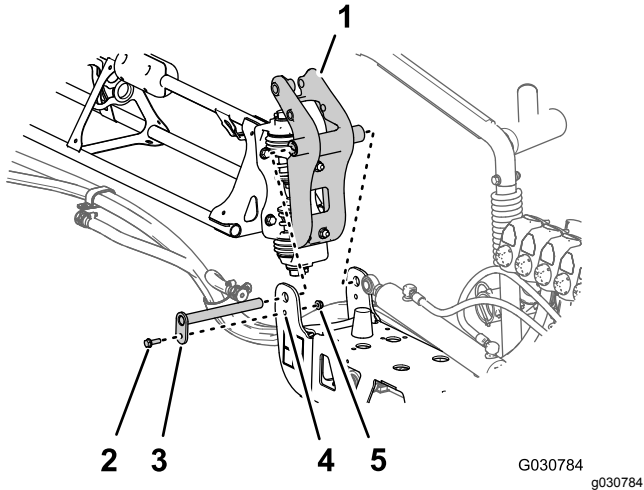


図 122

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. ピボットフィッティング左右ブーム | 4. ピボットブラケットセンターブーム |
| 2. フランジボルト5/16" x 1" | 5. フランジロックナット5/16" |
| 3. ピボットピン | |

4. ピボットフィッティングをピボットブラケットに取り付けるステップ [2](#) 左右のブームを取り外す ([ページ 24](#))で取り外したピボットピン、フランジボルト5/16" x 1"とフランジロックナット5/16"を使用する。
5. ボルトとナットを 19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg·m = 175-225 in-lb にトルク締めする。
6. 昇降シリンダのロッドの先端を、ピボットフィッティングのホーンツノの穴25mmに合わせる [図 123](#)。

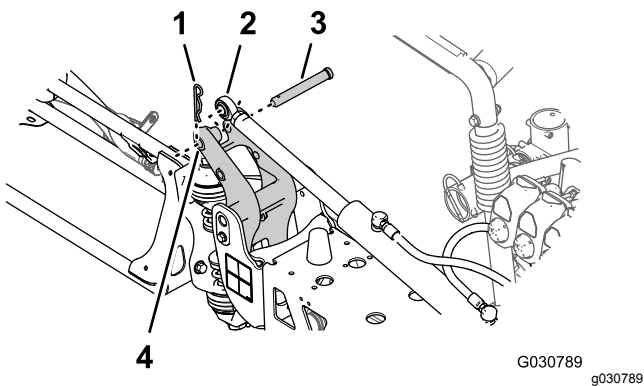


図 123

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 1. ヘアピン | 3. クレビスピン |
| 2. ロッドの先端昇降シリンダ | 4. 25mm の穴 — ピボットフィッティングのホーン |

7. 昇降シリンダをピボットフィッティングに固定するクレビスピンとヘアピン [図 123](#) ステップ [2](#) 昇降シリンダを取り外す ([ページ 23](#))で外したものを使用する。
8. 機体の反対側のブームにも、ステップ [1-7](#) の作業を行う。


23

散布ノズル用ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ




2	給液ホース279cm
2	給液ホース234cm
4	給液ホース188cm
2	給液ホース81cm

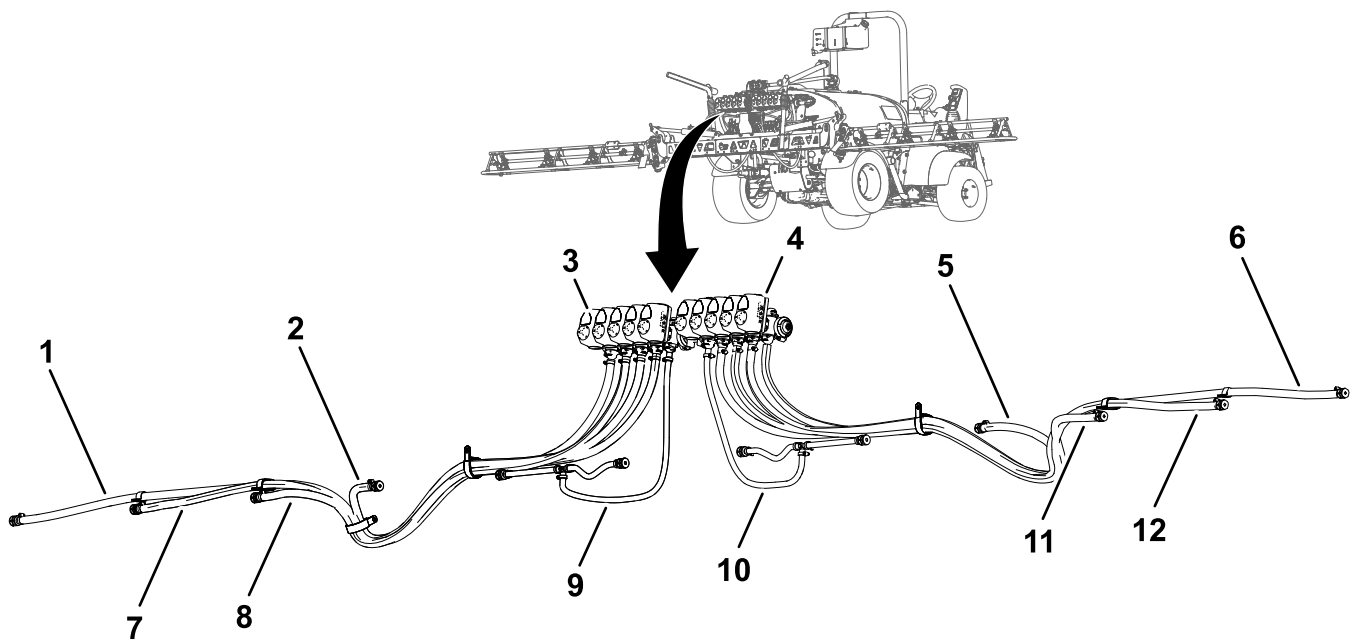
各散布ノズル用ホースの取り付け位置を確認する

各ホースの取り付け位置をホースの長さで確認する  124

ホース取り付け位置確認表

ノズルの位置左ブーム	ノズルの位置センターブーム	ノズルの位置右ブーム
散布ノズル 1ノズルバルブ 1 給液ホース 279cm	散布ノズル と6ノズルバルブ 5 給液ホース 81cm 枝ホース本付き	散布ノズル 9ノズルバルブ 7 給液ホース 188cm
散布ノズル 2ノズルバルブ 2 給液ホース 234cm	散布ノズル 7と8ノズルバルブ 6 給液ホース 81cm 枝ホース本付き	散布ノズル 10ノズルバルブ 8 給液ホース 188cm
散布ノズル 3ノズルバルブ 3 給液ホース 188cm		散布ノズル 11ノズルバルブ 9 給液ホース 234cm
散布ノズル 4ノズルバルブ 4 給液ホース 188cm		散布ノズル 12ノズルバルブ 10 給液ホース 279cm

注 ノズルバルブの位置については  125 各ホースをノズルバルブ~4 番に取り付ける。(ページ 57)、 126 ホースをノズルバルブ5および6 番に取り付ける。(ページ 57)、および  127 各ホースをノズルバルブ7-10 番に取り付ける。(ページ 58) を参照してください。



g200077

図 124

- | | | |
|----------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 給液ホース279cm 散布ノズル | 5. 給液ホース188cm 散布ノズル9 | 9. 給液ホース81cm 散布ノズルと6 |
| 2. 給液ホース188cm 散布ノズル4 | 6. 給液ホース279cm 散布ノズル12 | 10. 給液ホース81cm 散布ノズル7と8 |
| 3. ノズルバルブ 1番 | 7. 給液ホース234cm 散布ノズル2 | 11. 給液ホース188cm 散布ノズル10 |
| 4. ノズルバルブ 10番 | 8. 給液ホース188cm 散布ノズル3 | 12. 給液ホース234cm 散布ノズル11 |

各ホースをノズルバルブ~4番に取り付ける。

1. 給液ホース279cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ番のカップラに組み付ける [図 125](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

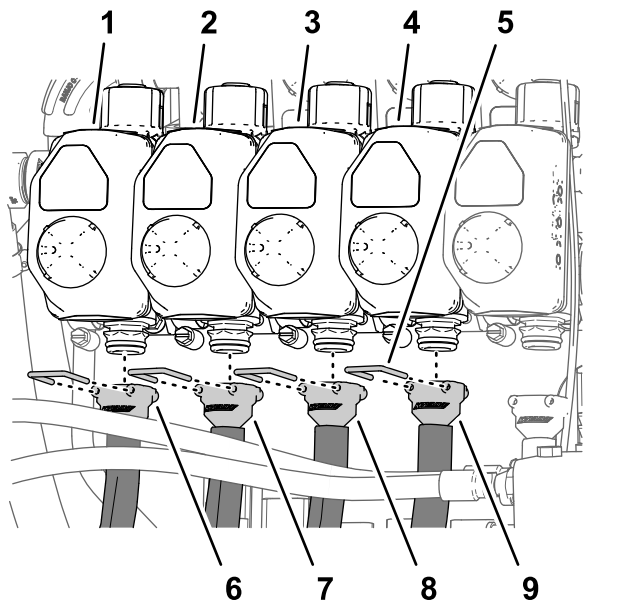


図 125

g200156

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ノズルバルブ 1番 | 6. 給液ホース279cm |
| 2. ノズルバルブ 2番 | 7. 給液ホース234cm |
| 3. ノズルバルブ 3番 | 8. 給液ホース188cm |
| 4. ノズルバルブ 4番 | 9. 給液ホース188cm |
| 5. リテーナ | |

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 125](#)。

3. 給液ホース234cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ2番のカップラに組み付ける [図 125](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 125](#)。

5. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ3番のカップラに組み付ける [図 125](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

6. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 125](#)。

7. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ4番のカップラに組み付ける [図 125](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

8. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 125](#)。

ホースをノズルバルブ5および6番に取り付ける。

注 給液ホースアセンブリ81cmにはT字フィッティング、枝ホース本、バーブ付きホースシャック本が付きまます。

1. 給液ホース81cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ5番のカップラに組み付ける [図 126](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

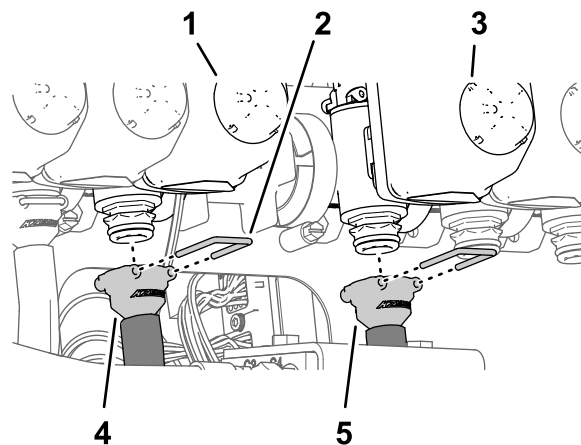


図 126

g200157

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ノズルバルブ 5番 | 4. 給液ホース81cm |
| 2. リテーナ | 5. 給液ホース81cm |
| 3. ノズルバルブ 6番 | |

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 126](#)。

3. 給液ホース81cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ6番のカップラに組み付ける [図 126](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 126](#)。

各ホースをノズルバルブ7-10番に取り付ける。

1. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ7番のカップラに組み付ける [図 127](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

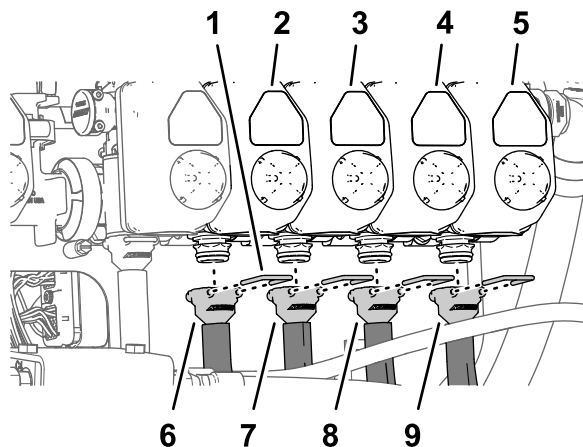


図 127

g200158

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. リテーナ | 6. 給液ホース188cm |
| 2. ノズルバルブ 7番 | 7. 給液ホース188cm |
| 3. ノズルバルブ 8番 | 8. 給液ホース234cm |
| 4. ノズルバルブ 9番 | 9. 給液ホース279cm |
| 5. ノズルバルブ 10番 | |

2. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 127](#)。

3. 給液ホース188cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ8番のカップラに組み付ける [図 127](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

4. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 127](#)。

5. 給液ホース234cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ9番のカップラに組み付ける [図 127](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

6. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 127](#)。

7. 給液ホース279cmのバーブ付きストレートフィッティングを、ノズルバルブ10番のカップラに組み付ける [図 127](#)。

注 バーブ付きフィッティングはカップラに完全に差し込んでください。

8. リテーナを使って、バーブ付きフィッティングをバルブに固定する [図 127](#)。

給液ホースを散布ノズルへ配設する

1. 散布ノズル、、、番用のホースを、センターブームの左端にあるR クランプに通す [図 128](#)と [図 129](#)。

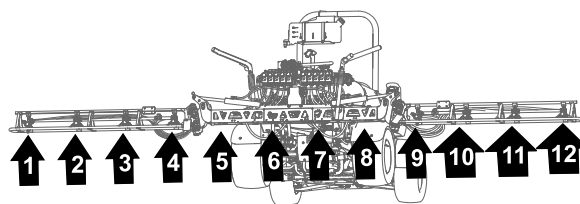


図 128

g200162

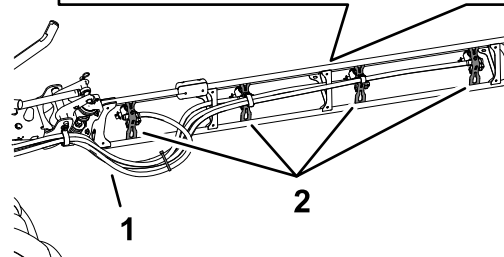
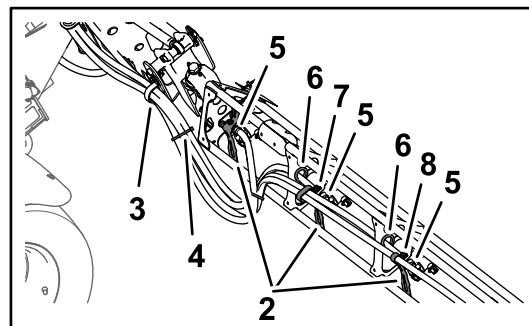


図 129

g200185

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1. ホース | 5. 片側バーブ付きホースシャック1/2" |
| 2. ノズルサポート | 6. グロメット |
| 3. R クランプ | 7. ダブル R クランプ |
| 4. ケーブルタイ | 8. シングル R クランプ |

2. 散布ノズル7、8、9、10番用のホースを、センターブームの右端にあるR クランプに通す [図 128](#)と [図 129](#)。

3. [図 128](#)と[図 129](#)のように、給液ホース279 cmとバーブ付きホースシャック3/4"をブームに沿って散布ノズル-10番へ配設する。

4. [図 128](#)と[図 129](#)のように、給液ホース234 cmとバーブ付きホースシャック3/4"をブームに沿って散布ノズル4-9番へ配設する。

5. [図 128](#)と[図 129](#)のように、給液ホース188 cmとバーブ付きホースシャック3/4"をブームに沿って散布ノズル3-8番へ配設する。

注 各ホースを、チューブフレームブラケットの下側後部のグロメットに通す。

6. 図 128と図 129のように、給液ホース188 cmとバーブ付きホースシャック $\frac{3}{4}$ "をブームに沿って散布ノズル4-7番へ配設する。

注 各ホースを、チューブフレームブラケットの下側後部のグロメットに通す。

7. 散布ノズル用のホース4本をケーブルタイで 図 129のようにまとめる。

- ノズル位置1番と4番で、ノズルマウントにノズルを組み付ける 図 131のAステップ2 左右のブームからスプレーノズルを外す (ページ 53)で外したフランジロックナット5/16"を使用する。
- ノズル位置2番と3番で、ノズルマウントにノズルを組み付ける 図 131のAとBステップ2 左右のブームからスプレーノズルを外す (ページ 53)で外したフランジロックナット5/16"を使用する。

左右のブームの散布ノズルを取り付ける

1. ノズルのサドルに付いているトランスファチューブ 図 130を、片側バーブ付きホースシャック $\frac{1}{2}$ "の穴に合わせる。

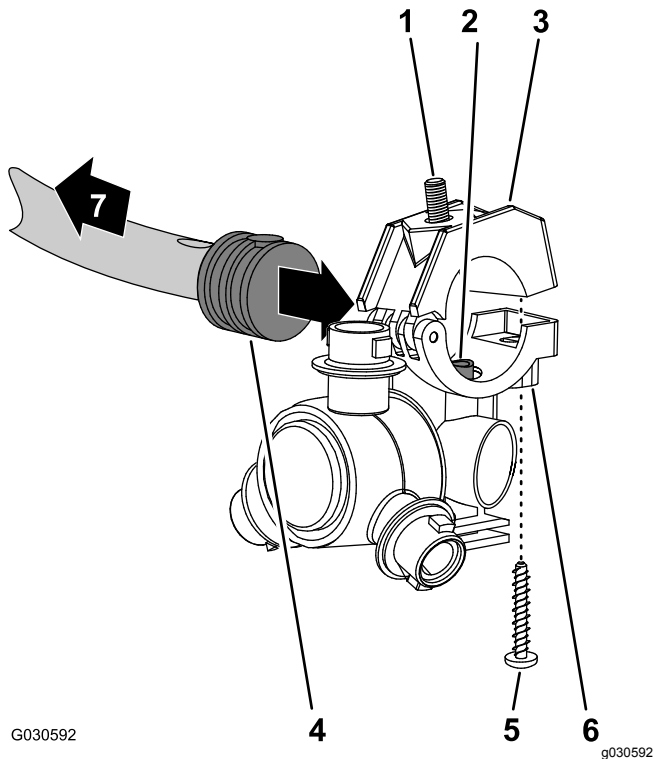


図 130

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1. 六角ヘッドボルト5/16" x $\frac{3}{4}$ "ステンレス | 5. ステンレスねじ#12 x $1\frac{1}{4}$ " |
| 2. トランスファチューブ | 6. スプレーノズルのボディ |
| 3. クランプの上半分 | 7. ブームへ |
| 4. 片側バーブ付きホースシャック $\frac{1}{2}$ " | |

2. バーブ付きホースシャックにホースクランプの上半分をセットし、クランプとノズルボディ 図 130を、ステンレスねじ#12 x $1\frac{1}{4}$ "で固定し、14-18 N·m 0.25-0.3 kg·m = 20-25 in-lbにトルク締めする。

注 クランプの上半分のくぼみに六角ヘッドボルト5/16 x $\frac{3}{4}$ "がきちんとはまっていることを確認してください。

3. 以下の要領で、左右のブームにスプレーノズルを取り付ける

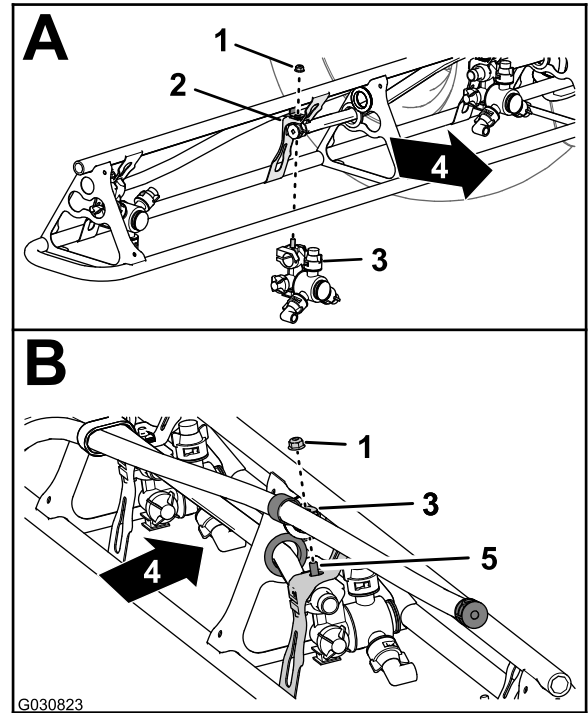


図 131

- | | |
|--------------------|---|
| 1. フランジロックナット5/16" | 4. 機体後方 |
| 2. ノズルマウント | 5. 六角ヘッドボルトステンレス5/16" x $\frac{3}{4}$ " |
| 3. スプレーノズル | |
4. フランジロックナットを、19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg·m = 175-225 in-lbにトルク締めする。
5. このブームの他のノズルについても、1-4の手順を行う。
6. 機体の反対側のブームにも、ステップ 1-5の作業を行う。

24

キットのワイヤハーネスを車体後部に接続する

必要なパーツはありません。

ワイヤハーネスを水圧トランスデューサとASC 10 に接続する

1. キットのワイヤハーネスの 61cm の枝線の PRESSURE TRANSDUCER GREEN WEDGE というラベル付きの3ソケットコネクタを、水圧トランスデューサの3ピンコネクタに接続する [図 132](#)。

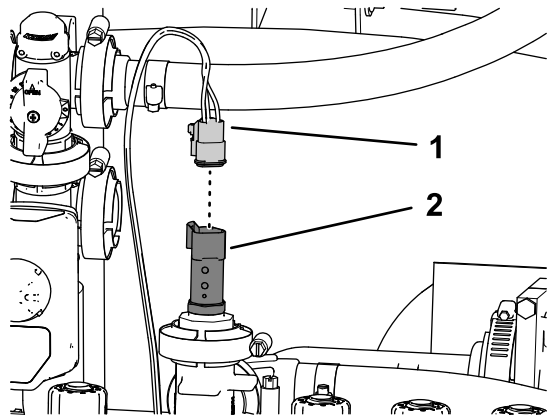


図 132

g200254

1. 3ソケットコネクタキットのハーネスの 61cm 枝線
PRESSURE TRANSDUCER GREEN WEDGE
2. 3ピンコネクタ水圧トランスデューサ

2. キットのワイヤハーネスの 40ソケットコネクタを、ASC 10 散布コントローラの 40ピンコネクタに接続する [図 133](#)。

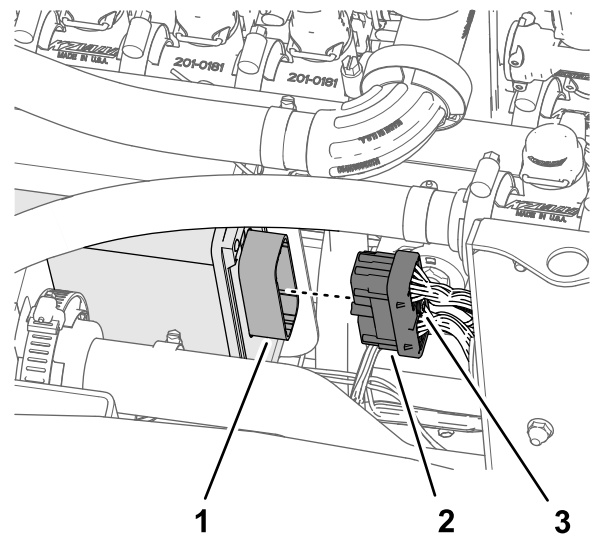


図 133

g281673

1. 40ピンコネクタASC 10 散布コントローラ
2. 40ソケットコネクタワイヤハーネスの 102cm 枝線
3. 蝶ねじ布コントローラ

3. 40ソケットコネクタについているねじを、ASC 10 コントローラに取り付ける [図 133](#)。
4. TO ASC 10というラベルの付いた4ソケットコネクタを、ASC 10 散布コントローラの4ピンコネクタに接続する [図 134](#)。

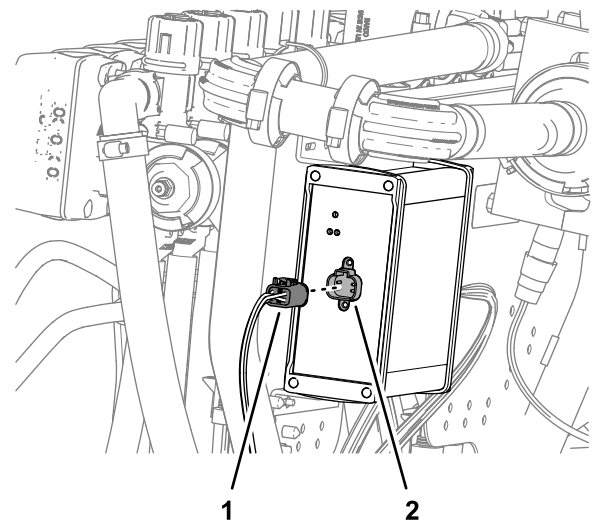


図 134

g281443

1. 4ソケットコネクタTO ASC 10
2. 4ピンコネクタASC 10 散布コントローラ

25

ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続する

必要なパーツはありません。

ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続する

オプションのハndsプレーキットや電動ホースリールキットを搭載していない車両

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ樹脂チューブの口を、チューブカップラのロックカラーに合わせる [図 135](#)。

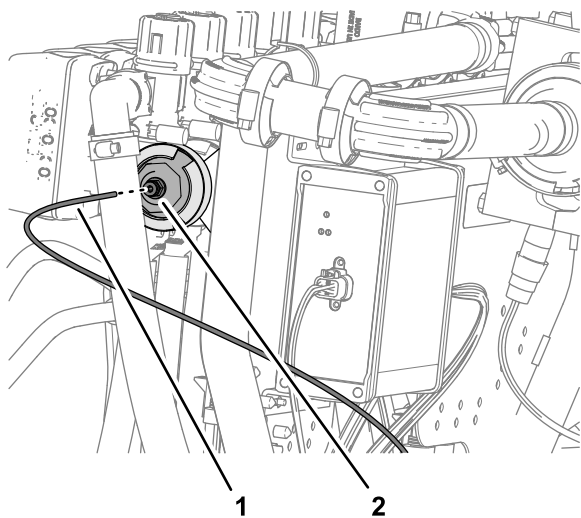


図 135

g281444

1. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
2. ロッキングカラーチューブカップラ

2. 検知チューブをロックカラーに挿入して一番奥まで押し込む [図 135](#)。

水圧検知チューブを取り付ける

オプションのハndsプレーキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

1. オプションのsprayスティックキットまたは電動ホースリールキット用のシャットオフバルブの 90° フィッティングを、ノズルバルブ 10 番のフランジに組み付けるフランジクランプとガスケットを使用する。クランプは手締めする [図 136](#)。

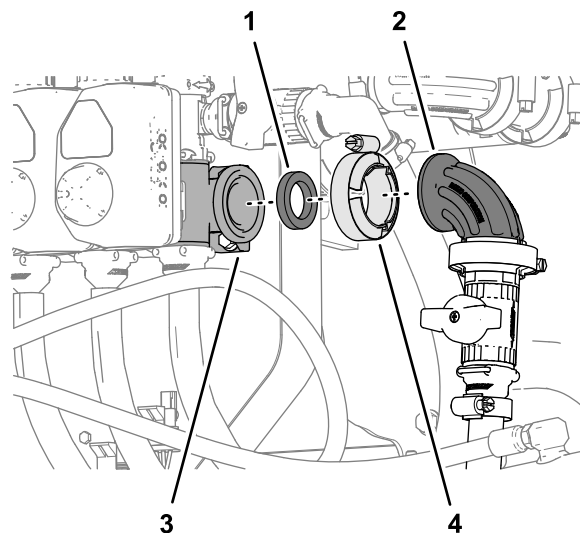


図 136

g281603

1. ガスケット
2. 90° フィッティングシャットオフバルブ
3. フランジノズルバルブ 10番
4. フランジクランプ

2. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ樹脂チューブの口を、sprayスティックキットまたは電動ホースリールキット用のシャットオフバルブの 90° フィッティングのチューブカップラ用ロックカラーに合わせる [図 137](#)。

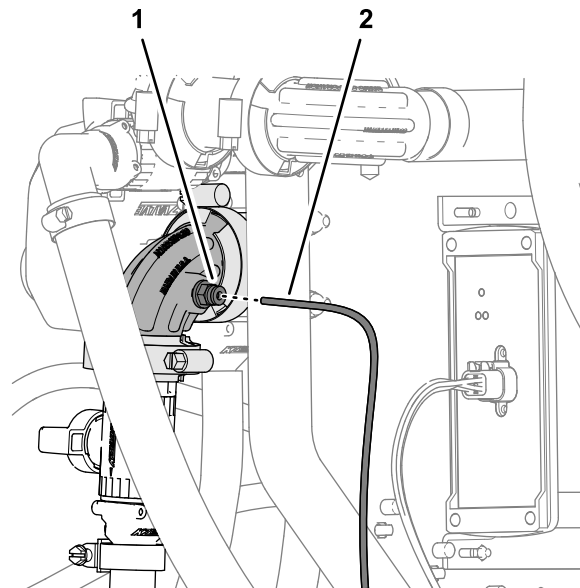


図 137

g281604

1. チューブカップラ90° フィッティングシャットオフバルブ
2. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
3. 検知チューブをロックカラーに挿入して一番奥まで押し込む [図 137](#)。

26

オプションのフォームマーカークットの接続を行う

この作業に必要なパーツ

6	ケーブルタイ
---	--------

フォームマーカのノズルのチューブの配設を行う

1. 左右のブーム用の泡ノズル用チューブを、車両中心に向かって配設し、各ブームの支点近くにある R クランプに通す [図 139](#)。

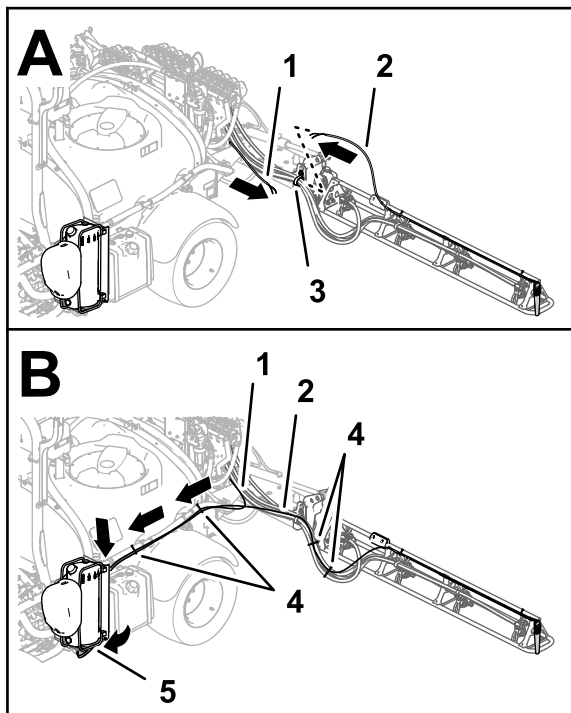


図 138

フォームマーカークット2016年度以前

1. チューブフォームマーカのノズル用右ブーム用
2. チューブフォームマーカのノズル用左ブーム用
3. R クランプ
4. ケーブルタイ
5. 接続パネルフォームマーカのコンプレッサ

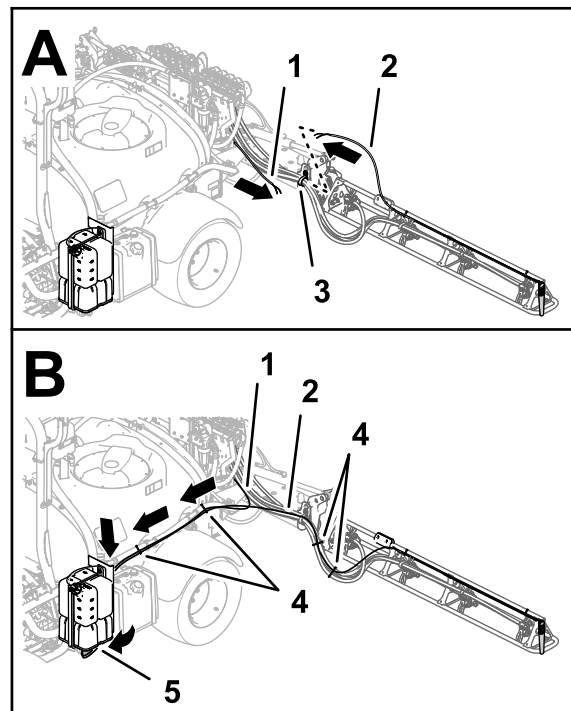


図 139

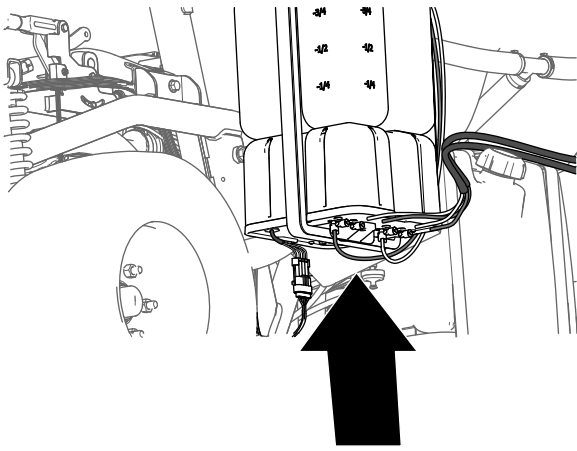
フォームマーカークット2017年度以降

1. チューブフォームマーカのノズル用右ブーム用
 2. チューブフォームマーカのノズル用左ブーム用
 3. R クランプ
 4. ケーブルタイ
 5. 接続パネルフォームマーカのコンプレッサ
2. 散布液剤タンクの左側に沿ってチューブを前方に延ばす [図 139](#)。
 3. ケーブルタイを使って、左右のブーム用のフォームマーカのノズルをスプレーヤの液剤ホースに [図 139](#) のように固定する。
 4. ケーブルタイ2本を使って、左右のフォームマーカのノズルを攪拌用のチューブに [図 139](#) のように固定する。

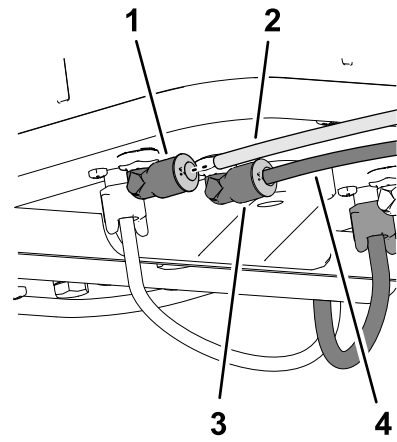
コンプレッサに原液チューブと空気チューブを取り付ける

フォームマーカークット2017年度以降

1. [図 140](#)のように、右側ブーム用泡チューブを配設する。



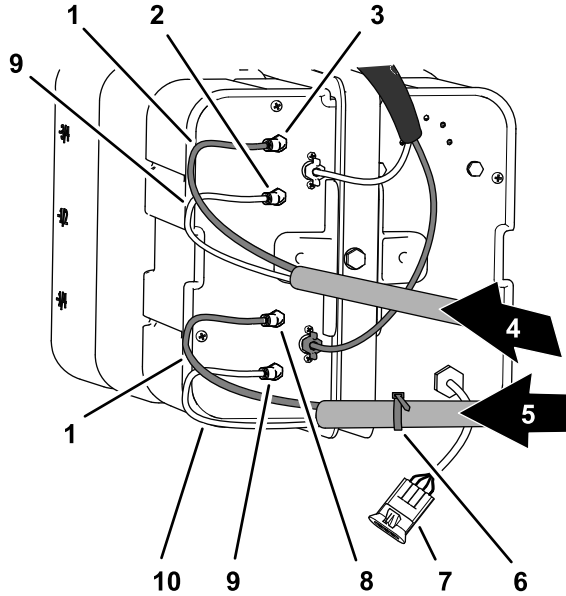
g197746



g201938

図 141

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 空気用フィッティング | 3. 原液用フィッティング |
| 2. 透明チューブ | 4. 青色チューブ |



g266328

図 140

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 青色チューブ | 6. ケーブルタイ |
| 2. 空気用フィッティング左ブーム | 7. 電気コネクタ |
| 3. 原液用フィッティング左ブーム | 8. 原液用フィッティング右ブーム |
| 4. 泡用チューブ左ブーム | 9. 透明チューブ |
| 5. 泡用チューブ右ブーム | 10. 空気用フィッティング右ブーム |

3. サイドコンプレッサプレートで、原液用フィッティングに青いチューブを入れる 図 140 と 図 141。
4. 図 140 のように、左側ブーム用泡チューブを配設する。
5. コンプレッサのサイドプレートのエア用フィッティングに透明チューブを入れる 図 140 と 図 141。
6. サイドコンプレッサプレートで、原液用フィッティングに青いチューブを入れる 図 140 と 図 141。

コンプレッサに原液チューブと空気チューブを取り付ける

フォームマーカークイット2016年度以前

1. ステップ 9 フォームマーカークイットのノズル用の新しいチューブアセンブリの準備を行う (ページ 16) でケーブルタイを使ってマーキングしたチューブのうち、右側ブーム用の青色チューブを右側ブーム用給水部の圧縮フィッティングに取り付ける 図 142。

2. コンプレッサのサイドプレートのエア用フィッティングに透明チューブを入れる 図 140 と 図 141。

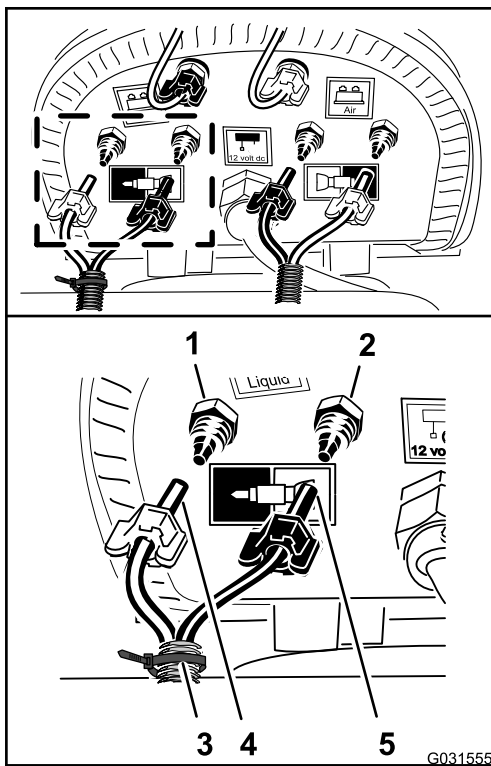


図 142

g031555

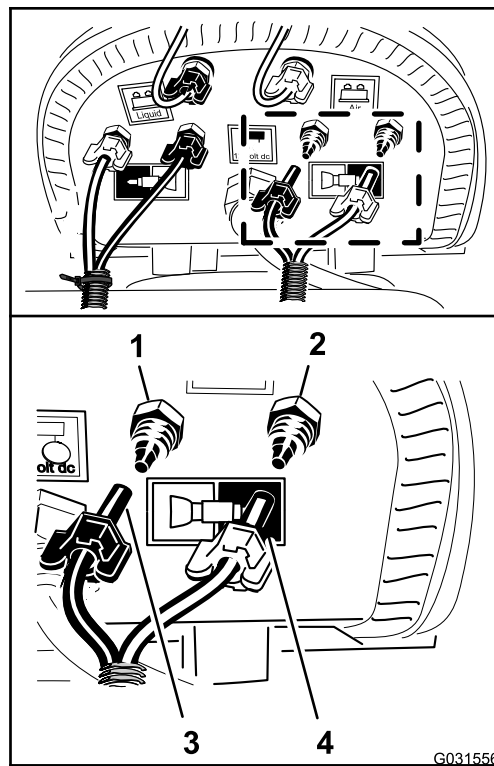


図 143

g031556

1. 圧縮フィッティング水用右ブーム、青チューブ
2. 圧縮フィッティング空気用右ブーム、透明チューブ
3. ケーブルタイ
4. 圧縮ナット空気用右ブーム、青チューブ
5. 圧縮ナット水用右ブーム、透明チューブ

2. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 142。
3. 右側ブーム用の透明チューブを右側ブーム用エア供給部の圧縮フィッティングに取り付ける 図 142。
4. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 142。
5. マークの付いていないケーブルタイの付いていないチューブ束で、左側ブーム用の青色チューブを左側ブーム用給水部の圧縮フィッティングに取り付ける 図 143。

1. 圧縮フィッティング水用左ブーム、青チューブ
2. 圧縮フィッティング空気用左ブーム、透明チューブ
3. 圧縮ナット左ブーム、青チューブ
4. 圧縮ナット左ブーム、透明チューブ

6. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 143。
7. 左側ブーム用の透明チューブを左側ブーム用エア供給部の圧縮フィッティングに取り付ける 図 143。
8. チューブの圧縮ナットをフィッティングに嵌め、ナットを手締めする 図 143。
9. ケーブルタイ2本を使って、フォームマーカのチューブを液剤ホースに固定する 図 139。

27

オプションのウルトラソニックブームキットを接続する

必要なパーツはありません。

手順

1. 右側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタに、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを接続する 図 144のA。

28

オプションのブームカバーキットの取り付けを行う

この作業に必要なパーツ

1	カバーエクステンションアセンブリ12ノズル用 Toro P/N 120-0621
22	ポップリベット Toro P/N 114439
4	サポートブラケットセンターブーム用カバー Toro P/N 13-3703-03
4	クリップナット Toro P/N 94-2413
16	フランジヘッドボルト $\frac{5}{8}$ x 1 $\frac{1}{4}$ " Toro P/N 110-5050
16	フランジロックナット $\frac{5}{8}$ " Toro P/N 104-8301
2	カバーストラップ Toro P/N 120-0629
4	フランジヘッドボルト5/16" x 1 $\frac{1}{4}$ " Toro P/N 323-36

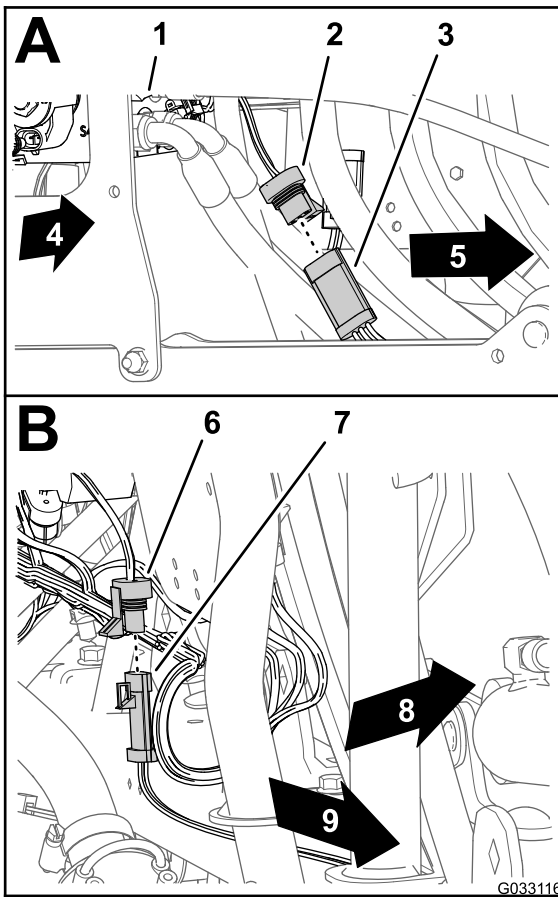


図 144

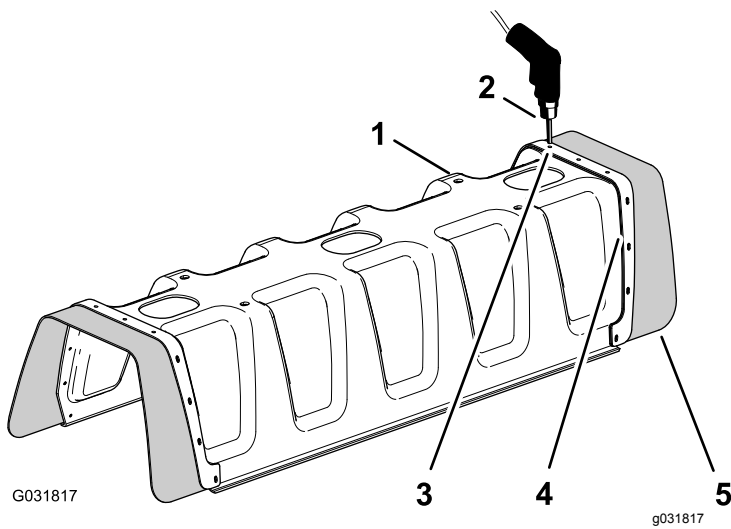
g033116

1. 昇降シリンダのマニホールド
2. 3ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス右センサー
3. 3ピンコネクタ右側ウルトラソニックセンサー: ケーブル
4. 機体右側
5. 3ソケットコネクタソニックブームのワイヤハーネス左センサー
6. 3ピンコネクタ左側ウルトラソニックセンサー: ケーブル
7. 機体左側
8. 機体後方
9. 機体左側

2. 左側ウルトラソニックセンサー用のケーブルの3ピンコネクタに、ソニックブームのワイヤハーネスの3ソケットコネクタを接続する図 144のB。

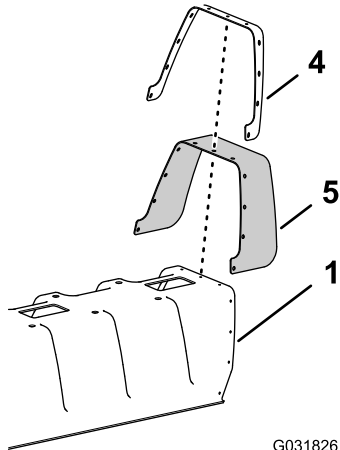
センターブームカバー11ノズルにカバーエクステンションを取り付ける

1. 補強プレートリベット1列とゴム製カバーを11ノズル用センターブームのカバーに固定している11本のポップリベット図 145ステップ 26 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す(ページ 18)で外しておいたカバーについているリベットを、直径 5mm のドリルビットを使って取り外す。



G031817

g031817



G031826

g031826

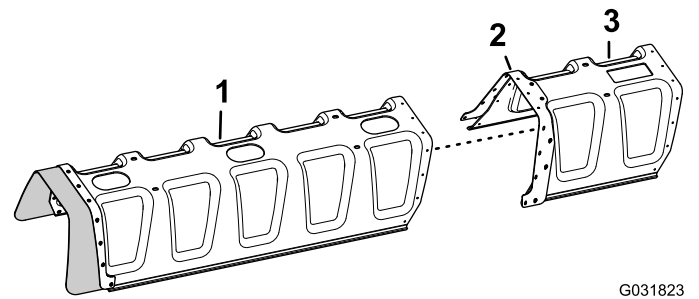
図 145

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. ドリルと直径 5mm ビット
3. リベット 3/16" x 1/2
4. 補強板 1 列穴
5. ゴムカバー

2. 11 ノズルブーム用カバーから、補強版、ワッシャ 3/16" 11 枚、ゴム製カバーを取り外す 図 145。

注 外した補強版、ワッシャ、ゴム製カバーは、ステップ 5 と 6 で使用します。

3. カバーエクステンションに取り付けられている補強プレート 2 列穴の穴に、11 ノズルブーム用カバーの穴を合わせる 図 146。

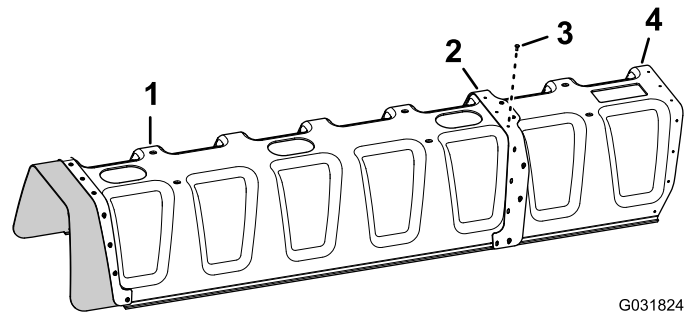


G031823
g031823

図 146

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. 補強板 2 列穴
3. カバーエクステンション

4. ポップリベット 11 本 Toro P/N 114439 を使って、カバーエクステンションを 11 ノズルブーム用カバーに固定する 図 147。

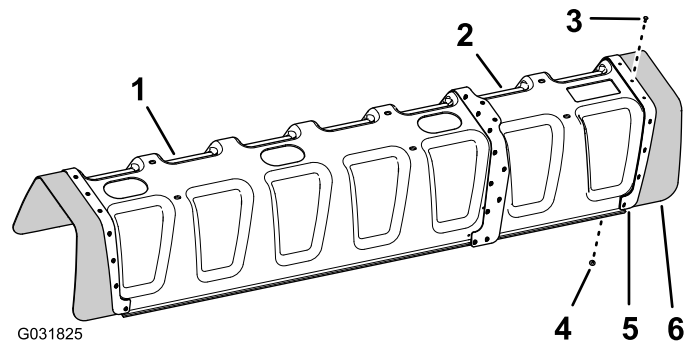


G031824
g031824

図 147

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. 補強板 2 列穴
3. ポップリベット Toro P/N 114439
4. カバーエクステンション

5. ステップ 2 で取り外したゴム製カバーと補強版 1 列穴の穴を、カバーエクステンションの穴に合わせる 図 148。



G031825

g031825

図 148

1. 11 ノズルブーム用カバー
2. カバーエクステンション
3. ポップリベット Toro P/N 114439
4. ワッシャ 3/16"
5. 補強板 1 列穴
6. ゴムカバー

6. 補強版とゴムカバーを、カバーエクステンションに固定するポップリベット Toro P/N 114439 11 本と、ステップ 5 で外したワッシャ 3/16" 11 枚を使用する。

注 ワッシャ3/16"は、カバーエクステンションの内面に当たるように取り付けてください。

センターブーム用カバーのサポートブラケットを取り付ける

1. 図 149 のように、センターカバー Toro P/N 131-3703-03用のサポートブラケット2個に、クリップナット Toro P/N 94-2413個を取り付ける。

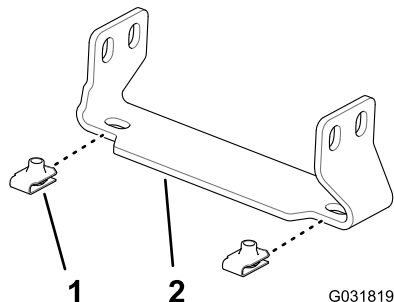
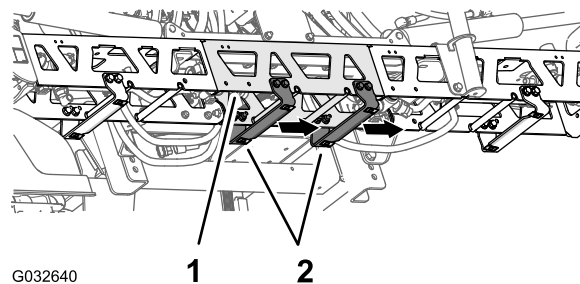


図 149

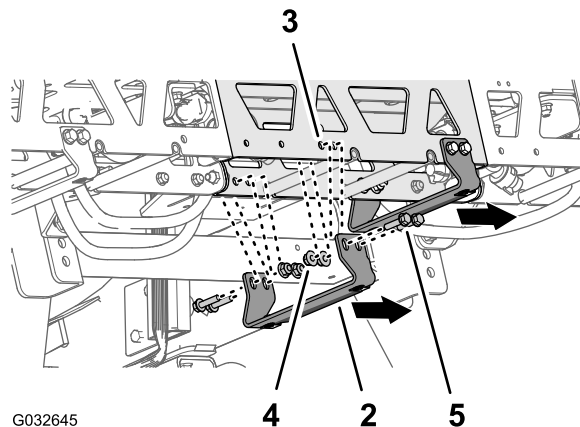
1. クリップナット Toro P/N 94-2413
2. サポートブラケットセンターブーム用カバー Toro P/N 13-3703-03

2. センターブームエクステンションにある2組の穴トラスフレームの垂直面に25mm間隔で開いている穴を探し出す 図 150。



G032640

g032640



G032645

g032645

図 150

1. エクステンションセンターブーム
2. サポートブラケット Toro P/N 131-3703-03 (広いフランジが右側)
3. トラスフレームの穴センターブームのエクステンション)
4. フランジロックナット 3/8" Toro P/N 104-8301
5. フランジヘッドボルト 3/8" x 1 1/4" Toro P/N 110-5050

3. サポートブラケット Toro P/N 131-3703-03の穴を、センターブームエクステンションの穴ステップ 2 で探し出した穴に合わせるブラケットの広いフランジが左側になるように合わせることを 図 150 を参照。
4. サポートブラケットをトラスフレームに固定する 図 150 フランジヘッドボルト 3/8" x 1 1/4", Toro P/N 110-50504本、フランジロックナット 3/8", Toro P/N 104-83014個を使用する。
5. 残りの2組の穴についても、ステップ 2-4 を行い、さらに、もう一方のサポートブラケット、フランジヘッドボルト、フランジロックナットについても同様に作業を行う。
6. ボルトとナットを 37-45 N·m 9.3-11.5 kg·m = 27-33ft·lb にトルク締めする。

センターブーム用カバーを取り付ける

1. センターブームカバーの穴を、サポートブラケットにある取り付け用の穴に合わせる [図 151](#)。

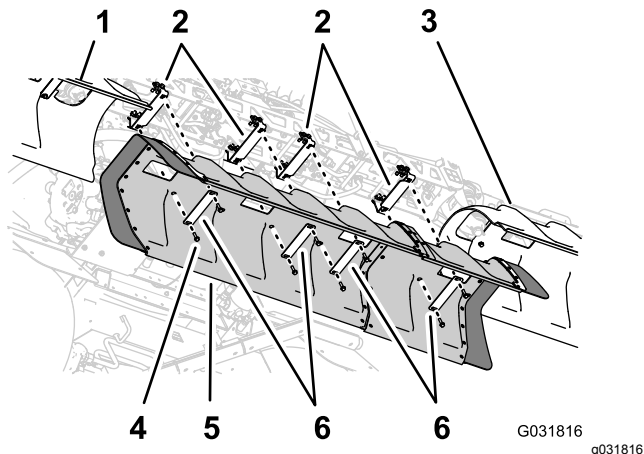


図 151

1. 左側ブームカバー
 2. サポートブラケット
 3. 右側ブームカバー
 4. フランジヘッドボルト 5/16" x 1¼"
 5. 中央ブームカバー
 6. カバーストラップ
2. ステップ 16 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 18) で取り外した2本のカバーストラップの穴を、ゴム製カバーと補強版1列穴の穴を、カバーエクステンションの穴に合わせる [図 151](#)。
 3. カバーストラップとカバーを、サポートブラケットに取り付けるステップ 16 カバー付きブームキットオプションのセンターセクションカバー11ノズルを外す (ページ 18) で取り外したフランジヘッドボルト 5/16" x 1¼" 4本を使用する。
 4. 2本のカバーストラップ Toro P/N 120-0629 の穴を、カバーにある残り4つの穴とサポートブラケットにある残り4つの穴に合わせる [図 151](#)。
 5. カバーストラップとカバーを、サポートブラケットに取り付ける [図 151](#) フランジヘッドボルト 5/16" x 1¼", Toro P/N 323-364 本を使用する。
 6. ボルトを 1978-2542 N·cm 3.1-3.8 kg·m = 175-225 in·lb にトルク締めする。

29

ナビゲーション受信機を取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	受けプレート
1	スペーサ ¾" x 1"
1	受信機用マウント
1	ボルト ¾" x 3¼"
1	ロックワッシャ ¾"
1	ワッシャ ¾" x 13/16"
1	フランジロックナット ¾"
1	フランジヘッドボルト 5/16" x ¾"
1	フランジロックナット 5/16"
2	フランジヘッドボルト (¾" x 1½")
2	スペーサ ¾" x 7/16"
1	ナビゲーション受信機 X25 ジオリンク高精度散布システムキット、ベース、WAAS モデル 41630
3	六角ヘッドボルト 5 x 16mm
3	ワッシャ 5mm
1	バルクヘッドアダプタオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット
1	携帯電話アンテナオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット
1	同軸ケーブルオプションの CDMA RTK 修正モデムキットまたは GSM RTK 修正モデムキット

受信機用マウントを組み立てる

1. ナビゲーション受信機プレート穴、スペーサ ¾" x 1"、受信機マウントの穴を揃える [図 152](#)。

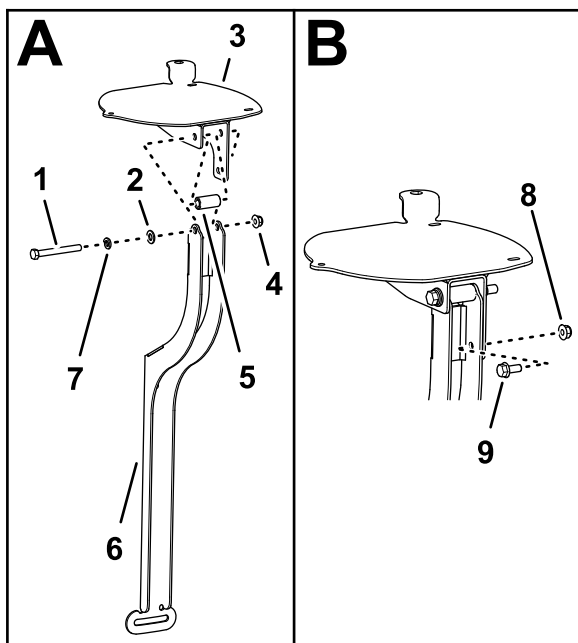


図 152

g200645

- | | |
|---|--|
| 1. ボルト $\frac{3}{8}$ " x $3\frac{1}{4}$ " | 6. 受信機用マウント |
| 2. ワッシャ $\frac{3}{8}$ " x $13/16$ " | 7. ロックワッシャ $\frac{3}{8}$ " |
| 3. ナビゲーション受信機プレート | 8. フランジロックナット $5/16$ " |
| 4. フランジロックナット $\frac{3}{8}$ " | 9. フランジヘッドボルト $5/16$ " x $\frac{3}{4}$ " |
| 5. スペーサ $\frac{3}{8}$ " x 1" | |

- 図 152 のように、受信機プレートとスペーサをマウントに取り付けるボルト $\frac{3}{8}$ " x $3\frac{1}{4}$ "、ロックワッシャ $\frac{3}{8}$ "、ワッシャ $\frac{3}{8}$ " x $13/16$ "、フランジナット $\frac{3}{8}$ " を使用する。
- 受信機マウントの小さい方の穴と受信機プレートのスロットに、フランジヘッドボルト $5/16$ " x $\frac{3}{4}$ " を通し、フランジロックナットを取り付ける 図 152。
- 受信機プレートを少し抵抗があるが回せる程度にボルトとナットを締め付ける。

受信機マウントを車両に取り付ける

- 受信機マウントとスペーサ $\frac{3}{8}$ " x $7/16$ " を ROPS に取り付けるフランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ " x $1\frac{1}{2}$ " で 図 153 のように取り付ける。

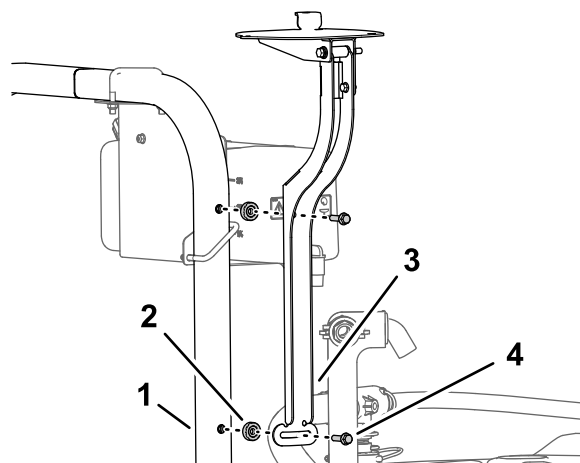


図 153

g200669

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. ROPS | 3. 受信機用マウント |
| 2. スペーサ $\frac{3}{8}$ " x $7/16$ " | 4. フランジヘッドボルト ($\frac{3}{8}$ " x $1\frac{1}{2}$ ") |

- 受信機プレートを少し抵抗があるが回せる程度にボルトを締め付ける。
- 受信機プレートを左右水平にする 図 154。

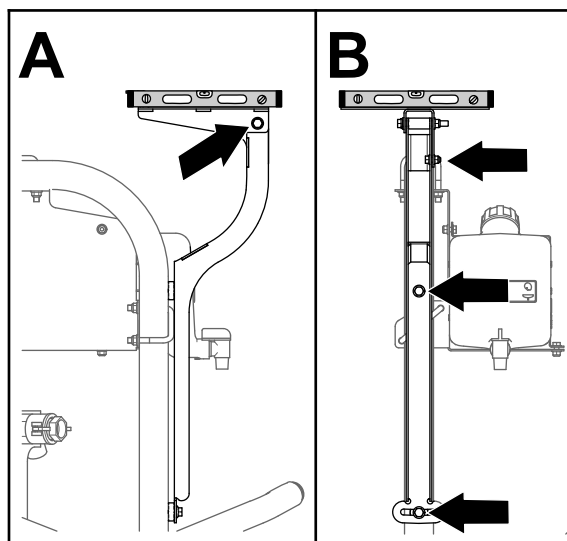


図 154

g200675

- フランジヘッドボルト $5/16$ " x $\frac{3}{4}$ " とフランジロックナット $5/16$ " を 19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg·m = 175-225 in·lb にトルク締めする。
- 受信機プレートを前後水平にする 図 154。
- ボルト $\frac{3}{8}$ " x $3\frac{1}{4}$ " とフランジロックナット $\frac{3}{8}$ " を 37-45 N·m 3.7-4.6 kg·m = 27-33 ft·lb にトルク締めする。

ナビゲーション受信機を受信機プレートに組み付ける

1. 受信機底部の3本のねじ部を、マウントの3つの穴に合わせる [図 155](#)。

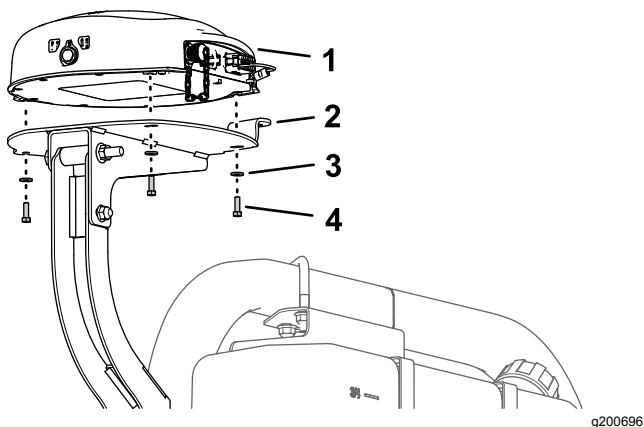


図 155

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. ナビゲーション受信機 | 3. ワッシャ5mm |
| 2. 受けプレート | 4. 六角ヘッドボルト5 x 16mm |

2. 受信機をマウント荷台に固定する [図 155](#) 六角ヘッドボルト5 x 16mm3本と、ワッシャ5 x 16mm3枚を使用する。
3. ボルト3本を 576-712 N·cm 0.6-0.7 kg.m = 51-63 in-lb にトルク締めする。

ナビゲーション受信機に RTK アンテナを取り付ける

注 CDMA RTK または GSM RTK 修正モデムを搭載している車両では、RTKを取り付けます。

1. 同軸カップラのねじ部分を下に向けて RTK アンテナ用フランジの開口部に通す [図 156](#)。

注 同軸ケーブルコネクタのねじの平たい部分をフランジの開口部の平たい部分に合わせて入れてください。

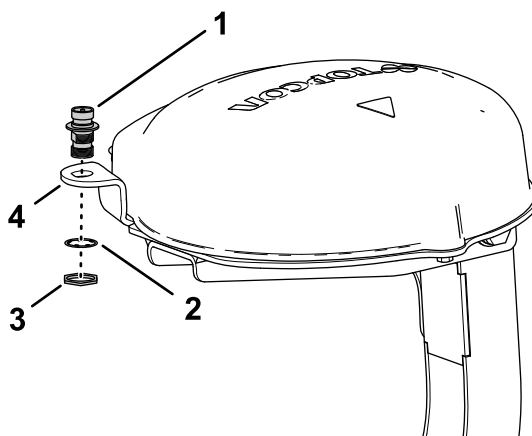


図 156

- | | |
|------------|-------------------------|
| 1. 同軸カップラ | 3. ジャムナット |
| 2. ロックワッシャ | 4. RTK アンテナのフランジ受信機プレート |

2. ロックワッシャとジャムナットで同軸カップラを受信機プレートのフランジに組み付け、ジャムナットを手締めする [図 156](#)。
3. 同軸カップラの上側フィッティングに RTK アンテナを組み付け、アンテナに付いているナットを手締めする [図 157](#)。

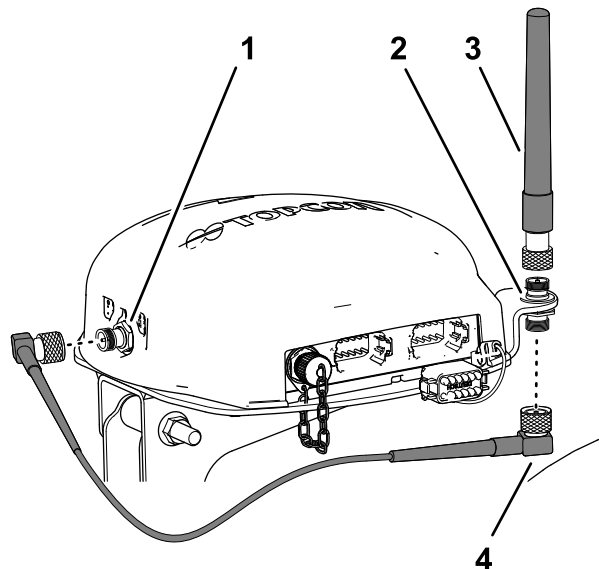


図 157

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 1. 同軸コネクタCDMA または GSM 携帯電話用モデム | 3. RTK アンテナ |
| 2. 同軸カップラ | 4. アンテナケーブル |

4. 同軸カップラの下側フィッティングにアンテナ線を仮留めする [図 157](#)。
5. ケーブルを、ナビゲーション受信機の後ろを通して、CDMA または GSM 携帯電話用モデムの同軸コネクタまで導く [図 157](#)。
6. アンテナ線を、同軸コネクタCDMA または GSM 携帯電話用モデムに接続する [図 157](#)。

7. アンテナ線のナットを手締めする。

30

スプレーヤのモニタを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	モニタマウント
3	フランジヘッドボルト 6 x 12 mm
2	ボルト 5/16"
8	フランジロックナット 5/16"
1	ボールマウント
4	フランジヘッドボルト 5/16" x 3/4"
1	モニタX25 ジョーリンク高精度散布システムキット、ベース、WAASモデル 41630
1	モニタアームX25 ジョーリンク高精度散布システムキット、ベース、WAASモデル 41630

ハンドルを取り外す

1. ハンドル軸上のハンドルの位置にテープでマーキングする [図 158](#)。

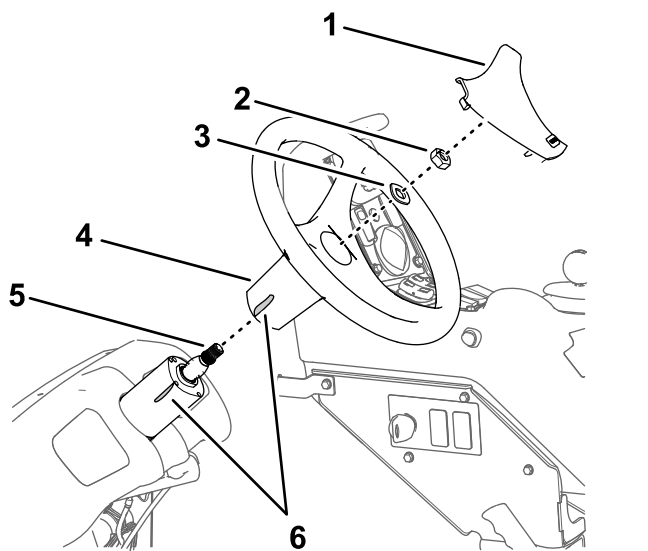


図 158

g201190

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. ハンドルのカバー | 4. ハンドル |
| 2. ナット 5/8" | 5. シャフトステアリングバルブ |
| 3. ワッシャ 5/8" | 6. テープ |

2. ハンドルのカバーを外す [図 158](#)。
3. ハンドルをステアリングバルブに固定しているナット 5/8" とワッシャ 5/8" を外してハンドルを取り外す [図 158](#)。

モニタマウントを取り付ける

1. [図 159](#) に示すようにモニタマウントを配置する。

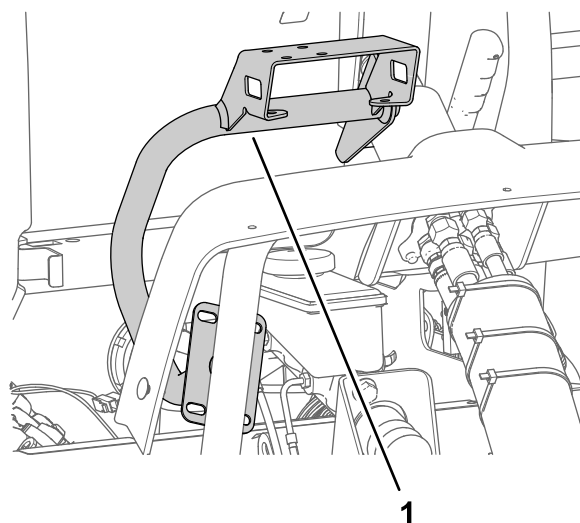


図 159

g201211

1. モニタマウント
2. モニタマウントをステアリングバルブのハウジングに取り付ける [図 160](#) フランジヘッドボルト 6 x 12mm 3本を使用する。

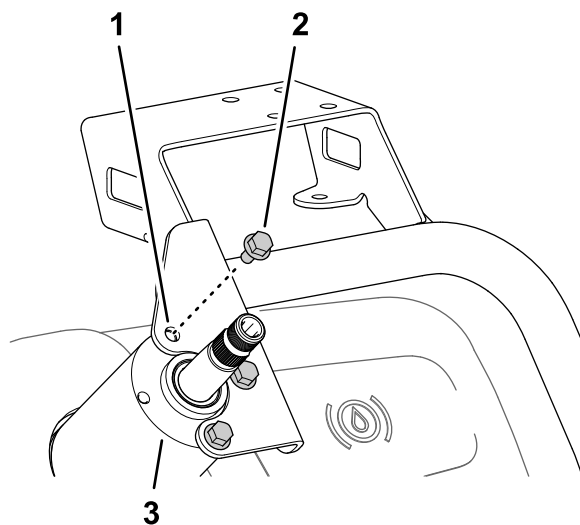


図 160

g201179

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. モニタマウント | 3. ハウジングステアリングバルブ |
| 2. フランジヘッドボルト 6 x 12 mm | |
3. モニタマウントのプレートを車両のシャーシのサポートチューブに取り付ける [図 161](#) Uボルト 2本とフランジロックナット 5/16" 4 個を使用する。

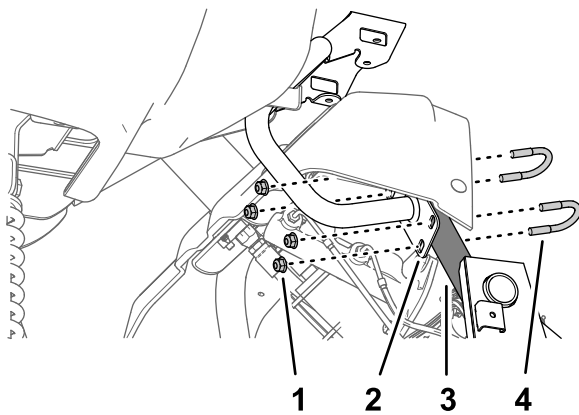


図 161

g201180

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. フランジロックナット5/16" | 3. サポートチューブ車両のシャーシ |
| 2. プレートモニタマウント) | 4. ボルト5/16" |

4. ステアリングバルブの所のフランジヘッドボルト6 x 12 mm 3本を 9.72-11.98 N·m (1.0-1.2 kg.m = 86-106 in-lb) にトルク締め、サポートチューブのところのフランジロックナットを 19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lb にトルク締める。

ハンドルを取り付ける

1. ハンドルに付けておいたテープマークを、ステアリングバルブのハウジングについているテールマークに合わせる 図 162。

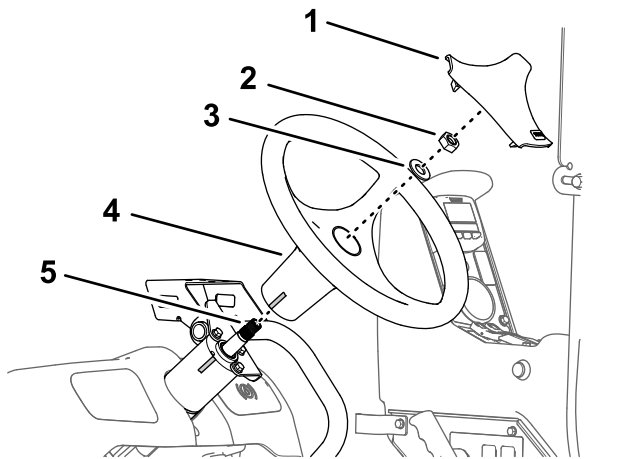


図 162

g201184

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. ハンドルのカバー | 4. ハンドル |
| 2. ナット $\frac{5}{8}$ " | 5. シャフトステアリングバルブ |
| 3. ワッシャ $\frac{5}{8}$ " | |

2. ハンドルを、ステアリングバルブのシャフトに取り付ける 図 162 ステップ 3 **ハンドルを取り外す (ページ 71)** で取り外したワッシャ $\frac{5}{8}$ " とナット $\frac{5}{8}$ " を使用する。
3. ナットを 206-254 N·m 9.3-11.5 kg.m = 152-188 ft-lb にトルク締める。

4. ステップ 2 **ハンドルを取り外す (ページ 71)** で外したカバーを、ハンドルに取り付ける 図 168。

散布モニタをマウントに取り付ける

1. ボールマウントをモニタマウント用ブラケットに組み付ける 図 163 フランジヘッドボルト 5/16" x $\frac{3}{4}$ " 4本とフランジロックナット 5/16" 4個を使用する。

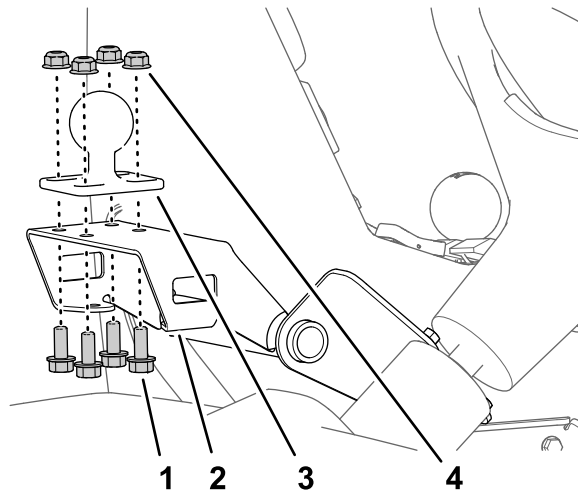


図 163

g201181

- | | |
|--------------------------------------|--------------------|
| 1. ブラケットモニタマウント) | 3. ボールマウント |
| 2. フランジヘッドボルト5/16" x $\frac{3}{4}$ " | 4. フランジロックナット5/16" |

2. ボルトとナットを 19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lb にトルク締める。
3. モニタのボールフィッティングと車体のボールマウントを、モニタアームにセットする 図 164。

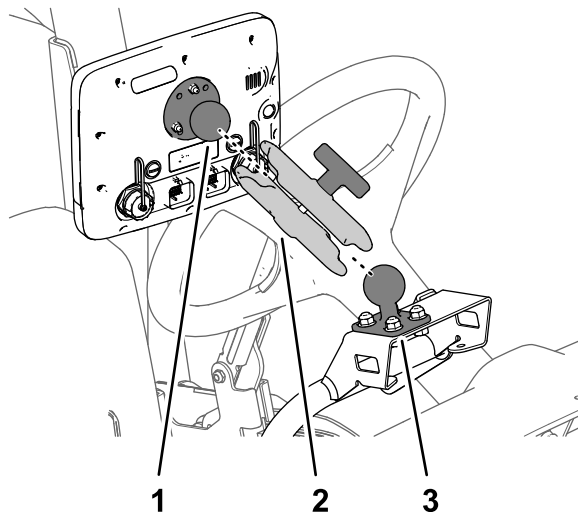


図 164

g201183

- | | |
|------------------|------------|
| 1. ボールフィッティングモニタ | 3. ボールマウント |
| 2. モニタアーム | |

- オペレータが着席した状態でモニタを見ることができるようモニタの角度を調整し、モニターアームのノブを手締めする [図 164](#)。

31

スプレーポンプクラッチの配線を行う

必要なパーツはありません。

手順

- 車両用ワイヤハーネスのうち、SPRAY PUMP COIL というラベルのついた 2 ソケットコネクタを、オルタネータの 2 ピンコネクタから外す [図 165](#)。

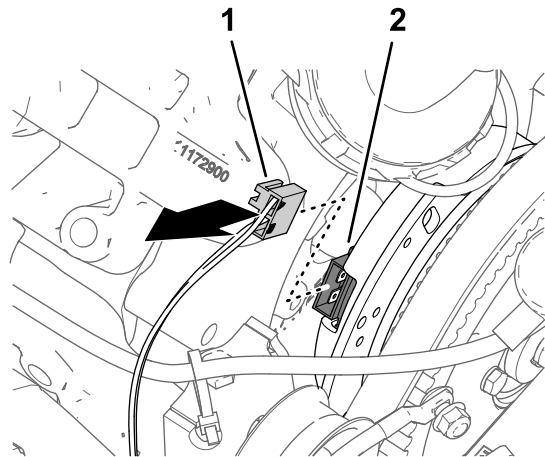


図 165

g198155

- 2 ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス PUMP CLUTCH
- 2 ピンコネクタオルタネータ

- キットのハーネスの枝線についている 2 ピンコネクタ 84cm の長さで PUMP CLUTCH というラベルがついているものを車両のワイヤハーネスの SPRAY PUMP COIL というラベルがついている 2 ソケットコネクタに接続する [図 166](#)。

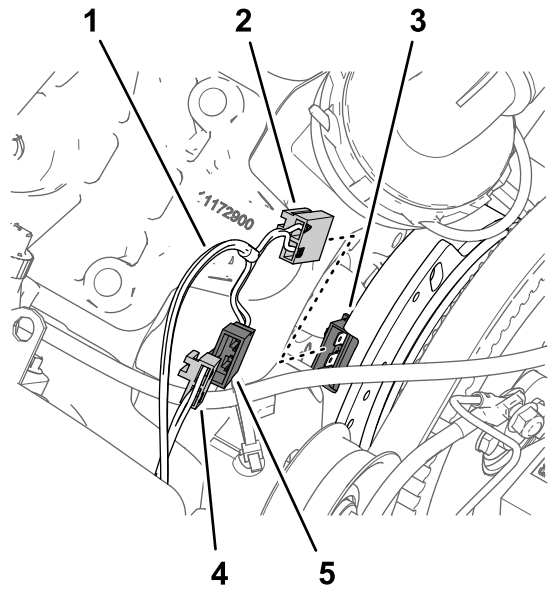


図 166

g198144

- キットのワイヤハーネスの枝線 84cm
- 2 ソケットコネクタキットのワイヤハーネス PUMP CLUTCH
- 2 ピンコネクタオルタネータ
- 2 ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス SPRAY PUMP COIL
- 2 ピンコネクタキットのワイヤハーネス PUMP CLUTCH

- キットのワイヤハーネスのうち、PUMP CLUTCH というラベルのついた 2 ソケットコネクタを、オルタネータの 2 ピンコネクタに接続する [図 166](#)。
- ワイヤハーネスの枝線 84cm を、エンジンと散布用ポンプに向けて配線する。オルタネータベルトから十分に離して配線すること [図 167](#)。

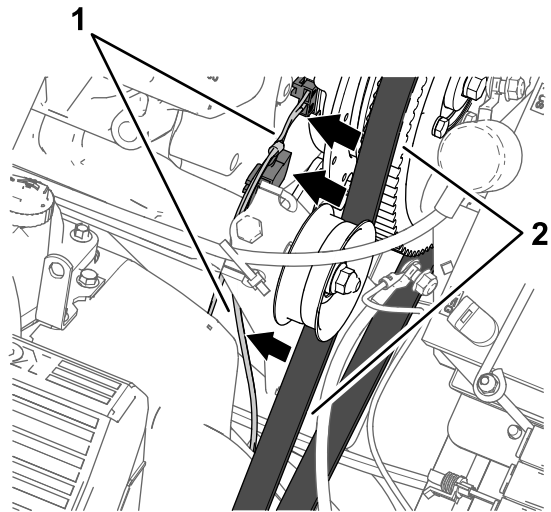


図 167

g198156

- ワイヤハーネスの枝線 84cm
- オルタネータベルト

32

散布用の電装機器を取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バッテリー用ブラケット
1	ボルト5/16" x 1¾"
1	ワッシャ5/16"
1	バッテリー (540A)
1	バッテリーリテーナ
1	フランジロックナット5/16"
1	オルタネータ用ブラケット
1	駆動プーリ279mm
4	ボルト¼" x 2¼"
4	ロックワッシャ¼"
1	オルタネータ60A
1	フランジヘッドボルト 8 x 25 mm
1	フランジヘッドボルト (⅝" x 1½")
1	V ベルト

バッテリー300Aとバッテリーブラケットを取り外す

1. バッテリーを車体のバッテリーブラケットに固定しているJボルトから、フランジロックナットと押さえ棒を取り外す [図 168](#)。

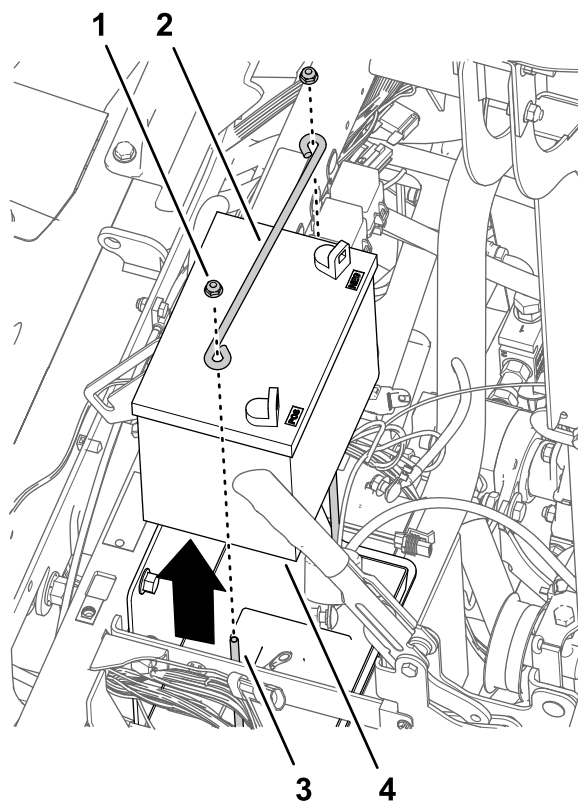


図 168

g201188

1. フランジロックナット¼"
2. 押さえ棒
3. Jボルト
4. バッテリー (300A)

2. 機体からバッテリーを外す [図 168](#)。

注 外したフランジナット、押さえ棒、バッテリー300Aは廃棄して構いません。

3. ヒューズブロックをバッテリーブラケットに固定しているボルト10-24 x ¾"とナット 10-24を取り外す [図 169](#)。

注 外したボルト10-24 x ¾"とナット 10-24は [バッテリーブラケットとバッテリー540Aを取り付ける \(ページ 75\)](#)で使用します。

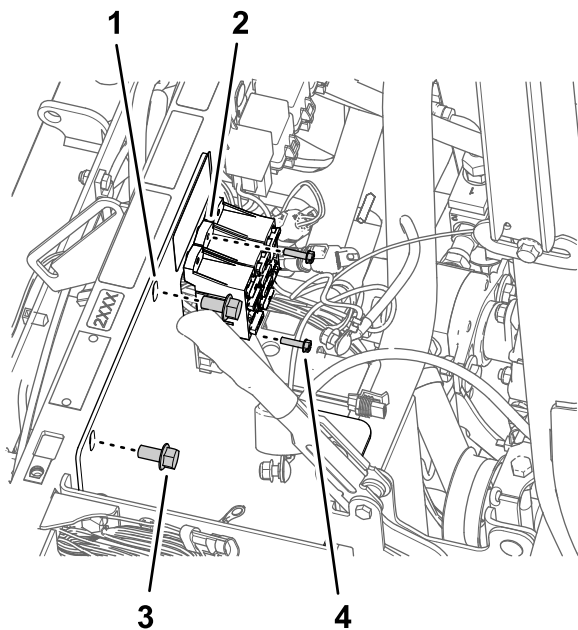


図 169

g201185

- | | |
|-------------|---|
| 1. 押さえ棒 | 3. フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ " x $\frac{3}{4}$ " |
| 2. ヒューズブロック | 4. ボルト10-24 x $\frac{3}{4}$ " |

4. バッテリーブラケットを車体のショックサポートチューブに固定しているフランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ " x $\frac{3}{4}$ "2本を取り外す 図 169。

注 フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ " x $\frac{3}{4}$ "は **バッテリーブラケットとバッテリー540A**を取り付ける (ページ75)で使用します。

5. バッテリーブラケットから、Jボルト2本とバッテリートレイを取り出す 図 170。

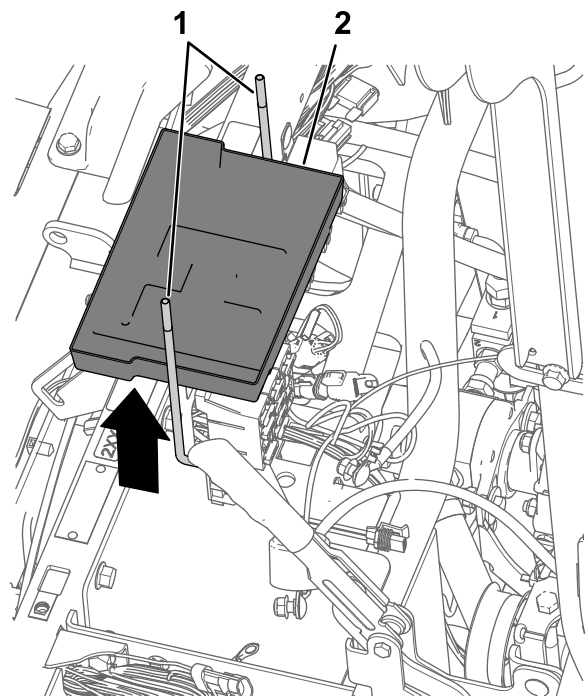


図 170

g201187

- | | |
|---------|-------------|
| 1. Jボルト | 2. バッテリートレイ |
|---------|-------------|

6. 車体からバッテリーブラケットを外す 図 171。

注 Jボルト、バッテリートレイ、バッテリーブラケットは廃棄して構いません。

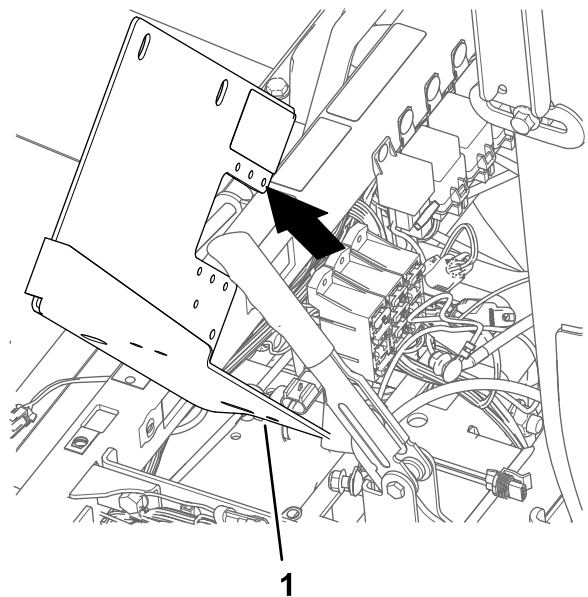


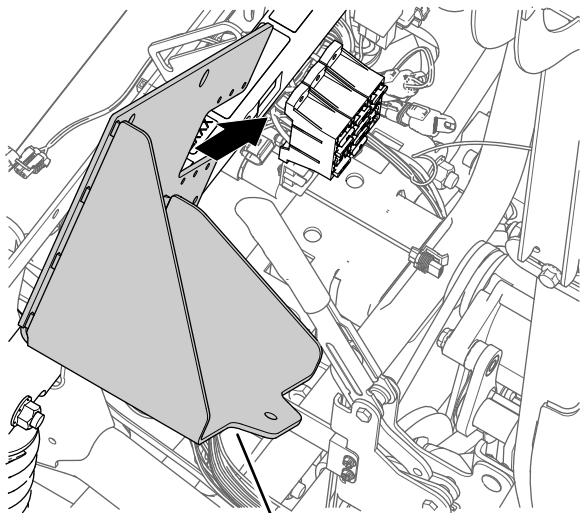
図 171

g201186

- | |
|----------------|
| 1. バッテリー用ブラケット |
|----------------|

バッテリーブラケットとバッテリー540Aを取り付ける

1. 新しいバッテリーブラケットを、車両のショックサポートチューブに合わせる 図 172。

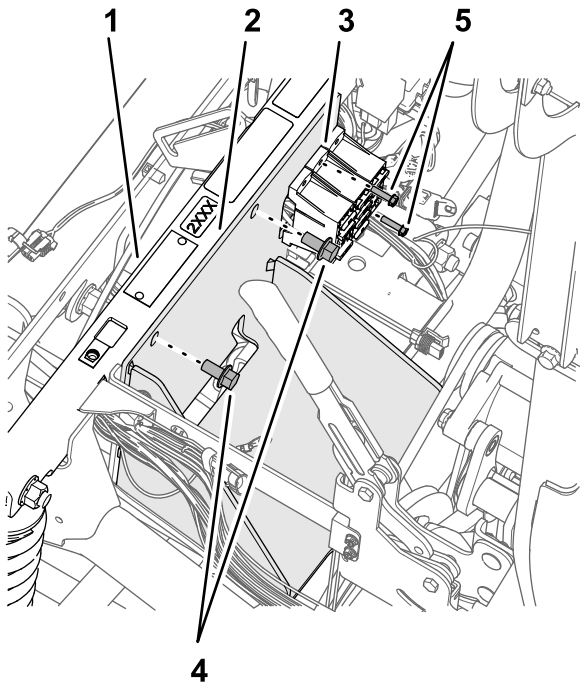


1
図 172

g201177

1. バッテリー用ブラケット

2. バッテリーブラケットをショックサポートチューブに組み付ける 図 173 ステップ 4 バッテリー300Aとバッテリーブラケットを取り外す (ページ 74)で外したフランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ " x $\frac{3}{4}$ "2本を使用する。



4
図 173

g201178

- | | |
|-----------------|---|
| 1. ショックサポートチューブ | 4. ボルト10-24 x $\frac{3}{4}$ " |
| 2. バッテリー用ブラケット | 5. フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ " x $\frac{3}{4}$ " |
| 3. ヒューズブロック | |

3. フランジヘッドボルトを 37-45 N·m (4.6-6.2 kg.m = 27-33 ft-lb)にトルク締めする。

4. ヒューズブロックをバッテリーブラケットに取り付ける 図 173 ステップ 3 バッテリー300Aとバッテリーブラケットを取り外す (ページ 74)で取り外したボルト10-24 x $\frac{3}{4}$ "とナット10-24を使用する。
5. バッテリーをバッテリーブラケットに固定するボルト $\frac{5}{16}$ " x $1\frac{3}{4}$ "ワッシャ $\frac{5}{16}$ "、バッテリーリテーナ、フランジロックナット $\frac{5}{16}$ "を使用して 図 174 のように取り付ける。

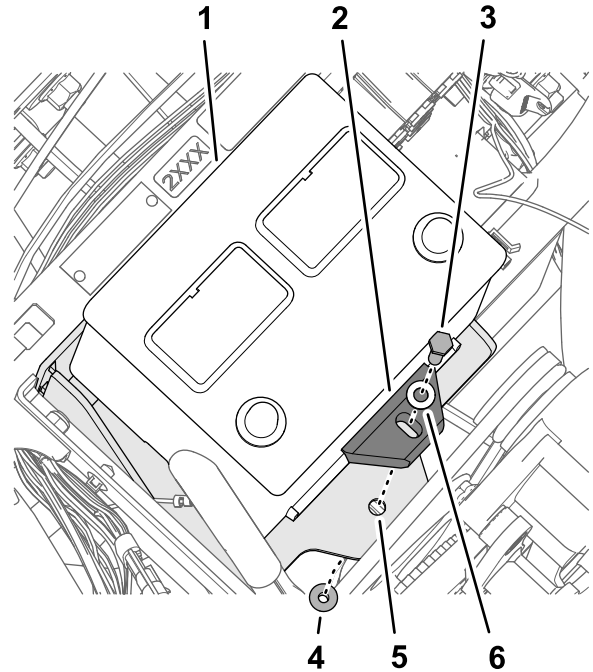


図 174

g201182

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1. バッテリー (540A) | 4. フランジロックナット $\frac{5}{16}$ " |
| 2. バッテリーリテーナ | 5. バッテリー用ブラケット |
| 3. ボルト $\frac{5}{16}$ " x $1\frac{3}{4}$ " | 6. ワッシャ $\frac{5}{16}$ " |

6. ボルトとナットを 19.78-25.42 N·m2.0-2.6 kg.m = 175-225 in-lbにトルク締めする。

オルタネータ用ブラケットを取り付ける

1. ポンプヘッドの 11 時の位置のところで、ボルト2本を 図 175 のようにゆるめて、ボルトの頭とポンプとの間に 7-10 mm の隙間を作る。

注 ボルトをポンプから外す必要はありません。

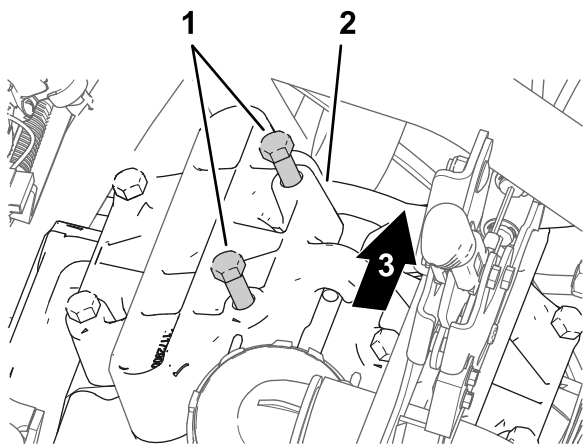


図 175

g201308

1. ボルトポンプヘッド
2. ポンプヘッド11時の位置
3. 機体後方

2. ステップ1でゆるめたボルトとポンプヘッドとの間に、オルタネータブラケットを配置する 図 176。

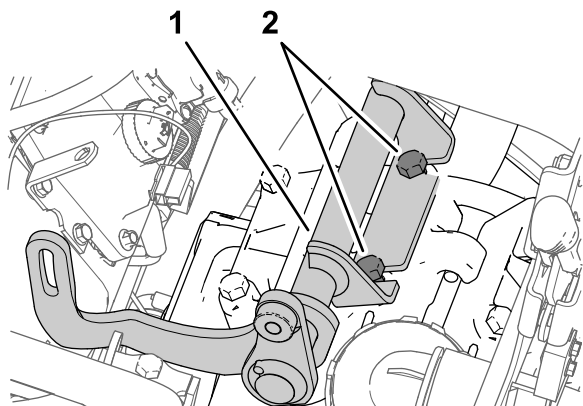


図 176

g201303

1. オルタネータ用ブラケット
2. ボルトポンプヘッド

3. ボルトを 61-75 N·m 6.2-7.6 kg·m = 45~55 ft·lb にトルク締めする。

駆動プーリを取り付ける

1. アイドラプーリのシャフトのナットをゆるめる 図 177。

注 ベルトに張力がかかっていないことを確認してください。

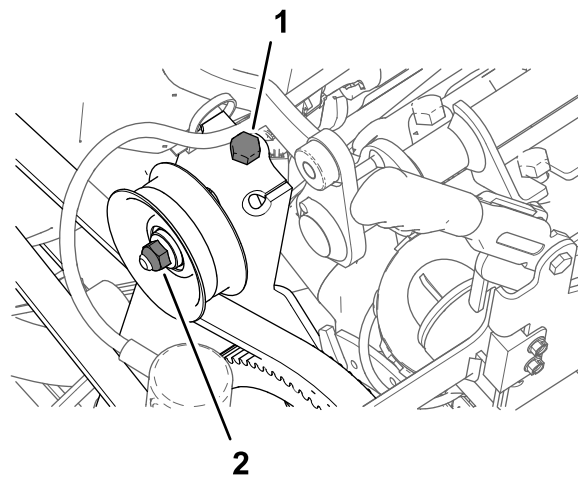


図 177

g201304

1. ベルトテンションボルト車両
2. ナットアイドルプーリのシャフト

2. ベルトテンションボルトをゆるめてポンプベルトの張りを完全になくす 図 177。
3. プーリを散布用ポンプに固定しているボルト 1/4 x 1" 4本とロックワッシャ 1/4" 4枚を取り外す 図 178。

重要 プーリは外さないでください。

注 外したボルトとロックワッシャは廃棄して構いません。

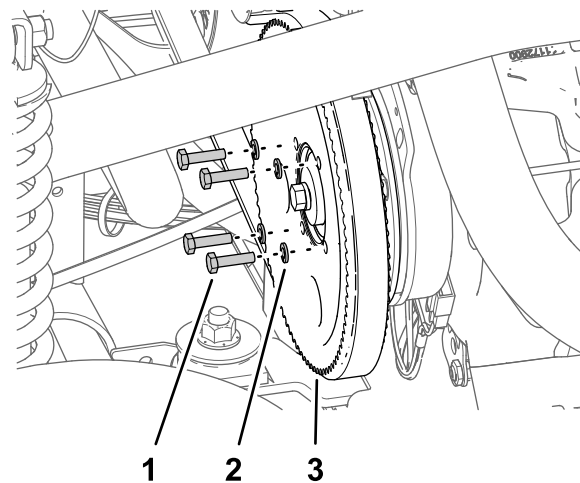
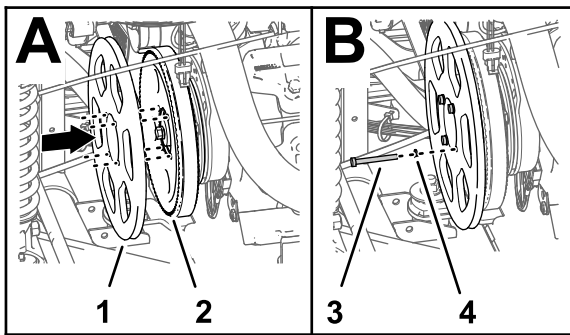


図 178

g201306

1. ボルト 1/4" x 1"
2. ロックワッシャ 1/4"
3. プーリ液剤ポンプ

4. オルタネータブラケットを用プーリキットの穴を、ポンプ用プーリの穴に合わせる 図 179。

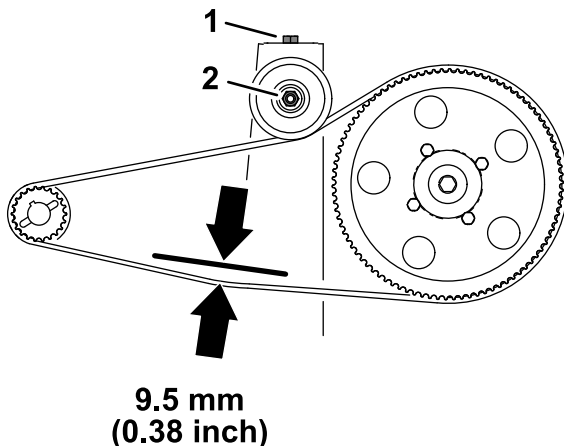


g201305

図 179

- | | |
|---------------|---|
| 1. 駆動プーリ279mm | 3. ボルト $\frac{1}{4}$ " x $2\frac{1}{4}$ " |
| 2. プーリ液剤ポンプ | 4. ロックワッシャ $\frac{1}{4}$ " |

- オルタネータブラケットを用プーリをポンプ用プーリに組み付けるボルト $\frac{1}{4}$ " x $2\frac{1}{4}$ "4本とロックワッシャ $\frac{1}{4}$ "4個を使用する。
- ボルトを 1017-1243 N·m 1.0-1.4 kg·m = 90-110 in-lb にトルク締めする。
- ベルトテンションボルトを回してベルトに張りを出すエンジンプロケットとポンププロケットとの間を 4.5kg の力で押したときに 9.5mm のたわみが出るように調整する。



g201360

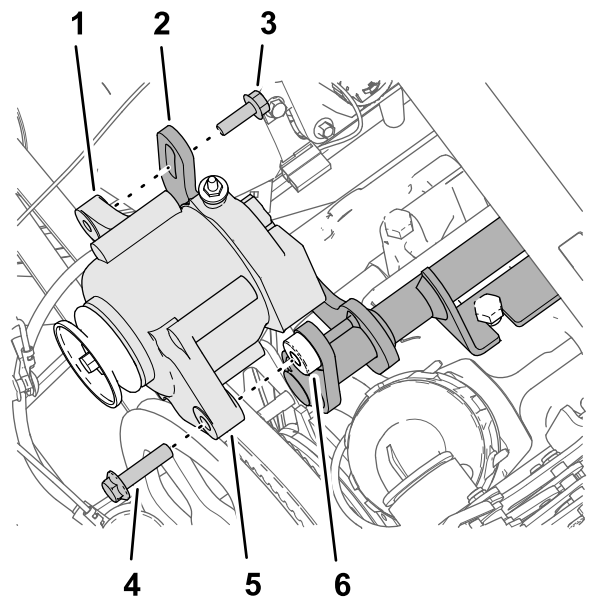
図 180

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. ベルトテンションボルト車両 | 2. ナットアイドルプーリのシャフト |
|------------------|--------------------|

- アイドルプーリのシャフトのナットを 37-44 N·m 5.3-6.6 kg·m = 27-33 ft-lb にトルク締めする。

オルタネータを取り付ける

- オルタネータ60Aを、オルタネータブラケットのねじ山付きボスに取り付ける図 181 フランジヘッドボルト $\frac{3}{8}$ " x $1\frac{1}{2}$ "を使用する。

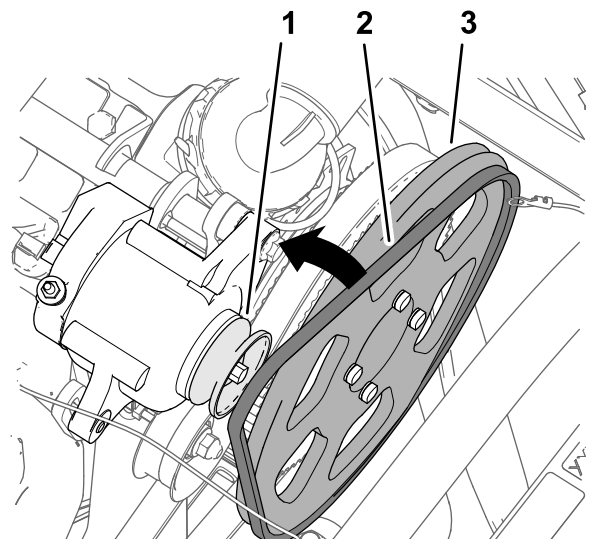


g201413

図 181

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. ねじ山付きフランジ8mm60A | 4. フランジヘッドボルト ($\frac{3}{8}$ " x $1\frac{1}{2}$ ") |
| 2. スロット付きフランジオルタネータ用ブラケット | 5. フランジ直径10mmの穴60A オルタネータ |
| 3. フランジヘッドボルト 8 x 25 mm | 6. ねじ山付きボス $\frac{3}{8}$ -16オルタネータ用ブラケット |

- オルタネータのねじ山付きフランジを、オルタネータブラケットスロット付きフランジに取り付ける図 181 フランジヘッドボルト 8 x 25mmを使用する。
- 駆動プーリとオルタネータのプーリにベルトを掛ける図 182。



g201412

図 182

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. プーリ60A オルタネータ | 3. 駆動プーリ279mm |
| 2. Vベルト | |

- オルタネータ図 183をずらしてベルトに張りを出すオルタネータのプーリと駆動プーリ279mmとの

間を 4.5kg の力で押したときに 9.5mm のたわみが出るように調整する。

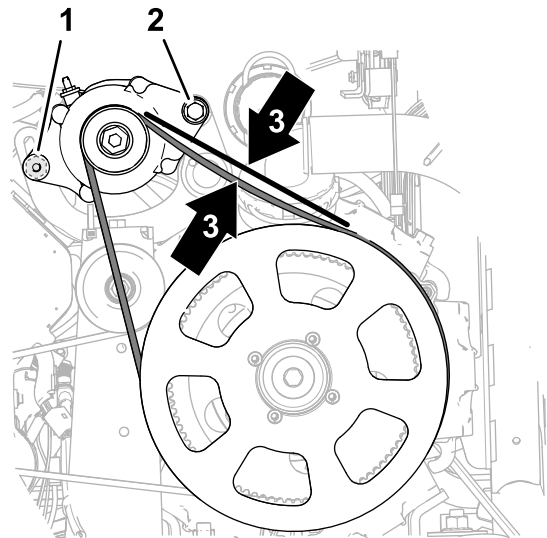


図 183

g201701

1. フランジヘッドボルト 8 x 25
 2. フランジヘッドボルト (3/8" x 1 1/2")
 3. ベルトのたわみ 9.5mm
-
5. フランジヘッドボルト 8 x 25 mm を 23-29 N·m 2.4-2.9 kg·m = 17-21 ft-lb にトルク締めする。
 6. フランジヘッドボルト 3/8" x 1 1/2" を 37-45 N·m 3.7-4.6 kg·m = 27-33 ft-lb にトルク締めする。

33

キットのワイヤハーネスをシートベースに接続する

この作業に必要なパーツ

1	リレー
1	プッシュインファスナー
1	ヒューズ (15 A)
1	ヒューズ (50 A)

オルタネータ50Aを接続する

1. キットのワイヤハーネスのうち、57cm のピンク線の端についている 2 ソケットコネクタ 図 184 を、オルタネータ50A の 2 ピンコネクタに接続する。

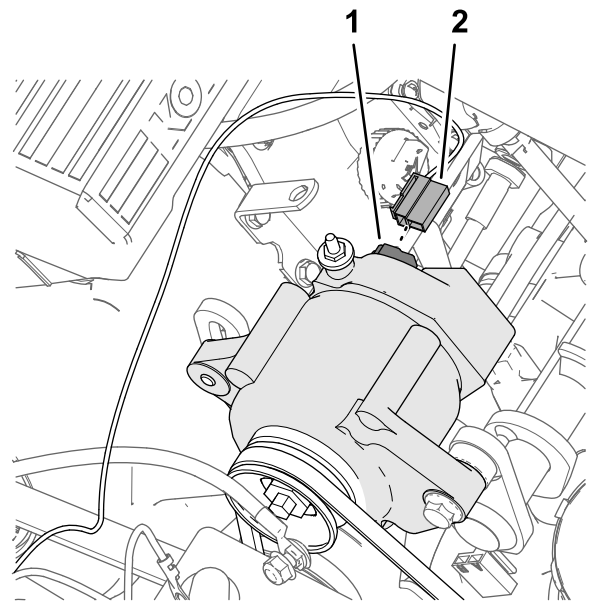


図 184

g202176

1. 2 ピンコネクタ50A オルタネータ
 2. 2 ソケットコネクタ検知ワイヤ、57cm
-
2. ピンクの検知線を、オルタネータベルトから十分に離して、ケーブルタイで固定する。
 3. オルタネータの端子 図 185 からナットを外す。

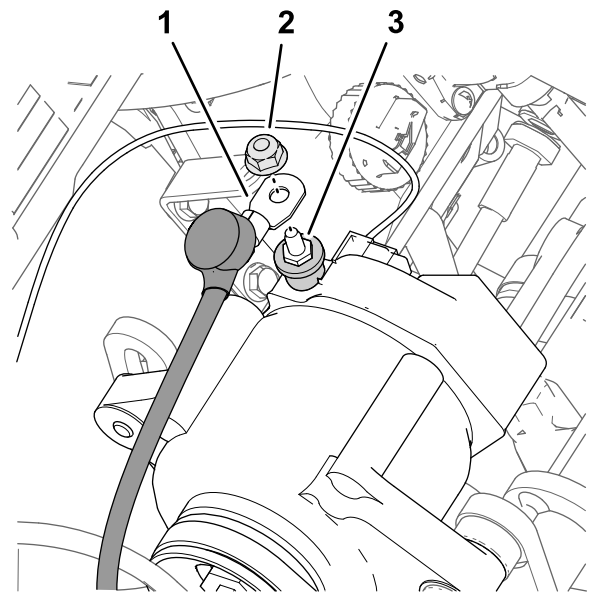


図 185

g202181

1. オルタネータのワイヤ赤、6ゲージ
 2. ナット
 3. ターミナル50A オルタネータ
-
4. オルタネータのワイヤ赤、6ゲージを、オルタネータ50Aの端子に、ナットで接続する 図 185。
 5. オルタネータの赤線を、バッテリー端子に導くプリーヤオルタネータから十分に離して配設すること。
 6. ナットを 47-57 N·m 9.3-11.5 kg·m = 34-42 ft-lb にトルク締めする。

- オルタネータの端子 図 185 に絶縁カバーを取り付ける。

ASC 10 動作リレーを接続する

- リレーの 5 ピンコネクタを、5 ソケットコネクタ 図 186 キットのワイヤハーネスのうち ASC 10 ENABLE RELAY というラベルのついているものに接続する。

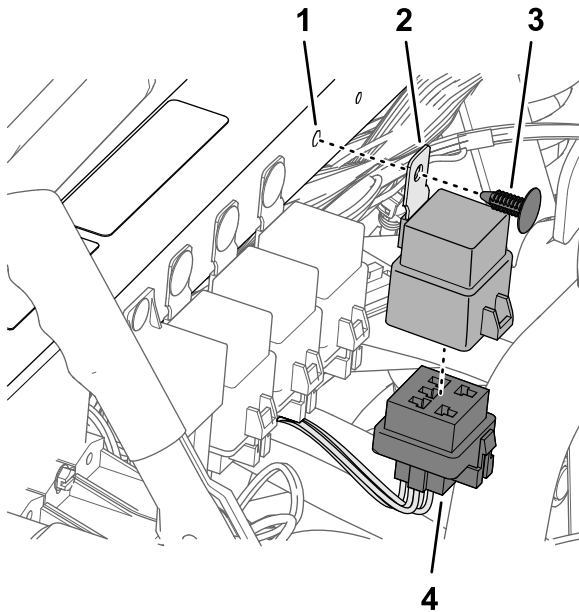


図 186

g202182

- 穴ショックサポートチューブ
- リレー
- プッシュインファスナー
- 5ソケットコネクタASC 10 ENABLE RELAY

- リレーの取り付けタブについている穴を、ショックサポートチューブの穴に合わせ、押し込みファスナーを使ってリレーをチューブに固定する 図 186。

ヒューズブロックを接続する

- マルチメータを、導通試験用にセットする。
- 車両のヒューズブロック 3 で、ヒューズソケット 2 のコンタクト 4 右列に 図 187 のようにマルチメータの検針を差し込む。

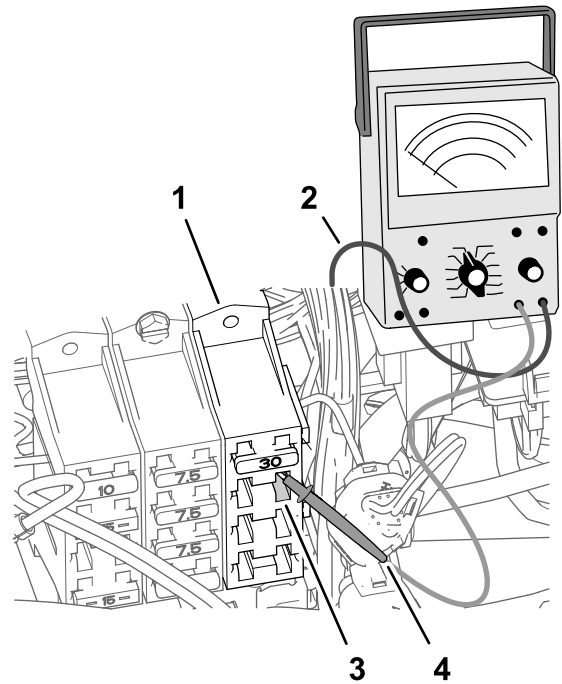


図 187

g202178

- ヒューズブロック 3 車両
 - マルチメータのリード線
 - ヒューズソケット 2 のコンタクト 4 右列
 - マルチメータの検針
-
- ヒューズブロックの表側で、マルチメータのもう一本の検針を使って、ヒューズソケット 2 のコンタクト 4 に導通している赤い 10 ゲージワイヤのブレードコネクタを探し出す。

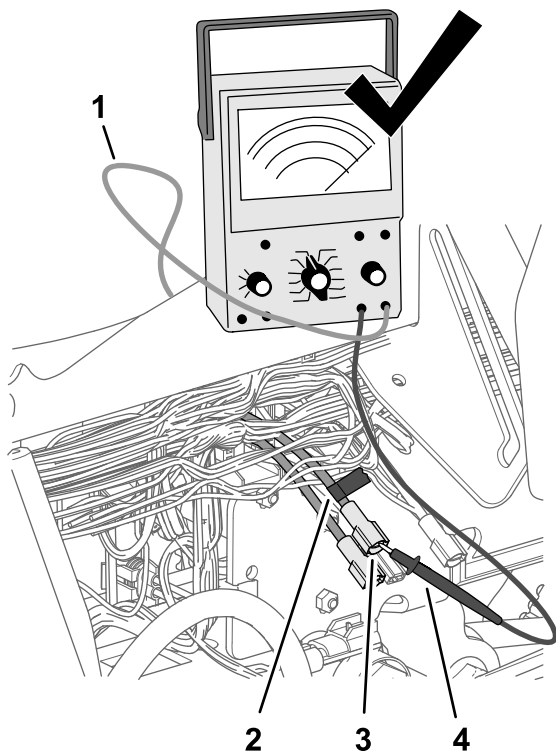


図 188

g202179

1. マルチメータのリード線
2. テープ
3. ブレードコネクタ赤い 10 ゲージワイヤ
4. マルチメータの検針

4. ステップ 3 図 188 で探し出したコネクタとその導線に、テープでマーキングする。
5. ステップ 4 でマーキングしたブレードコネクタを、キットのワイヤハーネスの 51mm ピンク線のソケットコネクタに接続する 図 189。

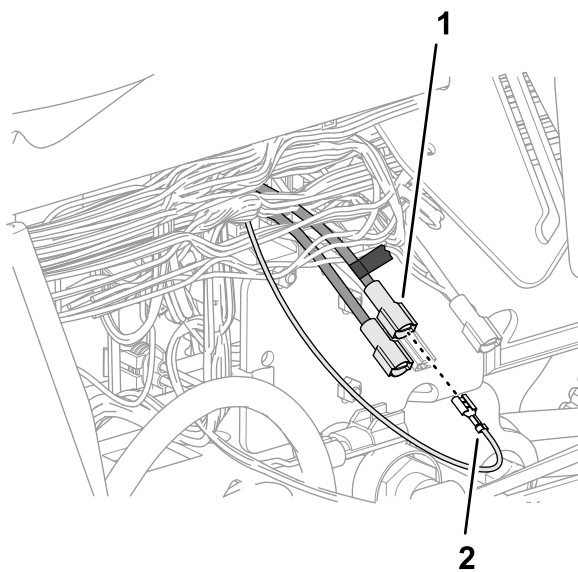


図 189

g202177

1. マーキングしたブレードコネクタ赤い 10 ゲージワイヤ
2. ソケットコネクタピンクのワイヤ、51mm

6. ヒューズブロック 3 で、ヒューズソケット 2 に、ヒューズ 15A を挿入して一番奥まで押し込む 図 190。

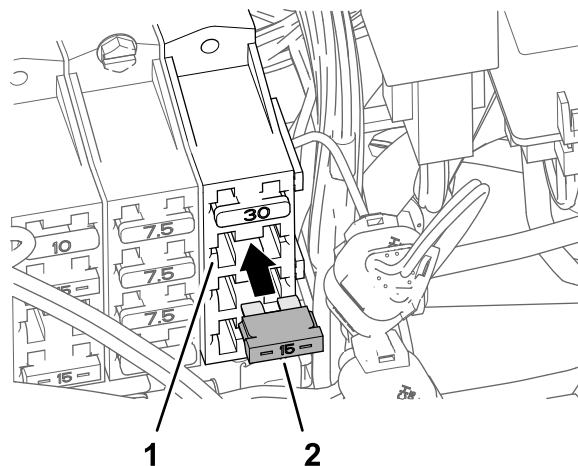


図 190

g202180

1. ヒューズソケット 2 ヒューズ
2. ヒューズ (15 A) ブロック 3

7. インラインヒューズブロックに、ヒューズ 50A を挿入して一番奥まで押し込む 図 191。

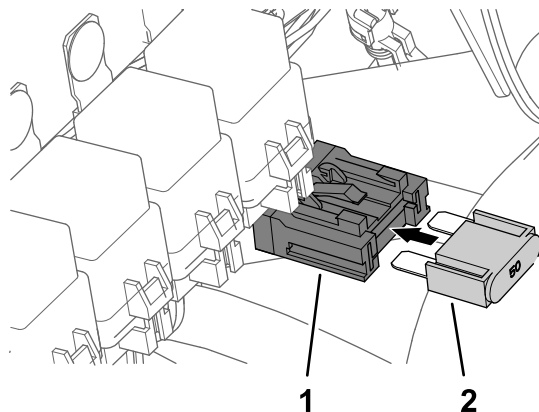


図 191

g202183

1. インラインヒューズブロック
2. ヒューズ (50 A)

34

ナビゲーション関係のワイヤハーネスを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	データ用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41630
1	バッテリー用ハーネスナビゲーションシステムジオリンク高精度散布システムキットモデル 41630
8	ケーブルタイ
1	クイックコネクタクランプ赤いハンドル
1	クイックコネクタクランプ黒いハンドル

ナビデータ用ハーネスと電装用ハーネスを相互に接続する

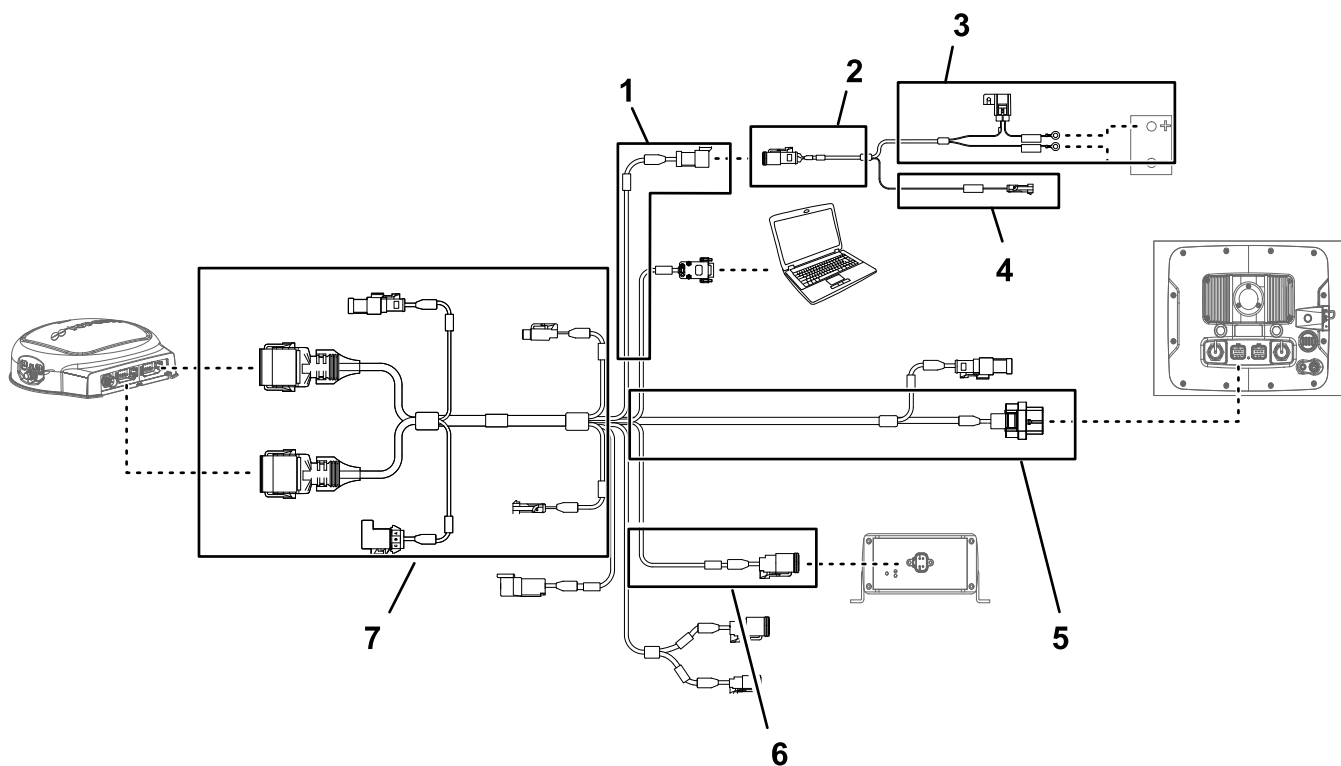


図 192

g203663

1. データ用ハーネスの 100cm の枝線電源
2. 100cm のバッテリーハーネス枝線
3. 220cm のバッテリーハーネス枝線
4. 100cm のバッテリーハーネス枝線スイッチ付き電源
5. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機
6. データ用ハーネスの 13cm の枝線キットのハーネスのインタフェース用
7. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニター

重要 データ用ハーネスには使用しないコネクタも含まれています。使用しないコネクタにはキャップやプラグを確実に嵌めておいてください。

ナビ用電装ハーネスの3ソケットコネクタ電源インタフェースを、データ用ハーネスの3ピンコネクタ電源インタフェースに接続する [図 192](#)。

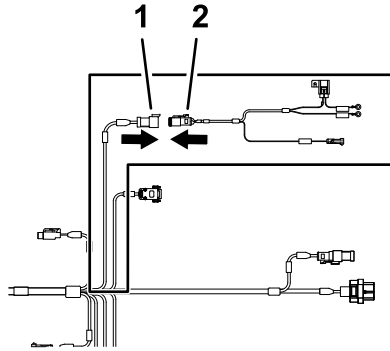


図 193

g202247

1. 3ピンコネクタデータ用ハーネス SYSTEM POWER SEPARATION
2. 3ソケットコネクタバッテリー用ハーネス電源インタフェース

データ用ケーブルをナビゲーション受信機に接続する

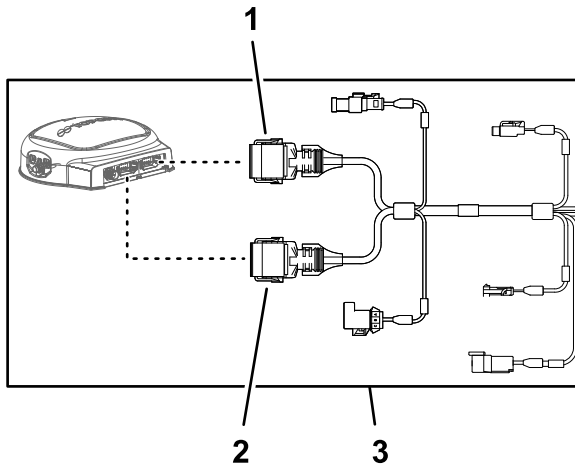


図 194

g203668

1. 12ソケットコネクタ 灰色 データ用ハーネス ナビゲーション受信機
2. 12ソケットコネクタ 黒色 データ用ハーネスナビゲーション受信機
3. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機

1. データハーネスの 390cm の枝線を、ROPS の左側の縦柱の裏側に沿って配設する。

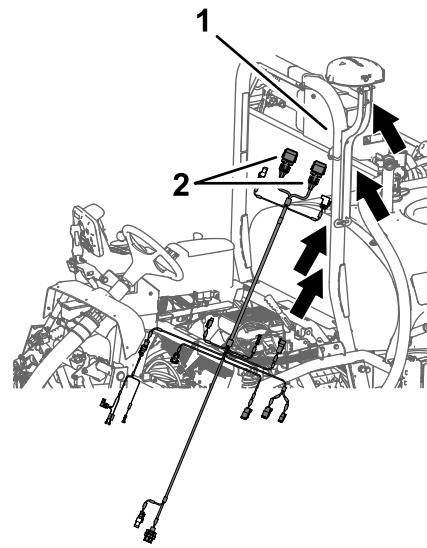


図 195

g202268

1. ROPS の左側の縦柱
2. 12ソケットコネクタデータ用ハーネスの 390cm 枝線

2. データ用ハーネスの 390cm の枝線を、ROPS 右側に沿って配設し、12ソケットコネクタ 灰色 と 12ソケットコネクタ 黒色 をナビゲーション受信機まで導く [図 196](#)。

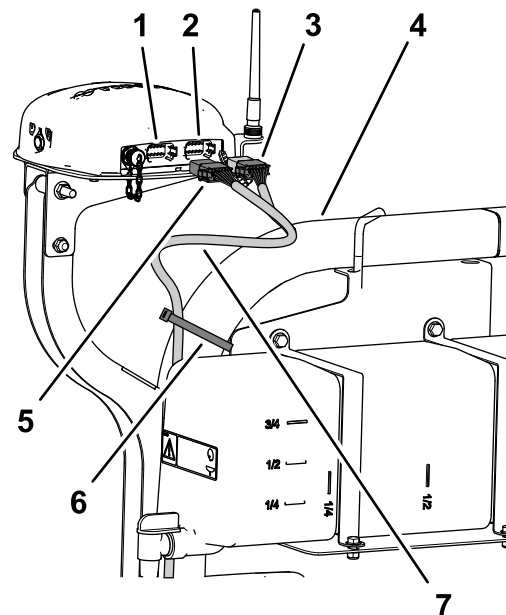


図 196

g202280

1. 12ピンコネクタ 左側灰色ナビゲーション受信機
2. 12ピンコネクタ 右側黒色ナビゲーション受信機
3. 12ソケットコネクタ 黒色 データ用ハーネス
4. ROPS バー
5. 12ソケットコネクタ 灰/黒 データ用ハーネス
6. ケーブルタイ
7. 390cm の枝線データ用ハーネス

3. 灰色と黒色の 12ソケットコネクタの長い方の側にある2本のキーを、ナビゲーション受信機の左側

灰色 12ピンコネクタの底部の水平面にある2本のスロットに合わせて接続する図 197。

注 ワイヤハーネスのコネクタに付いている整列キーは、特殊な形状をしており、ナビゲーション受信機のピンコネクタ以外には形状が一致しませんから、注意してください。

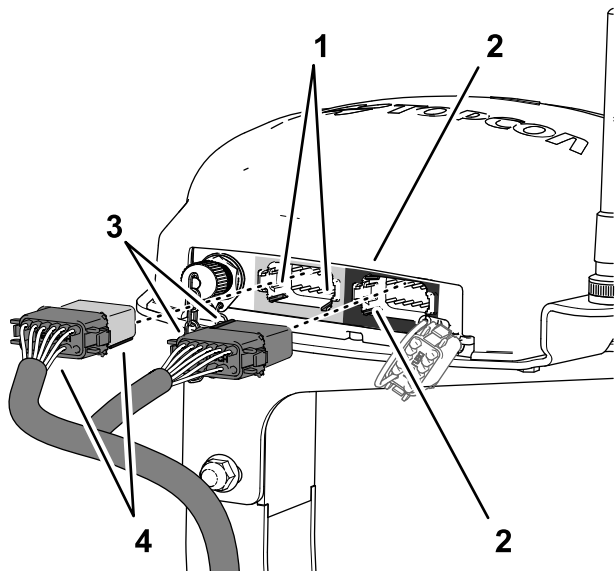


図 197

g202413

- | | |
|---|--|
| 1. キースロット底部水平壁左
灰色 12ピンコネクターナ
ビゲーション受信機 | 3. 整列キー短い黒色 12ソ
ケットコネクタ、データ用
ハーネス |
| 2. キースロット左側垂直壁右
黒色 12ピンコネクターナ
ビゲーション受信機 | 4. 整列キー長い灰/黒 12ソ
ケットコネクタ、データ用
ハーネス |

- データ用ハーネスの灰色と黒色の12ソケットコネクタを、ナビゲーション受信機の左側灰色12ピンコネクタに接続する。カチッと音がしてロックするまで押し込むこと図 197。
- データ用ハーネスの黒色の12ソケットコネクタの短い側にある2本の整列キーを、ナビゲーション受信機の右側黒色12ピンコネクタにある2本のスロットに合わせて接続する図 197。

注 ワイヤハーネスのコネクタに付いている整列キーは、特殊な形状をしており、ナビゲーション受信機のピンコネクタ以外には形状が一致しませんから、注意してください。

- データ用ハーネスの灰色と黒色の12ソケットコネクタを、ナビゲーション受信機の左側灰色12ピンコネクタに接続する。カチッと音がしてロックするまで確実に押し込むこと図 197。
- 図 196 のように、ケーブルタイ2本を使って、データ用ハーネスの390cm 枝線を右側 ROPS チューブに固定する。

注 12ソケットとケーブルタイとの間のケーブルに少したるみを持たせてください。

車体の右側にナビゲーション用ハーネスを配設ける

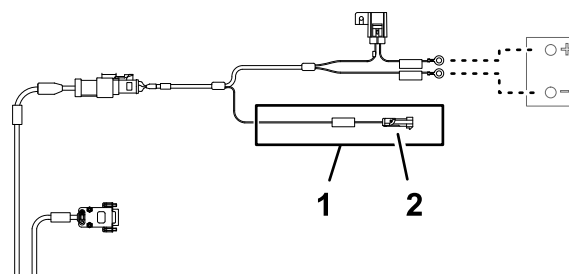


図 198

g203670

- 1ピンコネクタ相互接続枝線***重要***この線は、スイッチ付き12V電源にのみ接続する
- 100cmのバッテリーハーネス枝線スイッチ付き電源

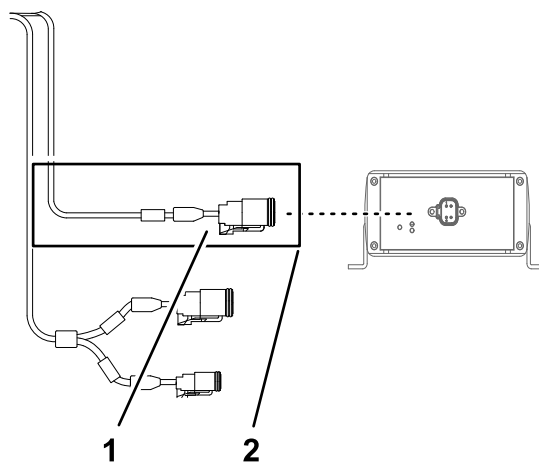


図 199

g203666

- 4ピンコネクタCAN 2/ASC
- データ用ハーネスの13cmの枝線キットのハーネスのインタフェース用

- このデータハーネスとバッテリーハーネスを、ROPSの左側の柱に沿っておろし、座席サポートのクロス部材へ配設する図 200。

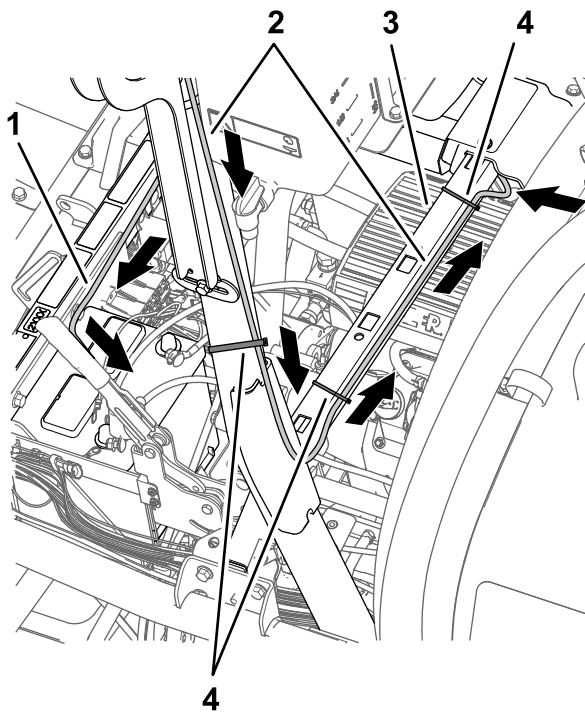
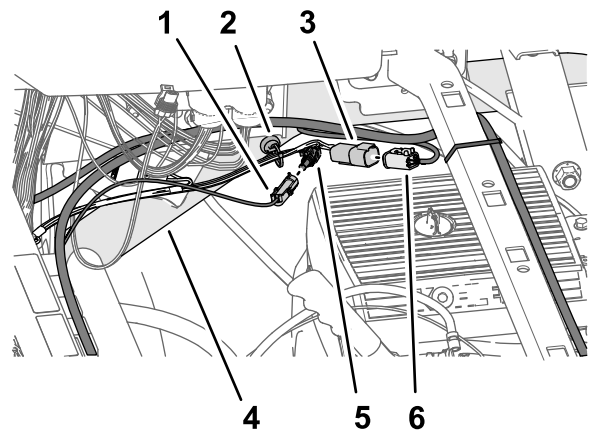


図 200

g202521

1. バッテリーハーネスの 220cm の枝線 100cm の相互接続枝線スイッチ付き電線と一緒に配設しないこと
2. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機
3. クロス部材座席サポート
4. ケーブルタイ

2. 図 200 に示すように、ナビゲーション受信機用の 390 cm のデータハーネスを、ROPS に固定する。
3. バッテリーハーネスのうち、***IMPORTANT*** ONLY CONNECT THIS WIRE TO SWITCHED 12V POWER SOURCE というラベルの付いた 1 ソケットコネクタを、キットのワイヤハーネスの 66cm 枝線 図 201 SW'D PWR FOR GEN 2 TOPCON というラベルの 1 ソケットコネクタに接続する。



g202588

図 201

1. 1 ピンコネクタバッテリーハーネスの枝線
IMPORTANT ONLY CONNECT THIS WIRE TO SWITCHED 12V POWER SOURCE
2. 磁石式のハーネスアンカー
3. 4 ピンコネクタキットのハーネスの 61cm 枝線 ASC 10 PWR & CAN FROM X30
4. 右上フレームチューブ
5. 1 ソケットコネクタハーネスの 66cm 枝線 SW'D PWR FOR GEN 2 TOPCON
6. 4 ソケットコネクタデータハーネスの枝線 CAN 2/ASC 10 BUS

4. キットのワイヤハーネスの 66cm の枝線についている 4 ピンコネクタ ASC 10 PWR & CAN FROM X30 というラベルがついているものを、データハーネスの、CAN 2/ASC 10 BUS というラベルがついている 4 ソケットコネクタに接続する 図 201。
5. データハーネスとバッテリーハーネスを、座席サポートのクロス部材を横切って配線し、データハーネスの 390cm の枝線をクロス部材にケーブルタイ 2 本で固定する 図 200 と 図 202。

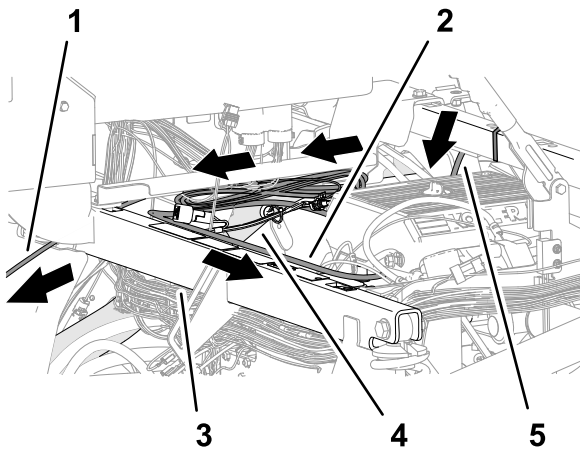


図 202

g202520

1. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニタ
2. 220cm のバッテリーハーネス枝線
3. ショックサポートチューブ
4. 右上フレームチューブ
5. データ用ハーネスの 390cm の枝線ナビゲーション受信機

6. バッテリーハーネスの 220cm の枝線を、右上フレームチューブに沿って配設する [図 202](#)。
7. バッテリーハーネスの 220cm の枝線を、ソケットサポートチューブを横切ってバッテリーに向けて配設する [図 202](#)。

注 相互接続用の 100cm の枝線スイッチ付き電源は、そのままの位置において置いてください。

8. データ用ハーネスの 220cm の枝線 26ソケットのついている枝線を、コントローラコンソールの下を通して配設し、ダッシュパネルに向かって前方へ導く [図 202](#)。

データ用ケーブルをスプレーヤのモニタに接続する

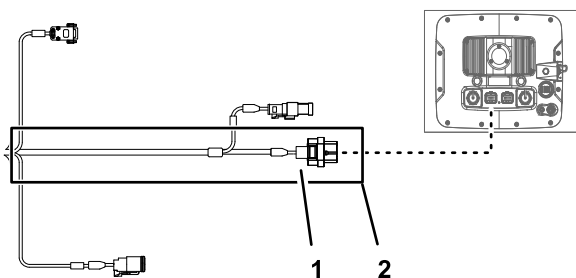


図 203

g203669

1. 26ソケットコネクタデータ用
2. データ用ハーネスの 220cm の枝線スプレーヤモニタ

1. データ用ハーネスの 220 cm の枝線 26ソケットのついている枝線を、ダッシュパネルに導く [図 204](#)。

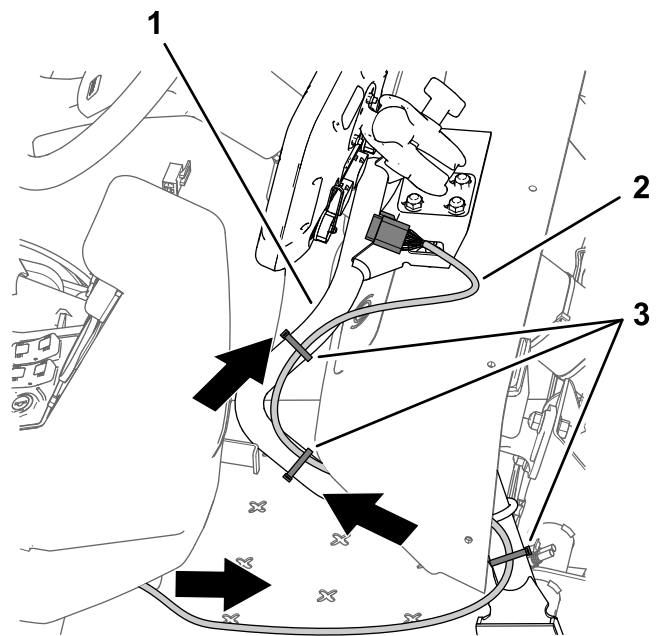


図 204

g202451

1. サポートチューブモニタ
2. 220cm の枝線データ用ハーネス
3. ケーブルタイ

2. データ用ハーネスの 220cm の枝線を、モニタ用のサポートチューブに沿って配設する [図 204](#)。
3. データ用ハーネスの 26 ソケットコネクタを、スプレーヤのモニタディスプレイの 26 ピンコネクタに接続する。コネクタ同士をしっかりと押し込んで確実にロックさせること [図 205](#)。

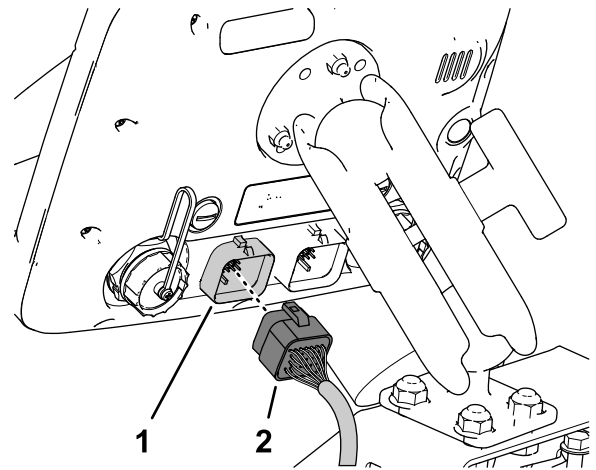


図 205

g202452

1. 26ピンコネクタ散布モニタ
2. 26ソケットコネクタデータ用ハーネススプレーヤモニタ

4. データ用ハーネスの 220cm の枝線に十分なるみがあること、モニタの位置調整ができるだけの余裕があることを確認し、[図 204](#)のようにハーネスをサポートチューブにケーブルタイで固定する。

クイックディスコネクタクランプをバッテリーに取り付ける

1. 赤色と黒色のハンドル式クイックコネクタクランプから、六角ナットとワッシャを外す [図 206](#)。

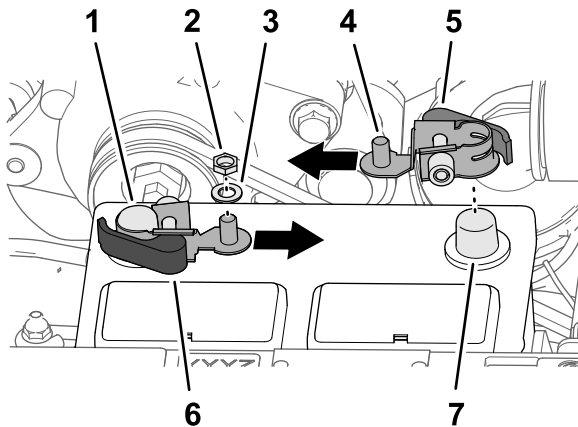


図 206

g202692

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. マイナス端子 | 5. 赤色ラッチハンドルクイックコネクタクランプ |
| 2. 六角ナット1/4"クイックコネクタクランプ | 6. 黒色ラッチハンドルクイックコネクタクランプ |
| 3. ワッシャ1/4"クイックコネクタクランプ | 7. プラス端子 |
| 4. ねじ山付きのポスト | |

2. 黒色ハンドル付きクイックコネクタクランプのラッチハンドルを開ける [図 207](#)。

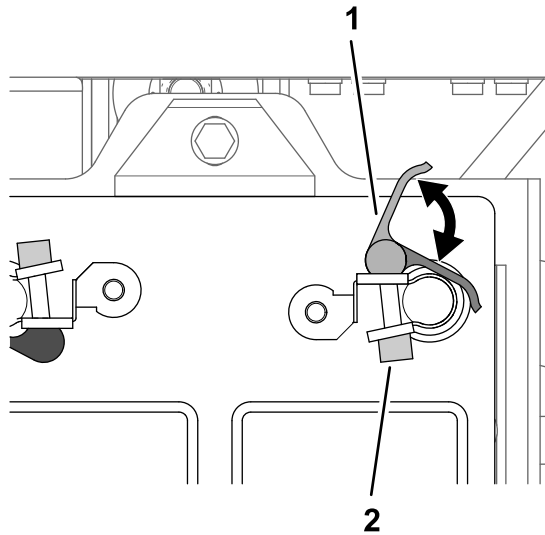


図 207

g202703

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. ハンドルクイックコネクタクランプ | 2. 網模様付きナット |
|---------------------|-------------|

3. クイックコネクタクランプを、バッテリーのマイナス端子に接続する [図 206](#)のように、クランプのねじ山付きポストをバッテリーの内側に向ける
4. クイックコネクタクランプのラッチハンドルを閉じる [図 207](#)。

注 クイックコネクタクランプの強さを調整する必要がある場合には、ハンドルを開き、網目模様付きナットを回して締め付け力を増減してください。

5. 赤色ハンドル付きクイックコネクタクランプにも、ステップ [2-4](#) の作業を行う。

バッテリーを接続する

▲ 警告

バッテリーケーブルの接続手順が不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。
- ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

▲ 警告

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属を接触させないように注意する。
- バッテリーの端子と金属を接触させない。

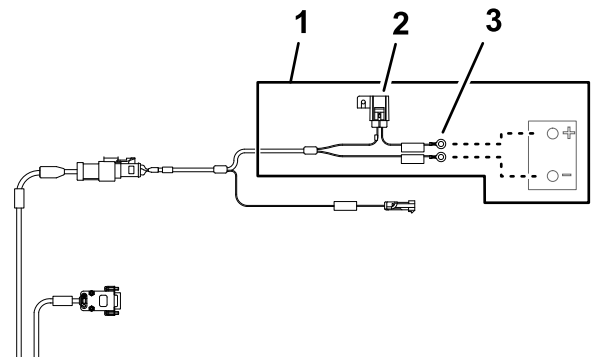


図 208

g203667

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 220cm のバッテリーハーネス枝線 | 3. リング端子バッテリー |
| 2. 10A ヒューズバッテリー | |

1. バッテリーのプラスケーブルに、[図 209](#)のように絶縁カバーを取り付ける。

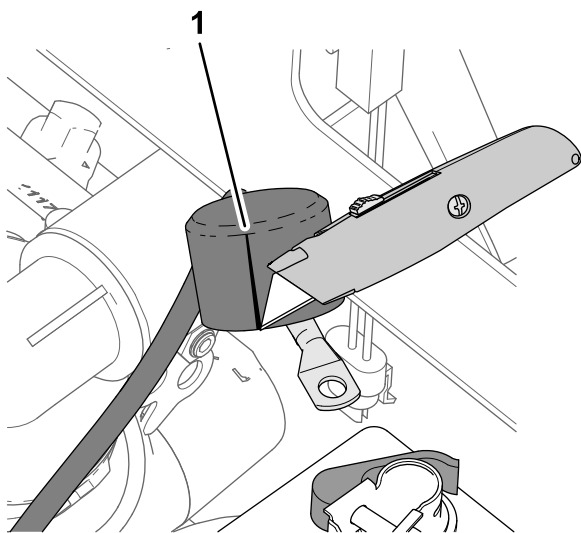


図 209

g202746

1. スリット絶縁カバーバッテリーからスタータへ向かうケーブル

2. 以下のワイヤおよびケーブル端子を、バッテリーのプラス端子のねじ山付きポストに、以下の順序で取り付ける図 210

注 エンジンスタータに向かうバッテリーケーブルの端子プラスがねじ山付きポストの一番上の端子になるようにしてください。

- A. リング端子車両用ワイヤハーネスのうち BATTERY (+) というラベルの付いた 22 cm の枝線
- B. リング端子バッテリー用ハーネスの 220cm の枝線 *****IMPORTANT***** CONNECT THIS WIRE TO POSITIVE ON BATTERY というラベル
- C. リング端子キットのワイヤハーネスの 60cm の枝線 TO BATTERY POSITIVE というラベル
- D. バッテリーケーブルの端子プラスオルタネータ50Aへ
- E. バッテリーケーブルの端子プラスエンジンスタータへ

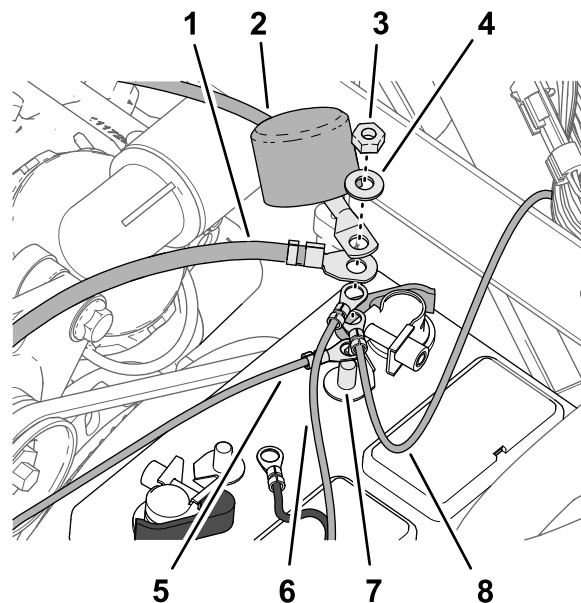


図 210

g202767

1. バッテリーケーブルの端子プラスオルタネータ50Aへ
2. バッテリーケーブルの端子プラスエンジンスタータへ
3. 六角ナット $\frac{1}{4}$ "クイックコネクトクランプ
4. ワッシャ $\frac{1}{4}$ "クイックコネクトクランプ
5. リング端子キットのワイヤハーネスの 60cm の枝線 TO BATTERY POSITIVE
6. リング端子バッテリー用ハーネスの 220cm の枝線 *****IMPORTANT***** CONNECT THIS WIRE TO POSITIVE ON BATTERY
7. ねじ山付きポストバッテリーのプラス端子
8. リング端子車両用ワイヤハーネスの 22cm の枝線 BATTERY (+)

3. ねじ山付きポストにワッシャ $\frac{1}{4}$ "と六角ナット $\frac{1}{4}$ "を組み付け、ナットを、10.17-12.34 N·m 1.0-1.3 kg·m = 90-110 in·lb にトルク締めする。
4. バッテリーのスタータ向けプラスケーブルの絶縁カバーをねじ山付きポストに取り付ける図 210。
5. 以下のワイヤおよびケーブル端子を、バッテリーのマイナス端子のねじ山付きポストに、以下の順序で取り付ける図 211

注 エンジンとシャーシのアースに向かうバッテリーケーブルの端子マイナスがねじ山付きポストの一番上の端子になるようにしてください。

- A. リング端子バッテリー用ハーネスの 220 cm の枝線 *****IMPORTANT***** CONNECT THIS WIRE TO - VE TERMINAL OF BATTERY WHICH IS CONNECTED TO TRACTOR FRAME というラベル
- B. リング端子キットのワイヤハーネスの 60cm の枝線 マイナス線
- C. バッテリーケーブルの端子マイナスエンジンとシャーシのアースへ

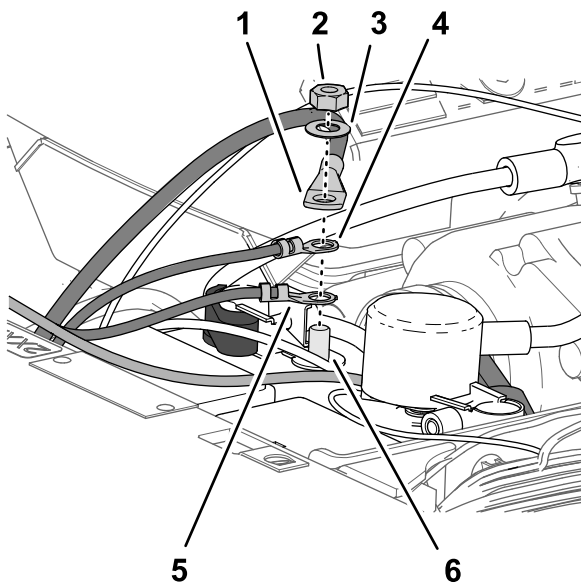


図 211

g202745

1. バッテリーケーブルの端子
マイナスエンジンとシャ
ーシのアースへ
2. 六角ナット1/4"クイックコネ
クトクランプ
3. ワッシャ1/4"クイックコネ
クトクランプ
4. リング端子キットのワイヤ
ハーネスの 60cm の枝線
マイナス線
5. リング端子バッテリー
用ハーネスの 220cm
の枝線 ***IMPORTANT***
CONNECT THIS WIRE TO -
VE TERMINAL OF BATTERY
WHICH IS CONNECTED TO
TRACTOR FRAME
6. ねじ山付きポストバッテリー
のマイナス端子

ハーネスを固定する

1. データ用ハーネスの余っている部分を、右上フ
レームチューブの上に集める 図 212。

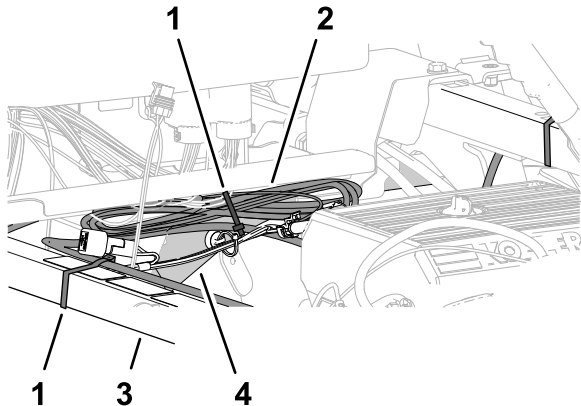


図 212

g202768

1. ケーブルタイ
 2. データ用ハーネスの束
 3. ショックサポートチューブ
 4. 右上フレームチューブ
2. データハーネスとショックサポートチューブをそろえて、ケーブルタイでチューブに固定する 図 212。

3. データハーネスの束を右上フレームチューブにそ
ろえて、ケーブルタイでフレームチューブに固定
する 図 212。
4. データハーネス、バッテリーハーネス、キットのワ
イヤハーネス、バッテリーケーブルが、プーリや
ベルトに近すぎないように十分配慮してください。
ワイヤハーネスをケーブルタイで固定する。ハー
ネスがベルトやプーリなどの近くを通らないよ
うにする。

35

フードと左右の前フェンダを取り付ける

この作業に必要なパーツ

13	プッシュインファスナー
----	-------------

フードを取り付ける

1. フードの穴を、機体のダッシュパネルの穴および
フレームについている穴に合わせる 図 213。

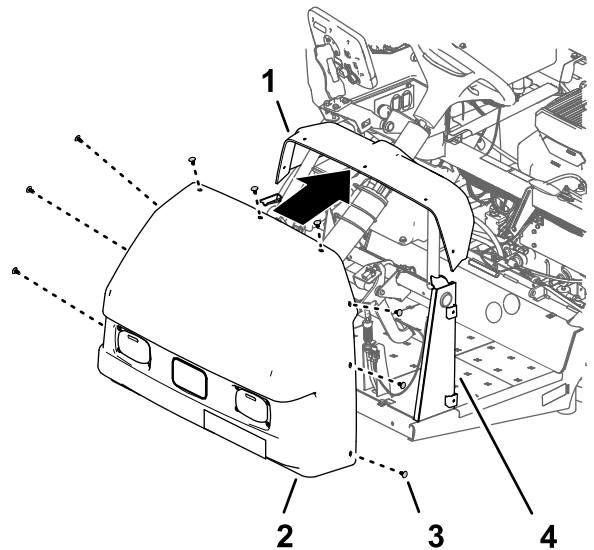


図 213

g202004

1. ダッシュパネル
2. フード
3. 押し込みファスナー
4. ダッシュサポート

2. 押し込みファスナー9個を使って、フードをダッ
シュパネルとフレームに固定する 図 213。
3. 車両用ワイヤハーネスの 2 個のコンネクタ2 ソケ
ットコネクタを、左右のヘッドライトの 2 ピンコネ
クタに接続する 図 214。

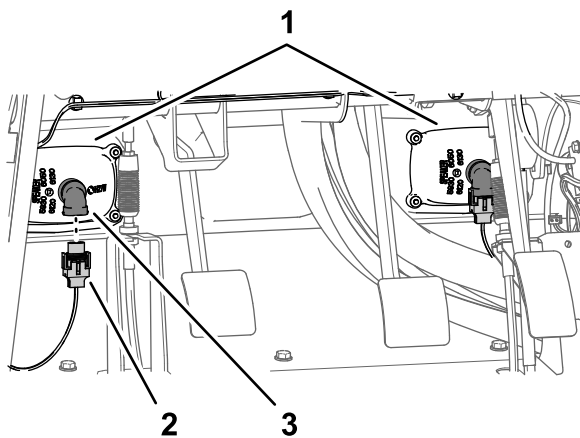


図 214

g197153

1. ヘッドライト
2. 2ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス
3. 2ピンコネクタヘッドライト

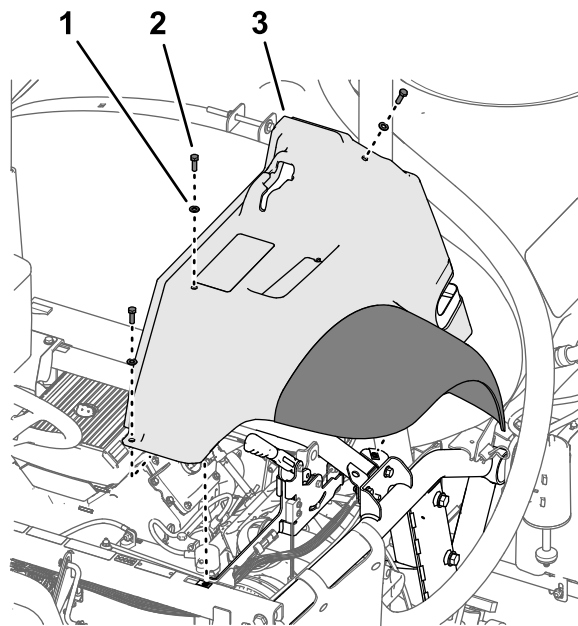


図 216

g197152

1. ワッシャ5/16"
2. ボルト5/16" x 1"
3. 左前フェンダ

左右の前フェンダを取り付ける

1. 内側フェンダシュラウドを、左上および左下のフレームチューブに合わせる 図 214。

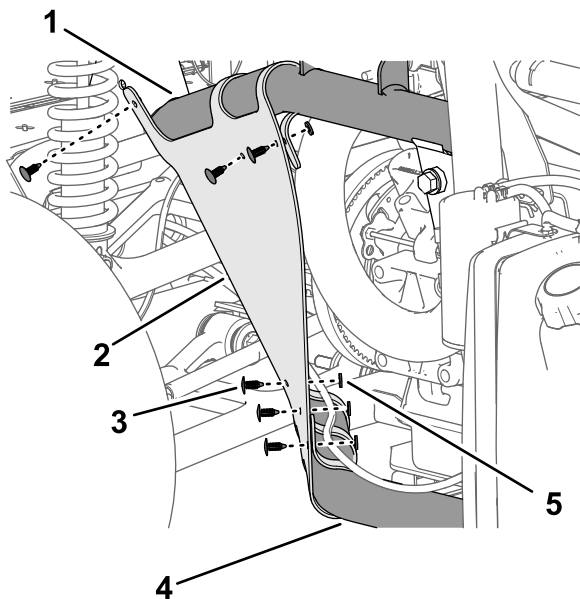


図 215

g202023

1. 左上フレームチューブ
2. 内側フェンダ用シュラウド
3. 押し込みファスナー
4. 左下フレームチューブ
5. ワッシャ9/16" x 1/2"

2. 押し込みファスナー6個を使って、内側フェンダ用シュラウドをフレームチューブに固定する 図 215。
3. 図 215に示すように、フェンダの穴を、車体フレームの穴に合わせる。

4. フェンダをフレームに仮止めする 図 216 ステップ 2 左右の前フェンダを取り外す (ページ 11) で取り外したボルト5/16" x 1" 3本とワッシャ5/16" 3枚を使用する。
5. 押し込みファスナー2個を使って、フェンダをフレームチャンネルに固定する 図 217。

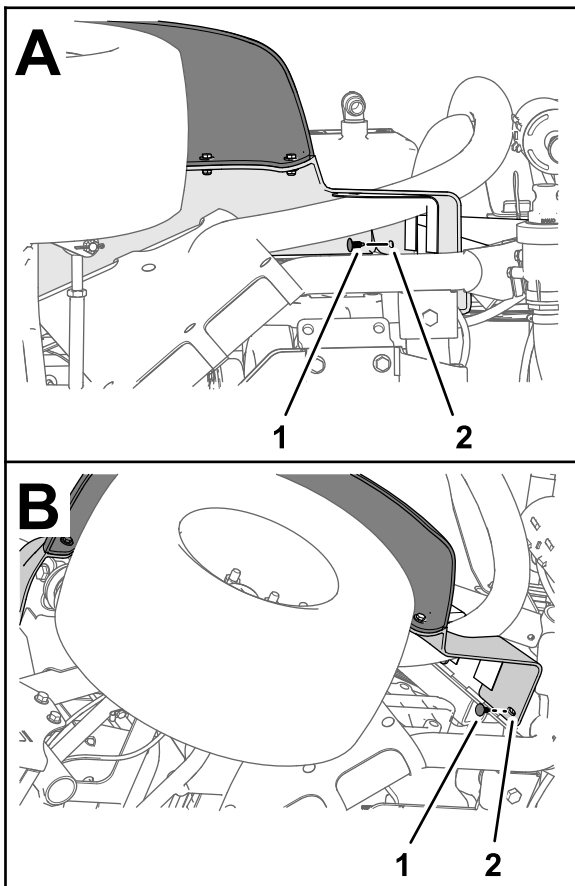


図 217

g264614

1. 押し込みファスナー
2. 左前フェンダ

6. ボルト5/16" x 1"を 19.78-25.42 N·m 2.0-2.6 kg·m = 175-225 in·lbにトルク締めする。
7. 機体の反対側のフェンダと内側フェンダ用シュラウドについても 1から6 の作業を行う。

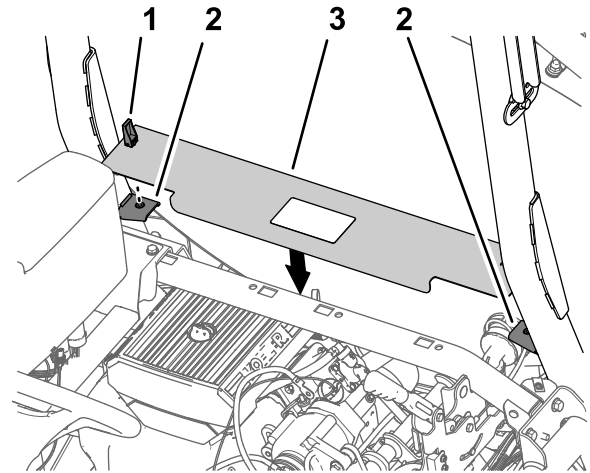
36

エンジンへのアクセスパネルと運転席を取り付ける

必要なパーツはありません。

エンジンアクセスパネルを取り付ける

1. エンジンアクセスパネルのラッチを、ROPSバーのパネルサポートブラケットのブッシュに合わせる 図 218。



g202414

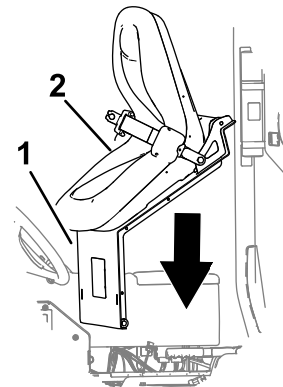
図 218

1. ラッチ
2. パネルのサポートブラケット
3. エンジンアクセスパネル

2. パネルをブラケットに取り付ける 図 218。
3. ハンドルラッチを下に回してパネルをブラケットに固定する 図 218。

運転席を取り付ける

1. 座席と座席プレートを車体シャーシに合わせる 図 219。

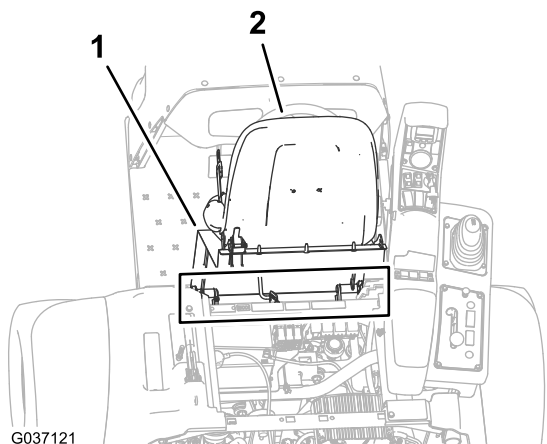


g202000

図 219

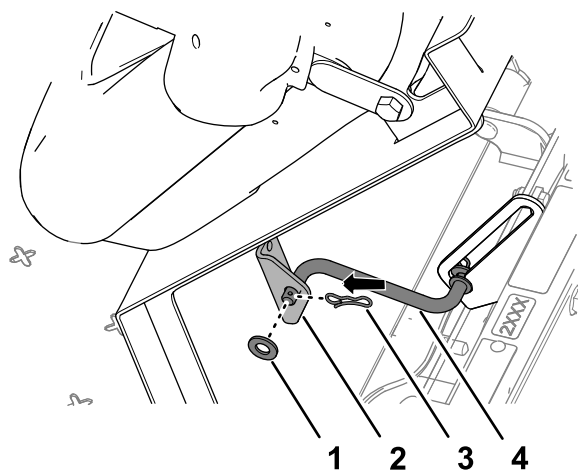
1. 座席プレート
2. 運転席

2. シートパンのピボットフィッティングにある穴を、シャーシブラケットの穴に合わせる 図 220。



G037121

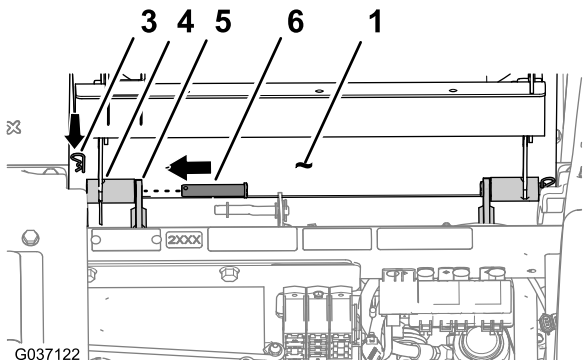
g037121



g202001

図 221

- | | |
|-------------|---------|
| 1. ワッシャ | 3. ヘアピン |
| 2. ブラケット座席用 | 4. 支え棒 |



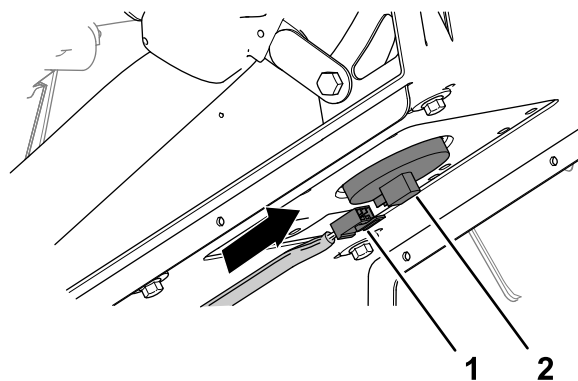
G037122

g202002

図 220

- | | |
|-----------|------------------------|
| 1. 座席プレート | 4. ピボットフィッティング座席
パン |
| 2. 運転席 | 5. シャーシブラケット |
| 3. ヘアピン | 6. ピボットピン |

3. シートパンをシャーシブラケットに取り付けるピボットピン2本を使用する [図 220](#)。
4. ピボットピンをヘアピン2本で固定する [図 220](#)。
5. 座席のブラケットに支え棒を取り付け、ワッシャとヘアピンで固定する [図 221](#)。



g202003

図 222

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 2ソケットコネクタ車両のワ
イヤハーネス | 2. 座席スイッチ用コネクタ |
|----------------------------|----------------|

7. 運転席を前にすこし倒して、座席についている支え棒をはずし、座席を正規位置におろす。ラッチが掛かったのを確認する。

37

マシンの設定プログラミングを行う

必要なパーツはありません。

手順

1. スタータスイッチにキーを差し込んで ON 位置に回す。

インフォセンターに初期画面が現れ、各種の表示が短時間おこなわれる [図 223](#)。

注 エンジンは始動させないでください。

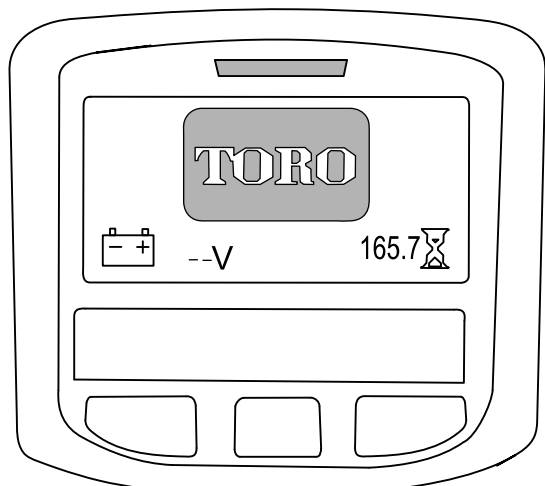


図 223

g202877

2. インフォセンターのホーム画面で、中央ボタンを押して、ナビゲーション画面に入る [図 224](#)。

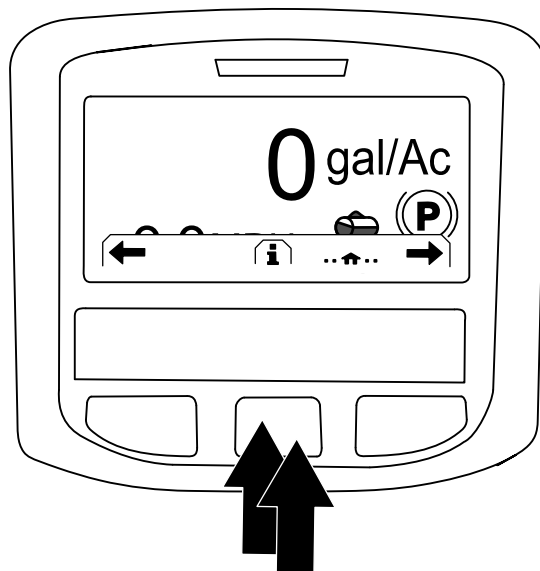


図 224

g202868

3. 中央ボタンをもう一度押してメインメニューを表示させる [図 224](#)。
4. メインメニューMAIN MENU画面で、中央ボタンを押して設定SETTING画面へ移動し、右ボタンで選択する [図 225](#)。

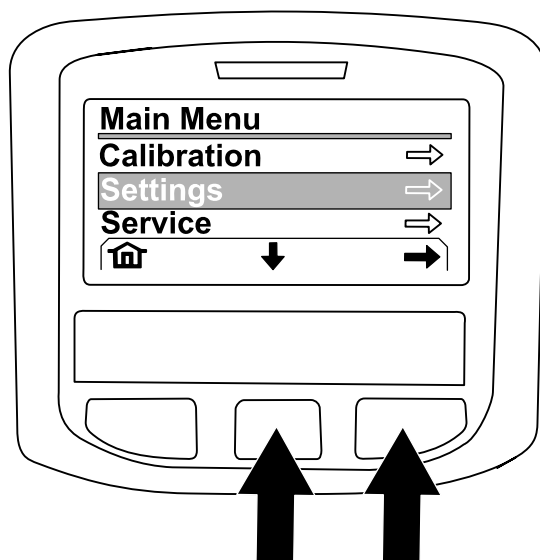


図 225

g202874

5. 設定メニューSETTING画面で、中央ボタンを押して保護設定PROTECTED SETTINGS画面へ移動し、右ボタンで選択する。

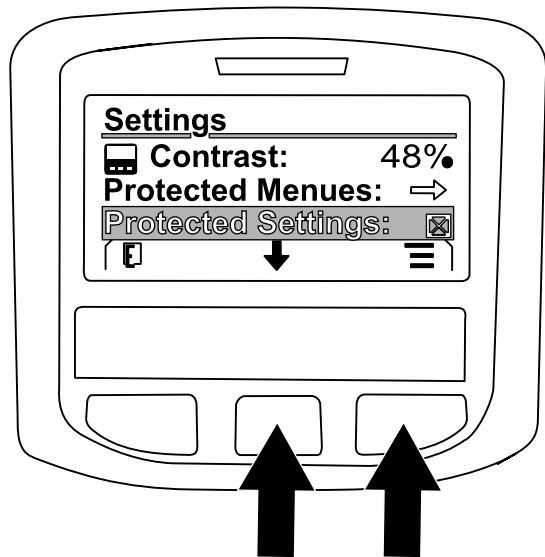


図 226

g202869

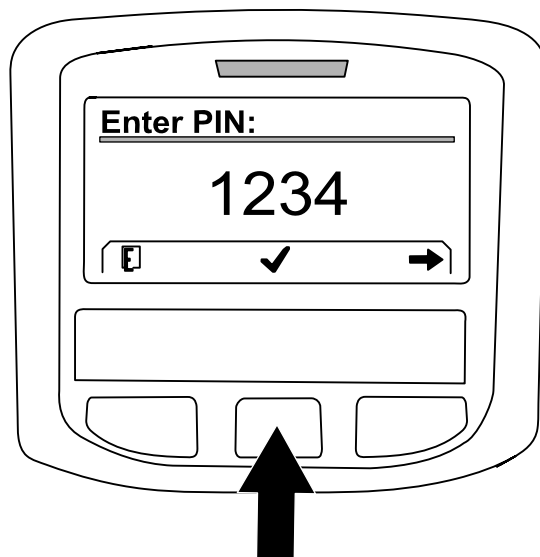


図 228

g202871

6. PIN暗証番号を以下の手順で入力する
- A. 必要に応じて中央ボタンを何度か押して PIN コード画面の左端のケタに数字を入れる [図 227](#)。

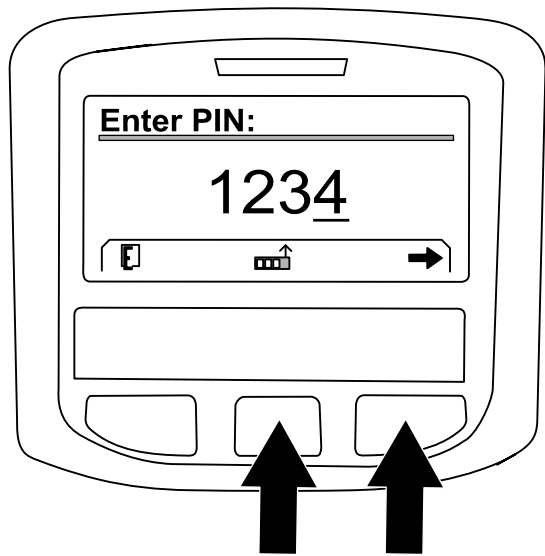


図 227

g202870

7. 中央ボタンを押してジオリンクGEOLINKオプションへ移動し、右ボタンで選択する [図 229](#)。

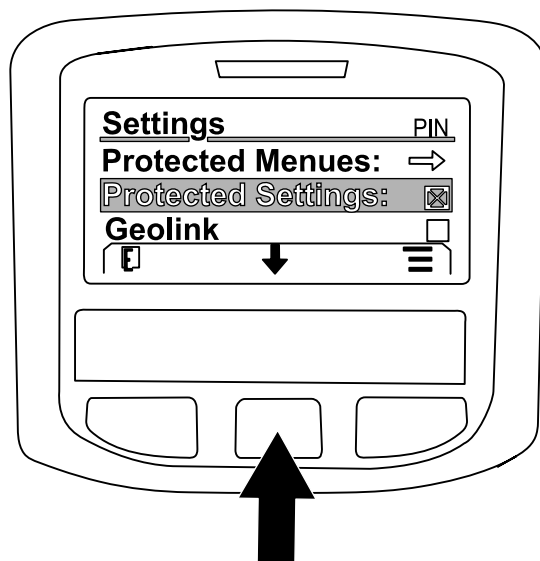


図 229

g202875

インフォセンターにジオリンク確認画面が表示される ([図 230](#))。

- B. 右ボタンを押して PIN コード画面の左から2番目のケタに移る [図 227](#)。
- C. AとBを繰り返して、残りの3ケタ全部に PIN の数字を入れる。
- D. 全部の数字を入れ終わったら、右ボタン [図 227](#) を押し、さらに中央ボタンを押して PIN コード画面に入る [図 228](#)。
インジケータが短時間点灯する。



図 230

g202872

- 制御コンソールグラフィックスと文字が表示される図 232。

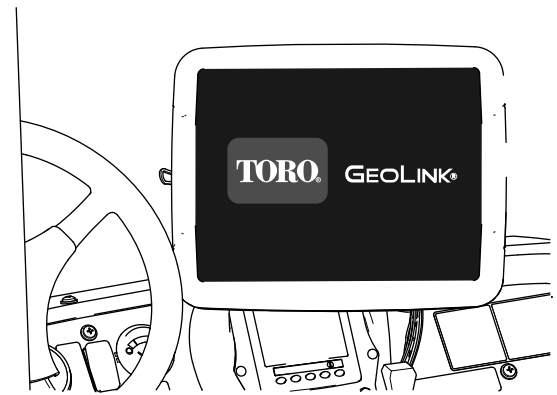


図 232

g302921

8. キーを OFF 位置にし、もう一度 ON にする。
9. GEOLINK 初期画面が、キースイッチを ON に回すと最初に表示される。

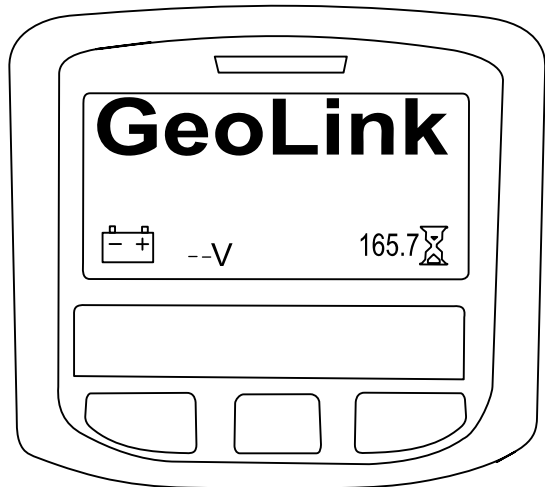


図 231

g202878

- 衛星受信機電源インジケータが点灯する図 233。

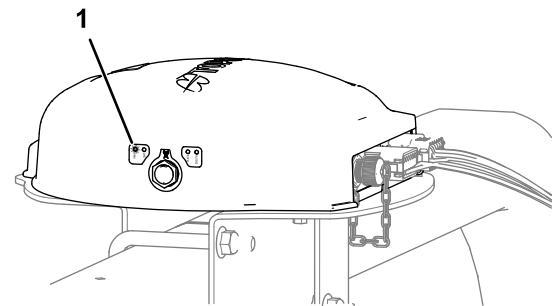


図 233

g302922

1. PWR インジケータ衛星受信機

- ブーム自動コントローラ STATUS インジケータが点灯する図 234。

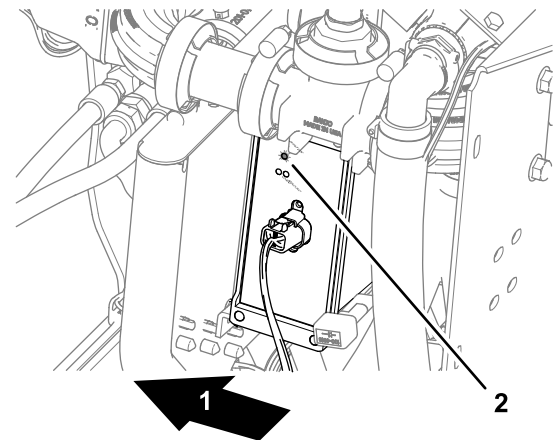


図 234

g302923

1. 機体後方
2. STATUS インジケータ Boom 自動コントローラ

3. キーを OFF 位置に回す。
4. 以下の機器で電源が切れたことを確認する

38

ジオリンク機器への電源投入

必要なパーツはありません。

手順

1. イグニッションキーを RUN 位置ガソリン機の場合または PREHEAT/RUN 位置ディーゼル機の場合に回す。
2. 以下の各機器に電源が入ったことを確認する

- コントロールコンソール
- 衛星受信機
- ブーム自動コントローラ

1-844-GEOLINK (1-844-436-5465) または
NSNTech@toro.com の customer service。

39

ソフトウェアのバージョンを確認する

必要なパーツはありません。

手順

1. イグニッションキーを RUN 位置ガソリン機の場合または PREHEAT/RUN 位置ディーゼル機の場合に回す。
2. 制御コンソールの左上にある ABOUT (Toro) アイコンを押す [図 235](#)。

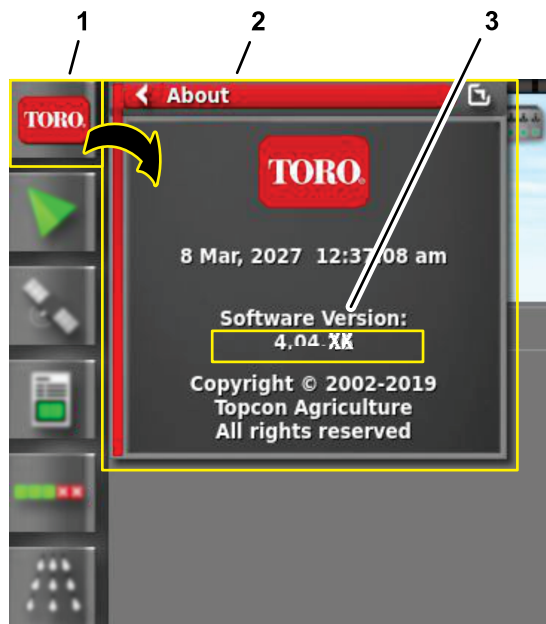


図 235

g302935

1. ABOUT Toroアイコン
 2. ABOUT ポップアップウィンドウ
 3. ソフトウェアのバージョン番号
-
3. ソフトウェアのバージョン番号を、以下に記載されているものと比較する
 - ジオリンクシステム ソフトウェアガイドがある場合にはその表紙
 - コマンドコンソールに表示される

注 ソフトウェアのバージョンが異なっている場合には、以下にご連絡くださいToro NSN

40

単位系を選択する

必要なパーツはありません。

手順

単位系を選択するジオリンクシステムの *オペレーターズマニュアル*または*ソフトウェアガイド*を参照。

41

フィールドを作成する

必要なパーツはありません。

手順

新しいフィールドを作成するジオリンクシステムの *オペレーターズマニュアル*または*ソフトウェアガイド*を参照。

42

新しい散布率の薬剤の登録

必要なパーツはありません。

手順

新しい薬剤を登録して散布率を入力するジオリンクシステムの *オペレーターズマニュアル*または*ソフトウェアガイド*を参照。

43

ノズルバルブのバランス調整を行う

マルチプロ 1750

必要なパーツはありません。

手順

以下の操作を行ってノズルバルブのバランスを調整してください。

1. 「散布ノズル ノズルバルブのバランス調整の準備」を選択するジオリンクシステムのオペレーターズマニュアルまたはソフトウェアガイドを参照。
2. 「散布ノズル バルブのバランス調整ウィザードステップ 1-3」を選択するジオリンクシステムのオペレーターズマニュアルまたはソフトウェアガイドを参照。
3. 「散布ノズル バルブのバランス調整ウィザードステップ 4-6」を選択するジオリンクシステムのオペレーターズマニュアルまたはソフトウェアガイドを参照。

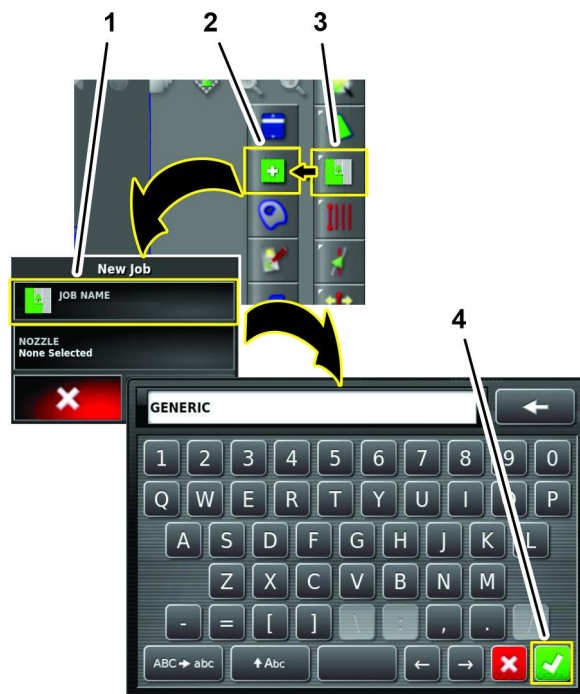


図 236

g304037

1. 作業の名称アイコン
2. 新しい作業を作成アイコン
3. 作業メニューのアイコン
4. 承認アイコン

2. 画面上キーボードから一般作業名を入力し、承認アイコンを押す 図 236。
3. 新規作業ダイアログボックスの中で、ノズルアイコンを押す 図 237。

44

散布作業の作成

必要なパーツはありません。

手順

1. 作業メニューを押し、新しい作業を作成アイコンを押す 図 236。

45

散布システムを点検する

必要なパーツはありません。

手順

1. 駐車ブレーキを掛ける。
2. 液剤タンクに 200 リットルの水を入れるマシンのオペレーターズマニュアルを参照。
3. エンジンを始動し、エンジン速度を高速にセットする。
4. ジョーリンクの制御コンソール上で 散布率コントローラ アイコンを押す [図 239](#)。



図 237

g304039

1. ノズルアイコン
2. ノズル選択リストアイコン
3. 承認アイコン

4. ノズル選択リスト内で、どのノズルのアイコンでもよいから押して承認アイコンを押す [図 237](#)。
5. 新しい作業ダイアログボックスの中で、承認アイコンを押す [図 238](#)。



図 238

g304038

1. 承認アイコン

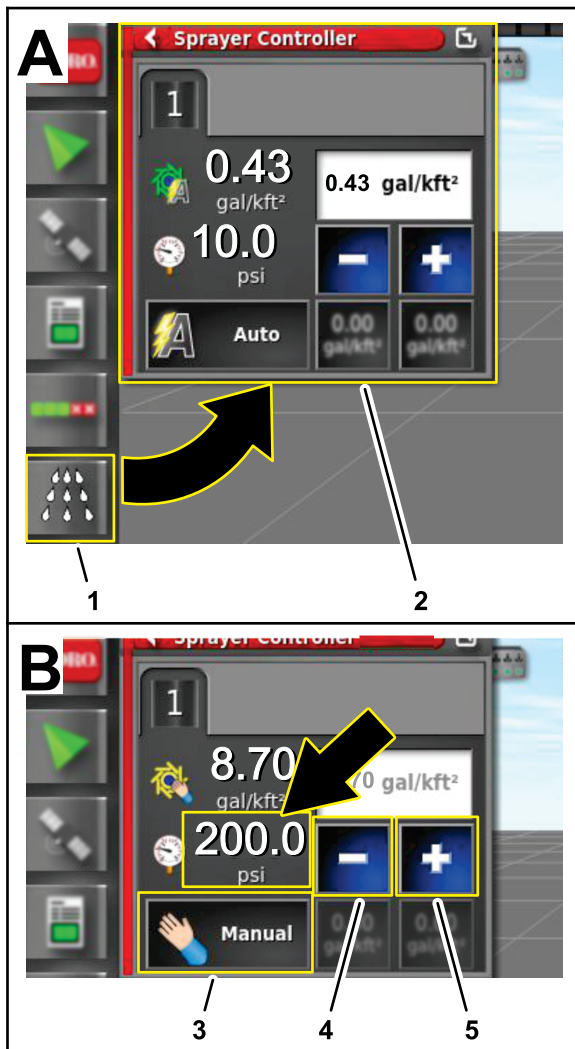


図 239

g303612

1. 散布レートコントローラアイコン
 2. ダイアログボックス散布率コントローラ
 3. レート制御モードアイコン手動モード
 4. 減らすアイコン (-)
 5. 増やすアイコン (+)
5. 散布レートコントローラダイアログボックスで、レート制御モードアイコンを押し続けると手動モードになる 図 239。
6. 減らすアイコン (-) と増やすアイコン (+) を使用して散布圧力 図 239 を 13.75 bar (200 psi) にする。
7. マシンのマスターブームスイッチをオンにセットする 図 240。

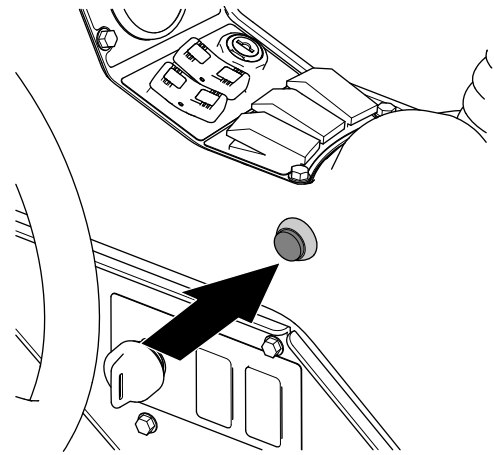


図 240

マスターブームスイッチマルチプロ 1750 スプレーヤ

g205125

8. ジオリンクの制御コンソール上でマスタースイッチアイコン 図 241 を押してオン緑にする。

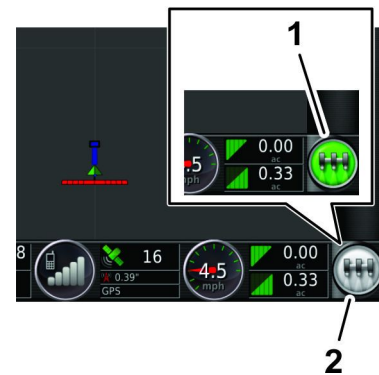


図 241

g203807

1. 緑色のマスタースイッチアイコンシステム準備完了、散布コントローラオン
2. 白色マスタースイッチアイコンスタンバイ

9. 液漏れがないか、液剤ホースとフィッティング全部を点検する。

注 液漏れがある場合にはエンジンを止めて修理を行う。

46

攪拌バイパスバルブのバランス調整

必要なパーツはありません。

システムと攪拌バイパス水圧のチェック

1. 駐車ブレーキを掛け、エンジンを始動させる。
注 エンジンおよび油圧系統が動作温度に達するまで約 10 分間待つ。
2. マスターブームスイッチをオフにセットする。
3. ポンプスイッチと攪拌スイッチをオン位置にする。
4. 個別ブームスイッチ左、右、中央を全てオンにする。
5. エンジン速度を高速にセットする。
6. ジョイントの制御コンソール上で 散布率コントローラアイコンを押す。
7. 散布レートコントローラダイアログボックスで、レート制御モードアイコンを押し続けると手動モードになる [図 242](#)。

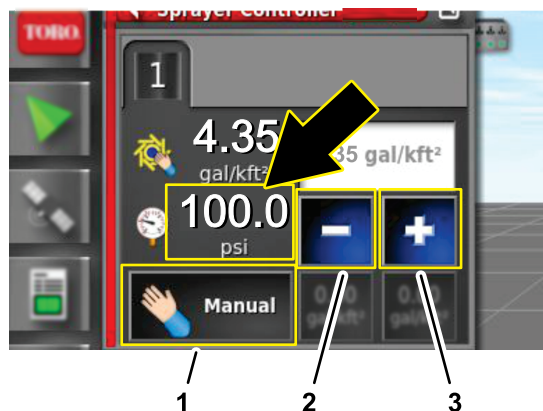


図 242

g303643

1. レート制御モードアイコン手動モード
 2. 減らすアイコン (-)
 3. 増やすアイコン (+)
-
8. 減らすアイコン (-) と増やすアイコン (+) を使用して散布圧力 [図 242](#) を 6.9 bar (100 psi) にする。
 9. マシンの攪拌スイッチをオフにセットする。
 10. 散布システムの水圧を見る。水圧計の読みが 6.9 bar であれば、攪拌バルブの基本設定は適切である。

水圧計の読みが変化している場合は、攪拌バイパスバルブを調整する [攪拌バイパスバルブの調整 \(ページ 100\)](#) を参照。

攪拌バイパスバルブの調整

1. 攪拌スイッチをオフにし、車両後部で、攪拌バイパスバルブを探し出す。

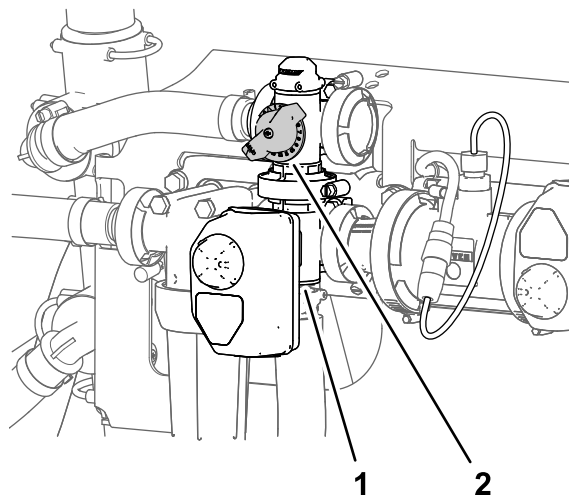


図 243

g191362

1. アクチュエータ 攪拌バルブ 2. 攪拌バイパスバルブ
-
2. 攪拌バイパスバルブ [図 243](#) を操作して水圧計の読みが 689 kPa (100 psi) になるように調整する。
 3. 攪拌スイッチをオンにして散布水圧を見る。
注 散布水圧が 6.9 bar (100 psi) よりも低い又は高い場合には、ステップ 1 と 2 をもう一度行う。
 4. 攪拌スイッチをオフにして散布水圧を見る。
注 散布水圧が 6.9 bar (100 psi) よりも低い又は高い場合には、ステップ 1 と 2 をもう一度行う。

47

フローメータのキャリブレーションを行う

必要なパーツはありません。

手順

フローメータのキャリブレーションを行うジョイントシステムの [オペレーターズマニュアル](#) または [ソフトウェアガイド](#) を参照。

48

携帯電話通信の状態を確認する

必要なパーツはありません。

手順

1. 周囲に高い建物や電線のない屋外に車両を出す。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. ジオリンクの制御コンソール上で GPS 情報アイコンを押す [図 244](#)。

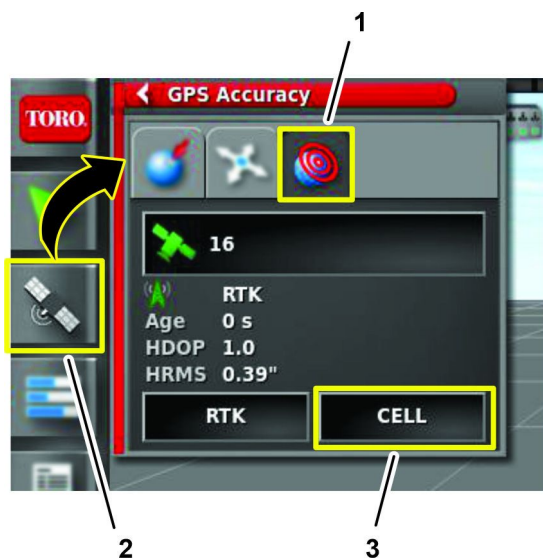


図 244

1. GPS 精度アイコン
2. GPS 情報アイコン
3. 携帯診断アイコン

4. 携帯診断アイコンを押し、携帯電話通信の状態の表示が N-TRIP 接続データ受信中 [図 245](#) となることを確認する。

注 N-TRIP 接続データ受信以外の場合、弊社代理店、Toro NSN @ 1-844-GEOLINK (1-844-436-5465)、または NSNTech@toro.com へ連絡する。

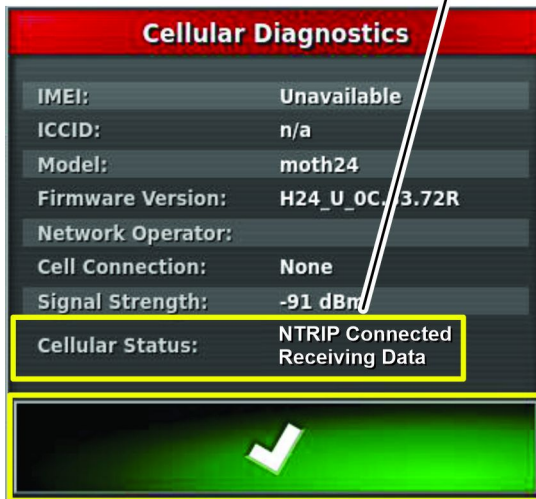


図 245

1. 携帯電話通信の状態の表示フィールド
2. 承認アイコン

5. 承認アイコンを押すとダイアログボックスが閉じる。

49

コンパスのキャリブレーションを行う

ディストリビュータの整備工場にて

必要なパーツはありません。

手順

ディストリビュータの整備工場でのコンパスのキャリブレーションを行うジオリンクシステムのオペレーターズマニュアルまたはソフトウェアガイドを参照。

50

NVRAM のクリア操作

ユーザーの施設にて

必要なパーツはありません。

設定画面をディーラアクセスに変更する

重要ユーザーの施設で不揮発 RAM の消去を行う必要が生じた時。

1. ディーラアクセスレベルのパスワードが必要になります Toro NSN 電話 1-844-GEOLINK (1-844-436-5465) または NSNTech@toro.com にご連絡ください。
2. キーを オン 位置に回す。
3. メイン画面で設定アイコンを選択する [図 246](#)。

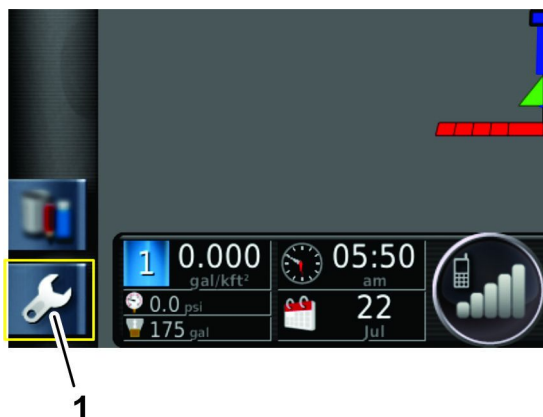


図 246

g204035

1. 設定アイコン

4. 設定画面で、ユーザーアイコンを押し、アクセスレベルアイコンを押し [図 247](#)。

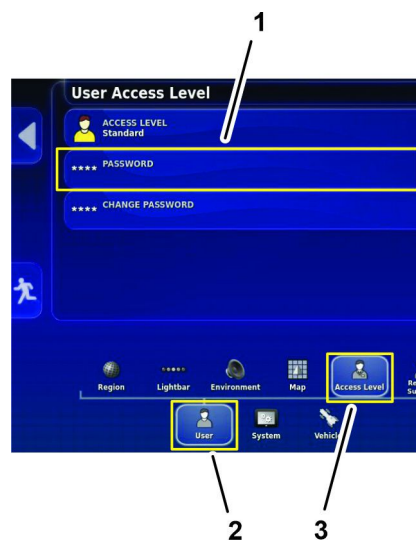


図 247

g309146

1. パスワードアイコン
2. ユーザーアイコン
3. アクセスレベルアイコン

5. パスワードアイコンを押す [図 247](#)。
6. 画面上キーボードからステップ1で入手したパスワードを入力し、承認アイコンを押す [図 248](#)。

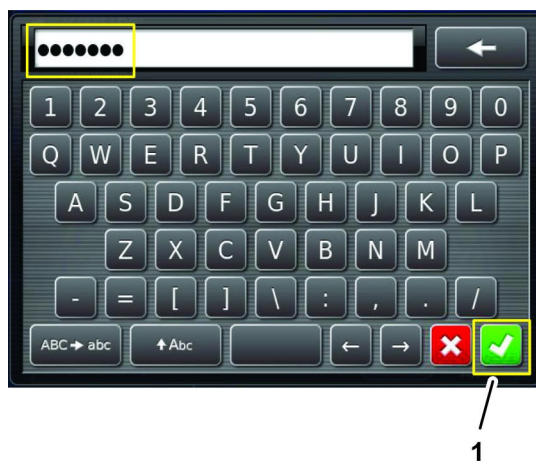


図 248

g309149

1. 承認アイコン

注 ユーザーアクセスレベル画面にディーラアイコンが表示されます [図 249](#)。

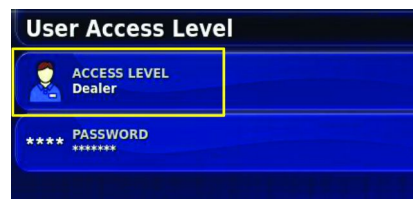


図 249

g309223

不揮発 RAM の消去

1. 設定画面で、システムアイコン、GPS アイコン、高度な構成アイコン、を押す [図 250](#)。

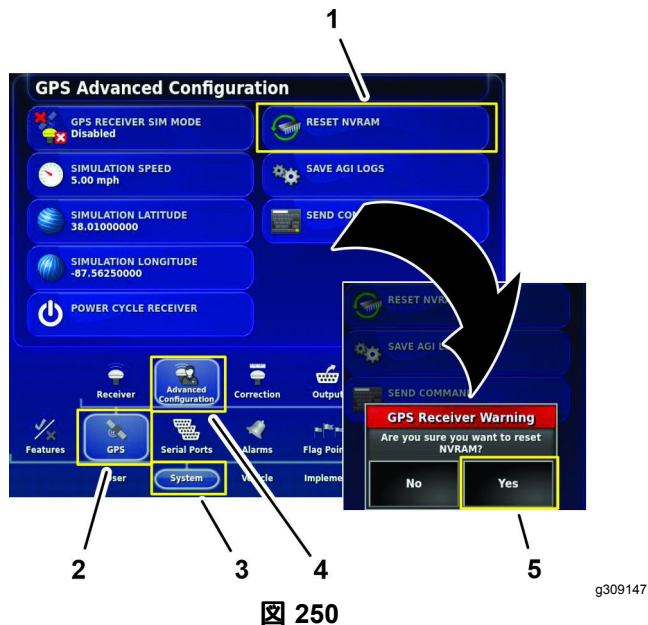


図 250

1. NVRAM をリセットアイコン
2. GPS アイコン
3. システム アイコン
4. 高度な構成アイコン
5. はいアイコン

2. GPS の高度な構成画面の中で NVRAM をリセットアイコンを押す [図 250](#)。
3. GPS 受信警告ダイアログボックスの はいアイコンを押す [図 250](#)。

注 受信が切断されましたという警告 [図 251](#) が短時間表示される。

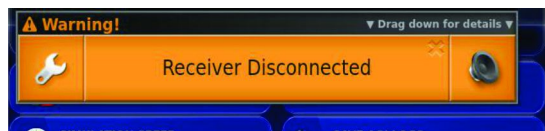


図 251

4. 衛星受信機とモデムが立ち上がるまで 2 分間待機する。
5. 設定終了アイコンを押す。

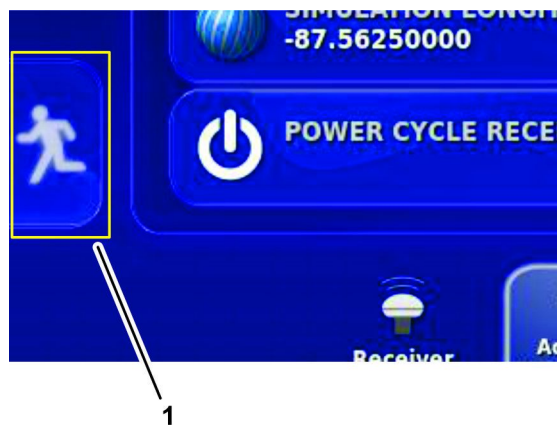


図 252

1. 設定終了アイコン

6. キーを オフ位置に回す。

51

コンパスのキャリブレーションを行う

ユーザーの施設にて

必要なパーツはありません。

手順

ユーザーの施設でコンパスのキャリブレーションを行うジオリンクシステムのオペレーターズマニュアルまたはソフトウェアガイドを参照。

メモ

メモ

メモ

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company (“Toro”) は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡ください legal@toro.com。

セキュリティについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたの情報をあなたの居住国の外に移動する場合には、弊社は必ず法律が定める手続きを踏み、あなたの情報が安全に取り扱われ適切な保護がおこなわれるように、そして正しく取り扱われるように配慮します。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社があなたの情報を取り扱った方法に懸念をお感じになった場合には、弊社に直接申し立てをしていただくようお願い申し上げます。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。



Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店、ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリーや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーのみ2年経過後は日割り計算とします。詳細についてはバッテリーのサービスマニュアルを参照のこと。

クランクシャフトのライフタイム保証プロストライプ 02657 モデルのみ

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレーキクラッチ統合ブレードブレーキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライプ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレーキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合があります。

排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。